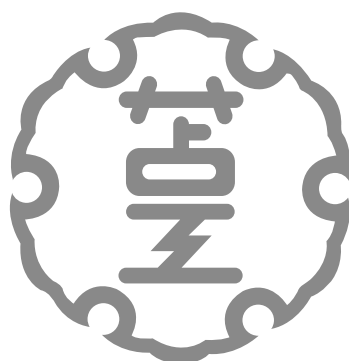


令和 7 年度(2025 年度)

教 育 計 画



北海道苫小牧工業高等学校

目次

全日制課程

1	スクール・ミッション（目指す学校像）	1
2	スクール・ポリシー（教育活動の実施・改善の方針）	1
3	学校教育目標（目指す生徒像）	2
4	令和7年度(2025年度)学校経営方針	2
5	重点目標	2
6	指導上の重点事項	3
7	グランドデザイン	4
8	校務分掌	
(1)	校務分掌機構	5
(2)	担任・校務分担一覧	6
(3)	分掌業務実践計画	8
(4)	学年業務実践計画	31
9	学科	37
10	教育課程	
(1)	教育課程表	39
(2)	学校行事年間計画	45
(3)	LHR 年間計画	47
(4)	特別活動の全体計画	48
(5)	道徳教育の全体計画	49
(6)	学校保健計画	50
(7)	学校安全計画	51
(8)	各種資格取得に関する資料	53
11	各教科・各科課題と具体策、研究テーマ	57
12	教職員構成一覧	61
13	自主防衛組織室管理者一覧	63
14	室別管理者一覧	66

定時制課程

1	スクール・ミッション（目指す学校像）	69
2	スクール・ポリシー（教育活動の実施・改善の方針）	69
3	学校教育目標（目指す生徒像）	69
4	令和7年度(2025年度)学校経営方針	69
5	重点目標	69
6	指導上の重点事項	70
7	グランドデザイン	71
8	校務分掌	
(1)	学校運営組織	72
(2)	校務分掌一覧	73
(3)	分掌業務実践計画	74
(4)	学年業務実践計画	79
9	学科・教科のねらいと具体策	83
10	教育課程	84
11	学校行事年間計画	85
12	LHR 実施年間計画	87
13	道徳教育の全体計画	88
14	学校保健計画	89
15	学校安全計画	90
16	特別活動の全体計画	92
17	資格取得に関する資料	93
18	教職員構成一覧	94
19	自衛消防組織	95

全 日 制 課 程

1 スクール・ミッション（目指す学校像）

- (1) 豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人・職業人となる生徒の育成
- (2) ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
- (3) テクノロジーで未来を創る人づくり

2 スクール・ポリシー（教育活動の実施・改善の方針）

- (1) グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

本校を卒業して、豊かな人生を送ることができるよう、次の資質・能力を育成する。

ア 豊かな心

立場の違いや考えの異なる他者を受け入れる力

イ 健康・安全

自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を保持、増進する力

ウ 自ら学ぶ力

自ら課題を発見したり、その解決に向けた方策を考え、進んで解決に取り組む力

エ 公正な判断力

法令やルール、マナーを守るとともに、自らの役割を理解する力

オ 働く意欲

社会的・職業的自立に向け、専門的な知識や技術を身に付け活用しようとする力

カ 責任感

自分の意見を的確に伝えたり、他者を尊重しつつ協力して最後まで目標を達成しようとする力

- (2) カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

育成を目指す資質・能力に関する方針に基づき教育課程を編成し、全ての教育活動を通して、目指す資質・能力を図ることができるよう、次の方針に基づいて教育課程を編成・実施する。

ア STEAM の実践

(ア) 生徒自らが問題点や課題を発見し、解決方法を探究するなどの問題解決型学習に取り組む。

(イ) ものづくりに関する知識や技術を習得し、安全・安心で信頼できるものづくりを行うことができ、他の分野に応用するなどの越境に取り組む。

イ 社会に開かれた教育課程の実践

地域の企業や外部講師と連携・協働し、不足する施設、設備や教育資源を活用し、より実践的な教育活動に取り組む。

- (3) アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

学校生活を送る上での、基本的な生活習慣が確立され、自己管理がなされており、次の

いずれかに該当する生徒を積極的に受け入れます。

ア 本校志望の目的が明瞭であり、入学後意欲的に勉学に励む心構えができている生徒

イ 本校に十分な興味・関心を持ち、就学のある意思がある生徒

3 学校教育目標

創造性豊かな工業人をめざし

豊かな心と健康な身体を育成する

自ら学ぶ力と公正な判断力を育成する

働く意欲と旺盛な責任感を育成する

4 令和7年度(2025年度)学校経営方針

- (1) 学校で行うこと全てが本校の教育活動であり、教職員の生徒への関わり方も、生徒の豊かな人間性や社会性を培うことに繋がっているということを意識した教育活動を推進する。
- (2) 多くの生徒たちを職業人として社会へ送り出すことになるため、生徒たちが進路先で恥ずかしくない知識や技術・技能はもちろんのこと、立ち居振る舞いを身に付けさせる。
- (3) 高校での学びをとおして、どの様に社会へ貢献していくのかを考えさせる。

5 重点目標

- (1) 学習環境の整備と毎日の学習を習慣化しよう。
- (2) お互いの人格の尊重と健全な生活習慣を身に付けよう。
- (3) 自己理解の深化と適切な進路を実現する力を身に付けよう。
- (4) 自他の生命の尊重と健全で安全な生活を送る態度を身に付けよう。
- (5) 部活動等を通して心身を鍛え、礼儀や忍耐力を身に付けよう。

6 指導上の重点事項

学習指導	1 学習目標の具体化により、予習・復習など学習習慣の定着化を図る。 2 個々の到達目標を明確にさせ、自ら学ぶ態度や学習の仕方を修得させるとともに、思考力・判断力・表現力などの育成を図る。 3 教科の特性や内容に応じた指導方法を創意工夫し、課題などの解決に応用できる実践的な知識・技術の定着を図る。 4 教科・科目の目標に即した観点別学習状況を行い、学習意欲の喚起と学習を継続する態度を育成する。
生徒指導	1 お互いの人格を尊重する態度と思いやりの心を育て、集団生活を営むためのルールや個々の役割を自覚させる。 2 あらゆる教育活動の場を活用した継続的な指導の工夫と実践により、基本的な生活習慣や社会性を体得させる。 3 生徒会活動や部活動などの特別活動への積極的な参加を奨励し、心身ともに健康で調和のとれた人間形成を目指す。 4 家庭及び地域社会との連携を密にし、社会の規則や交通マナーなどのルールを遵守する態度を育成する。
進路指導	1 生徒の自己理解の深化や自己実現を促すため、各学年に応じた進路指導の充実と実践に努める。 2 進路に関する資料や情報を整備し、生徒の多様な進路希望に適切に対応するとともにその効果的な活用方法の工夫に努める。 3 進路相談や意識調査などをもとに一人ひとりの情報を収集整理し、個々の生徒の希望や能力・適性に対応できる個別指導を充実させる。 4 進路意識に具体性や現実性を与える啓発的な体験を通し、望ましい勤労観や職業観の育成とともに、希望する進路に進むために必要な能力や社会生活に必要な態度の育成に努める。
健康・安全指導	1 体育的行事や部活動などへの積極的な参加を促し、体力の増進とともに、健康で快適な生活を送るために必要な態度を育成する。 2 健康や安全に関する行事等を通し、自他の生命を尊重する心と、自ら健康な生活を送る態度を育成する。 3 あらゆる教育活動の場を通し、生涯にわたり健康で安全な生活を送るために必要な基礎的な資質の向上に努める。 4 生徒の参加する体験的な活動を工夫し、安全意識の高揚と疾病を予防し自らの健康を保持増進する習慣を育成する。

北海道苫小牧工業高等学校 全日制課程 グランドデザイン

スクール・ミッション 目指す学校像

- ・豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人・職業人となる生徒の育成
- ・ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けた生徒の育成
- ・テクノロジーで未来を創る人づくり

学校教育目標 目指す生徒像

創造性豊かな工業人をめざし

- 豊かな心と健康な身体を育成する
- 自ら学ぶ力と公正な判断力を育成する
- 働く意欲と旺盛な責任感を育成する

校訓 目指す学校生活の指針

質実剛健

飾り気がなく真面目で、強くしっかりしていること

グランドエデュケーション・ポリシー 育成を目指す資質・能力に関する方針

本校を卒業して、豊かな人生を送ることができるよう、次の資質・能力を育成する。

豊かな心

立場の違いや考えの異なる他者を受け入れる力

健康・安全

自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を保持、増進する力

自ら学ぶ力

自ら課題を発見したり、その解決に向けた方策を考え、進んで解決に取り組む力

公正な判断力

法令やルール、マナーを守るとともに、自らの役割を理解する力

働く意欲

社会的・職業的自立に向け、専門的な知識や技術を身に付け活用しようとする力

責任感

自分の意見を的確に伝えたり、他者を尊重しつつ協力して最後まで目標を達成しようとする力

カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成及び実施に関する方針

育成を目指す資質・能力に関する方針に基づき教育課程を編成し、全ての教育活動を通して、目指す資質・能力を育成することができるよう、次の方針に基づいて教育課程を編成・実施する。

●STEAMの実践

- ・生徒自らが問題点や課題を発見し、解決方法を探究するなどの問題解決型学習に取り組む。
- ・ものづくりに関する知識や技術を習得し、安全・安心で信頼できるものづくりを行うことができ、他の分野に応用するなどの越境に取り組む。

●社会に開かれた教育課程の実践

地域の企業や外部講師と連携・協働し、不足する施設設備や教育資源を活用し、より実践的な教育活動に取り組む。

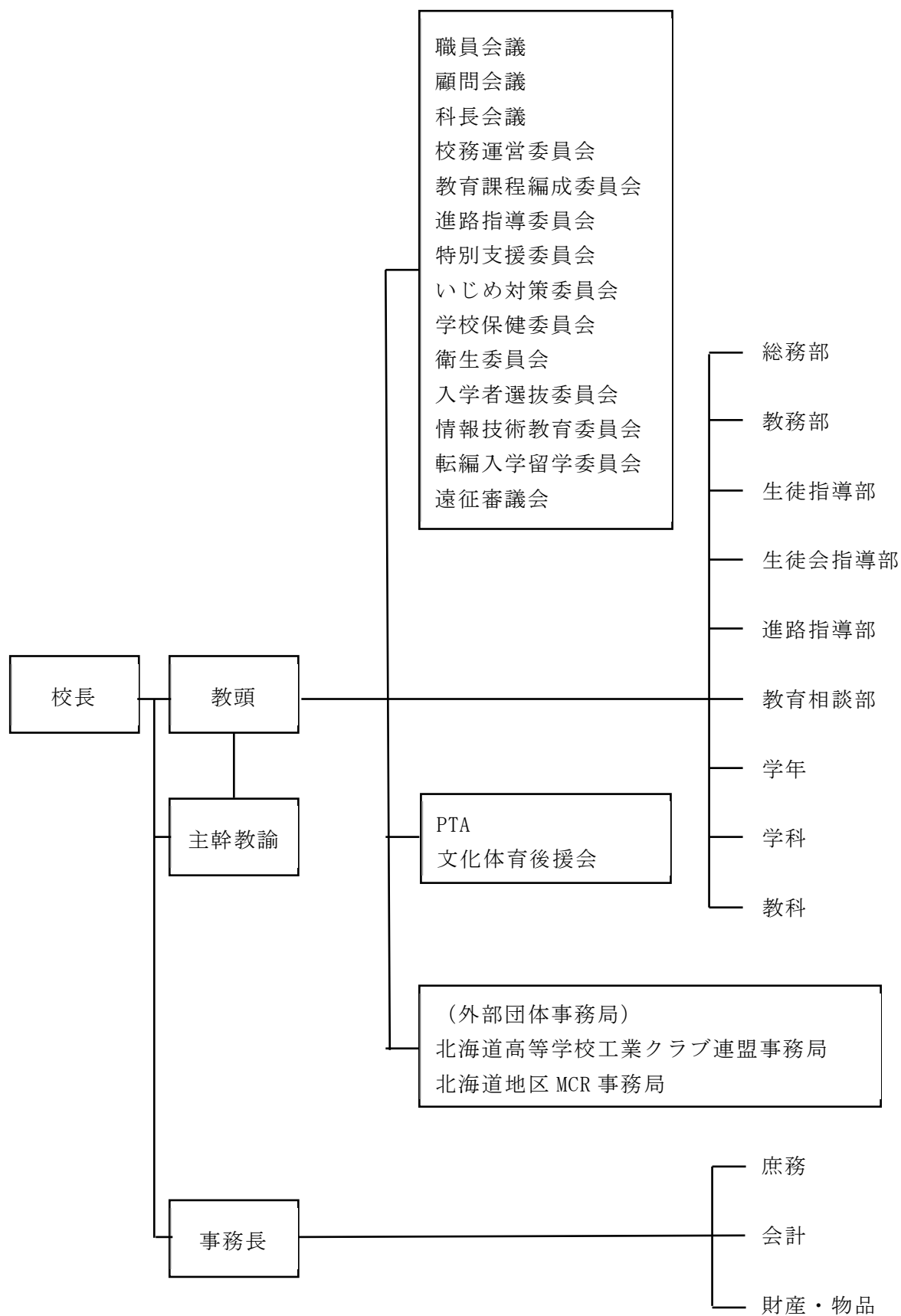
アドミッション・ポリシー 入学者受入れに関する方針

学校生活を送る上での、基本的な生活習慣が確立され、自己管理がなされており、次のいずれかに該当する生徒を積極的に受け入れます。

- 本校志望の目的が明瞭であり、入学後意欲的に勉学に励む心構えができている生徒
- 本校に十分な興味・関心を持ち、就学の意味がみられる生徒

8 校務分掌

(1) 校務分掌組織



(2) 担任・校務分担一覧

ア 担任・副担任・学年主任

学年 学科	1 学年		2 学年		3 学年	
	担任	副担任	担任	副担任	担任	副担任
土木	佐藤友	坂 野	友 成	中島太	井 上	中島健
建築	太 田	佐 伯	北 島	斉藤圭	森 河	成 田
電子機械	板 谷	石 橋	田中航	寺 谷	武 田	三 澤
電気	遠 藤	鈴 木	熊 谷	佛 具	岡 田	佐藤宏
環境化学	畠 山	田 村	加 藤	小野崎	和 泉	高橋也
情報技術	高橋史	齋藤浩	坂 口	山 田	及 川	松 本
学年主任	澤 田		藤 田		及 川	

イ 分掌

分掌名	部長	部員				
総務 (14)	土 橋	○成 田 藤 田 工 藤	鈴 木 高橋史 伊藤央	友 成 小野崎 仲 島	宮 下 寺 谷	井 上 菊 地
教務 (16)	佐々木	○山本一 板 谷 白 岩	高橋也 三 澤 後 藤	小川薫 田中航 中 辻	北川圭 斉藤圭 水 谷	安 楽 武 田 渡 口
生徒指導 (13)	田中俊	○中島健 北 島 前 田	山本興 佐藤友 小川真	田 村 北川工	澤 田 松 本	及 川 佛 具
生徒会指導 (10)	米 川	○伊藤孝 太 田	岡 田 矢 倉	熊 谷 坂 本	阿 部 中 山	山 田
進路指導 (11)	北 村	○佐藤宏 遠 藤	和 泉 齋藤浩	坂 口 坂 野	伊藤浩 原 田	佐 伯 佐藤章
教育相談 (5)	中島太	○石 橋	加 藤	畠 山	森 河	

○：副部長

ウ 科長・主任

学科	土木	建築	電子機械	電気	環境化学	情報技術
科長	坂 野	斉藤圭	三 澤	伊藤浩	北川工	松 本
教科	国語		地歴公民	数学		理科
主任	山本一		田中航	熊 谷		板 谷
教科	保健体育		芸術	外国語		家庭
主任	小野崎		北 島	高橋史		米 川

エ 部・同好会・外局顧問

	部名	顧問
運動部	硬式野球	中島太、佛 具、森 河、小川真
	ソフトテニス	和 泉、齋藤浩、佐藤友
	陸上競技	小川薫、友 成、中島健
	バドミントン	鈴 木、熊 谷、伊藤孝
	サッカー	成 田、加 藤、太 田、坂 本
	柔道	岡 田、三 澤、田中俊
	剣道	安 楽、井 上
	バスケットボール	松 本、中 辻、渡 口
	卓球	佐藤宏、水 谷
	バレーボール	田 村、佐 伯、山 田
	アイスホッケー	高橋史、小野崎、白 岩
	スピードスケート	山本興、土 橋、伊藤央
	テニス	北川圭、藤 田、佐藤章
	ハンドボール	板 谷、武 田、中山滉
文化部	美術	北 島、田中航
	写真	及 川、前 田
	機械工作研究	石 橋、寺 谷、原 田
	コンピュータ	坂 口、矢 倉、菊 地
	吹奏楽	高橋也、佐々木、北 村

	名称	顧問
同好会	計算技術	阿 部
	アマチュア無線	齋藤浩
	土木研究	坂 野
	建築研究	斉藤圭
	ワープロ	後 藤
	自然環境研究	畠 山
	電気	遠 藤

	名称	顧問
外局	新聞	山本一、澤 田、工 藤
	放送	宮 下、北川工

	名称	顧問
シャペロン		米 川、伊藤浩

総務部

1 重点目標

- (1) 各分掌との連携を図り、校務の処理を円滑かつ効果的に推進する。
- (2) P T A・文化体育後援会・同窓会等と連携を図る。
- (3) 校内外の情報を適切に管理・利用できる環境を整備する。
- (4) 校舎内外の環境衛生の充実を図り、快適な学習環境づくりを推進する。
- (5) 生徒へ健康管理に対する理解を深めさせ、規律ある生活習慣の確立を図る。

2 具体的な目標

- (1) 各会議の円滑な運営と記録を適正に行う。
- (2) 学校行事、当番校業務の実施にあたっては、詳細な計画をたて、各分掌や各顧問と連携を図る。
- (3) 正確な情報とその発信を行う。
- (4) 健康診断や各種検査による生徒の健康状態の把握と健康増進を行う。
- (5) 美化に対する意識を高め、日常の清掃活動の充実に努める。
- (6) 災害に対する集団行動を身に付け、安全な生活や防災に対する関心を高める。

3 年間実践計画

学期	月	事項
1	4	・始業式、着任式 8(火) ・入学式、P T A入会式 8(火) ・オリエンテーション 9(水)、11(金) ・年間行事計画の作成 ・重点目標、具体的目標 ・年間実践計画の策定 ・諸表簿の準備と配布 ・諸調査、報告書等作成 ・月間行事計画の作成(毎月) ・学校要覧、教育計画作成 ・関係予算案の作成(P T A、文体) ・奨学金 ・修学旅行関係業務 ・バス会社への連絡(毎月) ・ホームページ更新(毎月) ・ネットパトロール(毎月) ・学校あんしんメール案内 ・生徒・職員個人写真、新入生集合写真 ・高P連胆振支部総会 ・室別管理者、自営防衛組織の作成 ・室管理責任者氏名札の整備 ・消防計画の作成 ・清掃区域分担表の作成 ・靴箱の割り当て ・校地内清掃当番表の作成 ・清掃用具の点検と配布 ・教室内の机・椅子の個数調整 ・大掃除(始業式) 8(火)

1	4	・身体測定 10(木) ・尿検査 (1次) 16(水) ・内科検診 (2、3年) 17(木) ・心電図、胸部X線 (1年) 23(水) ・PTA常任委員会、文体理事会 30(水) ・防災点検 30(水)
	5	・修学旅行業者選定 ・部活動開放準備 ・尿検査 (2次) 1(木) ・内科検診 (1年) 2(金) ・PTA総会、保護者懇談会 10(土) ・当番校業務 (ソフトテニス) 13(火)～15(木) ・当番校業務 (サッカー) 20(火)～23(金) ・防災点検 30(金)
	6	・歯科検診 12(木) ・1日防災学校 (春季避難訓練) 26(木) ・全道高P連大会 ・職員研修会 ・PTA学年別懇談会 (3年) 20(金) ・防災点検 30(月)
	7	・部活動開放 ・学校祭PTA活動 19(土) ・PTAだより発行 23(水) ・夏季休業中の健康指導 ・大掃除 (終業式) ・終業式 23(水) ・防災点検 23(水) ・職員健康診断 24(木)

学期	月	事項
2	8	・部活動開放 ・当番校業務 (美術) ・始業式 25(月) ・防災点検 29(金)
	9	・部活動開放 ・就職、進学者健康相談 (3年) ・秋季避難訓練 1(月) ・環境衛生検査 ・PTA研修会 ・防災点検 30(火)
	10	・大掃除 (体験入学) ・中学生体験入学 10(金) ・PTA学年別懇談会 (2年) 17(金) ・中間反省 27(月) ・見学旅行事前健康相談 ・性教育講演会 ・防災点検 31(金)
	11	・職員研修会 ・当番校業務 (ジャハ°ンマイコンカラー) 15(土)～16(日) ・PTA学年別懇談会 (1年) ・防災点検 28(金)
	12	・新入生物品販売業者契約 ・PTAだより発行 22(月) ・終業式 22(月) ・防災点検 26(金)

学期	月	事項
3	1	・始業式 16(金)
		・宿泊研修事前健康相談 30(金)
	2	・机、椅子点検(入選用) 24(火)
		・年度末反省 27(金)
		・学事報告作成 27(金)
		・入学のしおり等の作成 27(金)
	3	・賞状授与式、同窓会入会式 1(日)
		・環境衛生検査 24(火)
		・防災点検 24(火)
		・卒業証書授与式 30(月)
		・大掃除(終業式)
		・終業式、退任・離任式

4 分掌内容

係名	担当者	業務内容
総務	○土 橋 藤 田 工 藤 仲 島	・業務実践計画の策定 ・総務部の予算 ・各部、各係との連絡調整 ・校務運営委員会、遠征審議会の実施 ・いじめ対策委員会、学校保健委員会、衛生委員会への出席 ・公文書の収受及び保管 ・チャイム管理 ・全国高P連賠償責任保障制度 ・日本スポーツ振興センター ・その他各係に属さない事項
庶務	○鈴木 土 橋 ○宮 下 小野崎 ○成 田 鈴木 ○菊 地 小野崎 ○成 田 寺 谷 ○藤 田 伊藤央 ○伊藤央 鈴木 ○菊 地 伊藤央 ○成 田 寺 谷 ○藤 田 高橋史 ○鈴木 小野崎 ○寺 谷 小野崎 ○伊藤央 工 藤 ○宮 下 鈴木 ○土 橋 藤 田	・職員会議関連 ・学校要覧の編集 ・教育計画の編集 ・学事報告の編集 ・入学のしおり等の編集 ・学校紹介リーフレットの編集 ・諸表等の印刷物、学校日誌 ・個人写真、新入生の記念写真 ・通学実態調査、その他調査・統計 ・新入生物品販売 ・通学バス ・奨学生 ・生徒の作品募集、各種案内の校内掲示 ・印刷室・共通科職員室ロッカー管理 ・校内諸規程に関すること

行事	○土 橋 藤 田 ○鈴 木 井 上 ○宮 下 土 橋 ○小野崎 寺 谷 ○鈴 木 藤 田 友 成 ○土 橋 藤 田 小野崎 鈴 木 成 田 寺 谷 工 藤 宮 下 菊 地 伊藤央 仲 島 ○藤 田 土 橋 成 田 ○藤 田 土 橋 ○藤 田 土 橋	・年間行事計画 ・月間行事計画 ・体験入学 ・部活動開放 ・宿泊研修、見学旅行 ・当番校業務 ・式典（入学式、卒業式、始・終業式） ・生徒の褒賞 ・その他学校行事（新入生オリエンテーション他）
研修	○寺 谷 宮 下	・職員研修
PTA 文体 同窓会	○小野崎 土 橋 藤 田 寺 谷 宮 下 ○井 上 工 藤 ○友 成 工 藤 ○高橋史 工 藤 ○小野崎 土 橋 寺 谷 宮 下 ○小野崎 宮 下 ○寺 谷 菊 地 ○寺 谷 菊 地 ○土 橋	・PTA予算決算、PTA総会、その他PTA関連 ・文化体育後援会予算決算、その他文化体育後援会関連 ・PTA学年別（3年）懇談会 ・PTA学年別（2年）懇談会 ・PTA学年別（1年）懇談会 ・学校祭 P T A 活動 ・PTA研修会 ・PTAだより（夏） ・PTAだより（冬） ・同窓会
情報	○菊 地 伊藤央 ○伊藤央 菊 地 ○菊 地 伊藤央 ○伊藤央 菊 地	・ホームページ ・インスタグラム ・ネットパトロール、学校あんしんメール ・コンピュータ管理、教職員パソコン運用
保健	○仲 島 総務部員 ○仲 島 土 橋 ○仲 島 成 田 ○仲 島 成 田	・各種検査（尿検査、身体測定、心電図・胸部X線、歯科検診、内科検診、職員検診） ・環境衛生検査 ・保健委員 ・保健だより
環境美化	○工 藤 仲 島 ○工 藤 仲 島 ○工 藤 仲 島 ○成 田 仲 島 ○仲 島 成 田 ○工 藤 鈴 木	・清掃区域分担表の作成、靴箱の表示 ・校地内清掃（当番表の作成＋清掃） ・大掃除、掃除用具 ・教室内の机・椅子・カギ・クリーナー・加湿器・その他備品関連 ・室管理責任者 ・職員・樽前神社駐車場
防災	○土 橋 総務部員 ○藤 田 小野崎	・防災点検、その他防災関連 ・一日防災学校、避難訓練

教務部

1 重点目標

- (1) 新学習指導要領に則った適切な教育活動の実践を促す。
- (2) 生徒個々の進路実現に向けた効果的で持続可能な学習指導体制を構築する。
- (3) 業務の精選を図ると共に、教育活動におけるD X化を推進する。
- (4) 公正かつ厳正な入学者選抜業務の遂行を補佐する。

2 具体的な目標

- (1) 適正な教育課程の実施と、評価と一体化した指導体系の確立に努める。
- (2) 次の教育活動が、より良く実践されるよう、調整や環境整備を行う。
 - ア 基礎学力の定着に加え、実践力や応用力を身に付けさせる指導
 - イ 生徒自身が主体的に考え、課題解決に向けて取り組む授業
 - ウ 生徒が自らの考えや意見を相互にやりとりしたり、表現したりできる活動
- (3) 教育活動において、以下のものの効果的活用を促進する。
 - ア 図書室・視聴覚室
 - イ 生徒の個人端末を含むI C T
 - ウ 学習用クラウドサービスやオンライン学習支援サービス、インターネット
- (4) 入学者選抜事務局の一員として入学者選抜委員会を構成、運営し、各業務の平準化を目指す。

3 年間実践計画

学期	月	事項
1	4	・入学者選抜業務事後処理 ・C・D表作成・報告 ・教育実習計画立案 ・基本時間割編成及び年度始臨時時間割作成 ・シラバス整備・公開 ・名票・出席簿作成・配付 ・教務関連諸表簿、様式類準備 ・教科書、教材、指導書配付 ・年度始教務部関係資料配付 ・着任者向け教務規程説明会実施 ・教務支援システム新年度準備作業及び活用の手引配付 ・新入生オリエンテーション（図書館利用） ・図書委員会開催 ・図書利用者データ更新 ・書架の整備・点検 ・視聴覚室等やI C T機器の整備・点検 ・入学者選抜委員会開催（次年度方針） ・教育課程編成委員会開催（年度計画） ・選択科目オリエンテーション ・授業実施状況の作成及び時数調整 ・基礎学力向上の取組（到達度テスト①、全学年） ・教務オリエンテーション①（2学年）
	5	・教務オリエンテーション①（1・3学年） ・朝学習の実施①②（全学年） ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整 ・教科担任懇談会開催（1学年）

1	5	・図書台帳の点検 ・図書購入希望調査① ・教育実習事前打合せ・指導
	6	・考查問題用封筒の作成・配付 ・期末考查、追考查の実施 ・生徒指導要録作成説明会（1学年）の実施（支援システム） ・教育課程編成委員会の開催 ・教科書選定・需要数報告 ・次年度選択科目開設の決定 ・生徒用図書選定 ・朝学習の実施③④⑤（全学年） ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
	7	・学習成績一覧表の集約・点検 ・成績会議資料作成 ・教科担任懇談会②開催 ・通知票受領票配付、通知票発送 ・成績及び出席不振者指導 ・基礎学力向上の取組（到達度テスト②、3学年） ・次年度教員用使用教科書数・指導書の選定・報告 ・資格、検定取得年月日の集約・配付（進路指導部と協力：3学年就職用） ・新刊案内 ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
2	8	・教務オリエンテーション②（3学年） ・生徒指導要録の提出確認・点検（1学年） ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
	9	・中間考查、追考查の計画・実施 ・朝学習の実施⑥⑦（全学年） ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
	10	・教務部年度中間反省 ・教育課程編成委員会開催 ・入学者選抜業務立案 ・入学者選抜委員会開催 ・授業改善（公開授業の実施） ・図書購入希望調査② ・朝学習の実施⑧⑨（全学年） ・基礎学力向上の取組（到達度テスト②1・2学年） ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
	11	・入学者選抜に関する職員会議の開催 ・期末考查、追考查の計画・実施 ・朝学習の実施⑩⑪（全学年） ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
	12	・学習成績一覧表の集約・点検 ・成績会議資料作成 ・教科担任懇談会③開催 ・成績及び出席不振者指導 ・通知票受領票配付、通知票発送 ・入学者選抜各種書類準備 ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
3	1	・期末考查、追考查の計画・実施（3学年） ・学習成績一覧表の集約・点検（3学年） ・朝学習の実施⑫（全学年） ・推薦入学者選抜業務

3	1	・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
	2	・卒業認定会議資料作成 ・次年度シラバス作成 ・工業基礎学力テスト（2学年） ・推薦入学者選抜業務及び推薦入学者選抜の実施
	3	・一般入学者選抜業務及び一般入学者選抜の実施・反省 ・学習成績一覧表の集約・点検 ・進級認定会議資料作成 ・通知票受領票配付、通知票発送 ・C B A学力テスト実施（1学年） ・新年度教科書購入票の点検・配付 ・新年度使用準教科書、教材の調査・報告 ・新年度用諸表簿、用紙等の準備 ・生徒指導要録の提出確認・点検 ・担当時間割の提出確認・点検 ・新年度基本時間割編成 ・教務関係諸表簿の回収・整理 ・教務支援システム新年度準備作業 ・蔵書統計、蔵書点検 ・ライブマックス更新 ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成

4 分掌内容

係名	担当者	業務内容
総務係	○佐々木 山本一 後 藤	・業務計画の策定に関すること ・教務部の予算に関すること ・部内及び各部、学科、教科、学年の連絡調整に関すること ・教務関係文書の収受、整理、保管に関すること ・成績不振者、出席不振者の指導に関すること ・教科担任懇談会に関すること ・教務規程に関すること ・初任者研修に関すること ・校内研修に関すること ・教務関係の年間、月間計画に関すること ・教育課程表(C・D表)の作成、報告に関すること ・教育課程編成委員会に関すること ・授業改善に関すること ・教育実習に関すること ・入学者選抜委員会に関すること ・各係に属さない事項
学習係	○山本一 小川薫 北川圭 安 楽 三 澤 後 藤 渡 口 武 田 田中航 板 谷	・教科シラバスに関すること ・授業時間割の編成、調整、変更に関すること ・臨時時間割作成に関すること ・授業の補充等に関すること ・朝学習に関すること ・自習問題の保管と実施に関すること ・授業時間の記録、調整、変更報告に関すること ・時間講師との連絡に関すること ・教育課程表(A・B表)の作成、報告に関すること ・各種資格、検定取得の資料の作成に関すること ・基礎学力の向上（朝学習・模擬試験）に関すること ・学力分析に関すること ・教務部年度末反省 ・教務オリエンテーション②（1、2学年） ・各種資格試験結果の集約と取得年月日の確認・配付

		(指導要録用) ・期末考査、追考査の計画・実施(1、2学年) ・A～D表作成 ・臨時時間割作成 ・授業実施状況の作成及び時数調整
考査係	○安 楽 高橋也 齊藤圭 水 谷	・定期考査に関すること (計画、実施・考査問題用封筒作成等) ・追考査の計画、実施に関すること
庶務係	○齊藤圭 山本一 三 澤 白 岩 後 藤	・教科書、指導書の選定、発注、配付に関すること ・準教科書、教材の調査、報告に関すること ・教務関係諸表簿、用紙等の準備、配付、回収に関すること
学籍係	○高橋也 三 澤 齊藤圭 白 岩 中 辻 水 谷 武 田 田中航 板 谷	・生徒指導要録の記入指導、点検、整理に関すること ・資格取得とその記録に関すること ・在校生の単位取得証明書、成績証明書処理に関する こと ・名票の作成 ・外字に関すること
成績係	○北川圭 佐々木 小川薫 中 辻	・教科担任懇談会、成績会議の資料作成に関すること ・単位の認定、進級、卒業認定の事務処理に関する こと ・成績処理システムの運用準備、改善に関すること ・通知票に関すること(受領票の作成・配付等)
図書係	○白 岩 高橋也 安 楽	・図書室利用のオリエンテーションに関すること ・図書委員会に関すること ・図書利用データ更新、利用統計 ・書架整備、点検 ・図書購入希望調査に関すること ・新刊案内
視聴覚係	○渡 口 小川薫 北川圭	・視聴覚室の整備 ・I C T機器の整備、点検 ・I C T機器保管室、オンライン会議室(208教室) の管理 ・苦工サイトに関すること ・生徒用貸与端末の管理 ・生徒個人端末に関すること
支援 システム係	○中 辻 水 谷 佐々木	・教務支援システム業務 ・教務支援システム新年度準備作業及び活用の手引き 配付
入選総務 推薦 一般 追検査 2次募集	○佐々木 安 楽 後 藤 山本一 小川薫	・入学者選抜業務(渉外、事務処理、選抜要領の作成、 指示書の作成、人員配置、データ点検等)
庶務P C 庶務物品	○水 谷 中 辻 ○渡 口 北川圭	・入学者選抜業務(データ処理、出力帳票、教務支援 システム、封筒他送付物作成等) ・入学者選抜業務(選抜要項印刷、必要物品準備、掲 示物等作成等)

生徒指導部

1 重点目標

- (1) 自他の個性を尊重する心を育て、望ましい人間関係の構築をはぐくみ社会的資質の向上を図る。
- (2) 礼儀を重んじ、基本的生活習慣を確立させ、進路目標実現に向けて自己指導能力の育成に努める。
- (3) 生命の尊厳に基づく理性ある行動を促し、交通道德の高揚に努める。
- (4) 生徒指導に対する全職員の共通理解と家庭・地域社会との協働による組織対応により、開かれた生徒指導の推進を図る。

2 具体的な目標

- (1) 心の通う挨拶、規律ある全校集会を通して集団に寄与する習慣を身に付けさせる。
- (2) 遅刻をなくし、日常的に身だしなみ、心を整える習慣を身に付けさせ、進路意識の向上を図る。
- (3) 「四ない運動」を根底にして交通安全を心掛け、正しい通学マナーを身に付けさせる。
- (4) 多様化する生徒の現状把握と情報収集に努め、事故の未然防止に努める。
- (5) スマートフォンを持つ個人の責任を理解させ情報モラルを身に付けさせる。

3 年間実践計画

学期	月	事項
1	4	・重点目標・具体的目標の決定 ・年間指導計画の立案 ・諸調査・文書・資料作成 ・各係年間計画作成 ・玄関指導 8(火)～ ・駐輪場指導 8(火)～11(金) ・交通安全週間 9(水)～11(金) ・新学期身だしなみ確認指導 9(水)～10(木) ・校内巡回指導 8(火)～18(金) ・自転車点検 16(水) ・集会指導 18(金) ・女子生活指導 23(水)
	5	・交通安全週間 7(水)～9(金) ・下宿生指導 8(木) ・生徒理解調査(1学年) 9(金)
	6	・夏季略装開始 2(月)～9/30(火) ・身だしなみ確認週間 2(月)～6(金) ・身だしなみ確認指導 6(金) ・交通安全週間 9(月)～13(金) ・下宿訪問 18(水)～19(木)
	7	・学校祭準備警備 11(金)・14(月)～17(木) ・防犯講話(1学年) 11(金) ・学校祭警備 18(金)～19(土) ・夏季休業指導 24(木)～8/24(日)

学期	月	事項
2	8	・ 2 学期身だしなみ確認指導 25(月)
	9	・ 身だしなみ確認週間 29(月)～10/ 3 (金) ・ 夏季略装終了 30(火)
	10	・ 身だしなみ確認指導 3 (金) ・ 自動車学校通学説明会 3 (金) ・ 自動車交通安全講習会 (3 学年) 17(金)
	11	・ 薬物乱用防止講話 (2 学年) 14(金) ・ 列車・バス通学指導 21(金) ・ 自転車通学終了 30(日)
	12	・ 冬季休業指導 22(月)～1 /15(木)

学期	月	事項
3	1	・ 3 学期身だしなみ確認指導 16(金) ・ 苫小牧東ロータークラブ 交通安全講話 30(金)
	2	・ 入学者選抜(推薦面接)警備
	3	・ 入学者選抜 (一般) 警備

4 分掌内容

係名	担当者	業務内容
総務	○田 中 中 島	・ 生徒指導部内の連絡、調整、企画、運営 ・ 年間指導計画の計画実施 ・ 予算 ・ 各科や学年会との連絡、調整 ・ 各係の計画、立案 ・ 校内規則の運用と生徒事故処理 ・ 外部指導機関との連携 ・ 各種講演会の企画、立案、実施 (交通安全講話、薬物乱用防止教室、防犯講話、自転車講習会、自動車講習会)
庶務	○北 川 小川真	・ 庶務一般 ・ 内規の整理 ・ 生徒指導対策の計画と運営 ・ 生徒指導部各係間の連絡調整 ・ 生徒指導部だより (コロンブス) の発行 ・ 生徒個人写真 (写真台帳の作成、管理) ・ 長期休業中の生徒心得の作成、配布
校内指導	○中 島 田 村 澤 田 前 田 佐 藤 北 島 及 川	・ 身だしなみ指導全般 ・ 女子生徒の指導 ・ 遅刻防止の指導の計画、及び遅刻統計 ・ 遺失物、拾得物 ・ 生活実態に関する内容の分析、整理 ・ 集会指導 ・ 校内巡回のための計画、実施 ・ 携帯電話 (スマートフォン) の使用に関する指導

校外指導	○田 村 佛 具 小川真 前 田	・生徒の登下校全般（通学経路、駐輪場、送迎等） ・列車、バス通学に関する指導 ・自転車通学（許可、ステッカー、点検、指導） ・自転車保険加入 ・交通安全週間 ・生徒の交通事故 ・自動車学校通学許可、自動車免許取得指導 ・「四ない運動」指導 ・下宿生に関する実態調査、下宿先訪問、下宿生活全般 ・アルバイトに関する指導、届け出受理
特別指導	○松 本 澤 田	・生徒事故防止のための事前指導全般 ・生徒指導事故発生時の対処方法 ・生徒の指導事故内容の調査、分析、統計 ・生徒指導部会、職員会議における、資料作成とその整理 ・特別指導生徒に対する面談計画、日誌の作成・回収・保管 ・特別指導解除後の指導 ・事例研究、資料の収集、会議録の整備保管

5 各担当

制服に関する届出	中 島	下宿届	田 村
アルバイト届	小川真	自転車通学届・ステッカー	佛 具
自動車学校通学届	前 田	生徒個人写真	北 川
遺失物・拾得物	田 村	苦工サイト	松 本

生徒会指導部

1 重点目標

- (1) 集団や社会の一員として、よりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。
- (2) 生徒会行事や、部・同好会・局活動を通して、望ましい人間関係を形成し、自己有用感や達成感を味わわせ、生徒会活動を活性化させる。
- (3) ボランティア活動などの社会参画を推進し、将来、地域社会の自治的な活動の中で生かすことのできる資質・能力の育成に努める。

2 具体的な目標

- (1) 生徒一人一人が生徒会の一員であることを自覚させ、生徒が主体となって活躍できる学校作りを目指す。
- (2) 部・同好会・局活動への積極的な参加を促し、生徒の主体性と健全な心身の育成を目指す。
- (3) 委員会活動の活発化を図り、生徒会活動の充実に努める。
- (4) ボランティア活動を通し、校内外の環境整備や地域との協調に努める。

3 年間実践計画

学期	月	事項
通年		・ペットボトルキャップとリングブルの回収、引き渡し ・フラワーポット・イルミネーションの管理 ・ボランティア活動の計画・実施
	1 4	・年間活動目標・行事計画の策定 ・L H R 計画・行事年間計画の作成 ・生徒会関係諸届用紙の準備 ・部同好会顧問会議（生徒会会計予算案(部費関係)、地区壮行会、応援要請について） ・生徒会執行部定例会議 ・部活動年間計画の作成 ・部長主将会議（年間活動計画、予算要求、部員名簿、部活動紹介、勧誘ポスター、部室使用規程等、多目的ホール等の使用について） ・新入生部活動勧誘期間 ・部員名簿の集約 ・部活動に関する諸調査 ・新入生オリエンテーション（部長からの生徒会紹介） ・新入生歓迎会 ・学校祭原々案の作成 ・生徒会役員・前期H R 役員の選出および名簿作成 ・各種委員会・生徒協議会（委員会副委員長・生徒協議会副議長選出・各委員会目標・活動計画） ・応援要請の集約および応援計画の作成 ・生徒会会計予算案の策定 ・生徒総会議案書作成（執行部・各委員会活動目標及び活動計画、会計決算予算、部活動関係） ・生徒総会議案書配布説明
	5	・生徒会執行部定例会議 ・部長主将会議（前期壮行会について） ・学校祭原案作成 職員会議原案提案 ・前期生徒総会および前期壮行会 ・地区大会成績集約の開始 ・学校祭について（L H R での協議）

1	6	・生徒会執行部定例会議 ・学校祭について（L H R での協議） ・学校祭関係各種委員会・実行委員会・生徒協議会等の随時開催 ・産業教育意見・体験発表大会当番校補助
	7	・生徒会執行部定例会議 ・学校祭準備期間 ・学校祭 ・学校祭後片付け ・学校祭反省アンケートの実施・集約 ・夏季体育文化大会について（L H R での協議） ・選挙管理委員会開催（委員長・副委員長選出、役割分担）

学期	月	事項
2	8	・生徒会執行部定例会議 ・生徒会役員選挙告示 ・学校祭の反省アンケート結果の報告 ・執行部役員立候補についての協力要請
	9	・生徒会執行部定例会議 ・夏季体育文化大会選手名簿の取りまとめ ・体育委員会（役割分担）及び組み合わせ抽選会の開催 ・夏季体育文化大会実施要項作成 ・生徒会役員立候補者立会演説会・投票 ・選挙管理委員会開票作業・選挙結果の公示 ・後期H R 役員選出 ・新生徒会役員認証式 ・新生徒会執行部役員と生徒指導部担当教員の顔合わせ及び新旧役員引継ぎ ・生徒会執行部・活動中間反省（引継準備）
	10	・生徒会執行部定例会議 ・各種委員会・生徒協議会（活動計画中間反省） ・夏季体育文化大会 ・夏季体育文化大会反省アンケートの実施・集約 ・夏季体育文化大会の反省アンケート結果の報告 ・執行部役員リーダー研修会 ・中間反省のまとめ ・噴火口編集方針の検討 ・卒業記念品の検討、決定
	11	・生徒会執行部定例会議 ・噴火口編集方針の検討、原稿依頼、業者発注
	12	・生徒会執行部定例会議 ・募金・寄付活動 ・後期壮行会 ・冬季体育文化大会について（原案作成、L H R での協議、選手名簿提出・体育委員会） ・噴火口の編集作業、校正 ・次年度 LHR 年間計画・行事計画（案）作成

学期	月	事項
3	1	・生徒会執行部定例会議 ・年度末反省のまとめ ・噴火口校正 ・卒業記念品の発注 ・功労賞審査 ・冬季体育文化大会準備 ・体育委員会（役割分担）及び組み合わせ抽選会の開催 ・次年度 LHR 年間計画・行事計画（案）作成
	2	・生徒会執行部定例会議 ・噴火口校正及び業者納品、配布 ・卒業記念品業者納品、配布 ・卒業式及び賞状授与式に関わる準備 ・生徒会各会計決算準備と次年度予算案の検討 ・生徒会活動の反省と改善の検討（年度末反省のまとめ） ・会計監査 ・新入生歓迎会原案作成 ・冬季体育文化大会について ・次年度 LHR 年間計画・行事計画（案）作成
	3	・生徒会執行部定例会議 ・年度末・始休業中の部活動計画 ・冬季体育文化大会実施要項作成 ・冬季体育文化大会、表彰式 ・冬季体育文化大会の反省 ・離任式・退任式 生徒会担当分業務 ・生徒会各会計決算 ・次年度の課題、目標、年間計画の検討及び次年度の生徒会行事の計画準備 ・新入生歓迎会準備 ・次年度 LHR 年間計画・行事計画（案）作成

4 分掌内容

係名	担当者	業務内容
総務係	○米 川 伊藤(孝) 山 田 阿 部 矢 倉 坂 本 中 山	・業務実践計画の策定 ・年間 LHR 計画・行事計画作成 ・部内及び他分掌、部活動顧問との連絡調整 ・校務運営委員会、遠征審議会への出席 ・生徒会指導部内の連絡調整・企画・運営 ・生徒会執行部定例会議の開催 ・学校行事における担当業務 （伝達表彰式、卒業式、離任・退任式） ・生徒会活動の組織・運営（年間活動計画、執行部の指導、リーダー研修、規約に関すること、資料の整理保管、生徒会室の物品管理） ・生徒会行事（各種委員会担当以外、新入生歓迎会、生徒総会、表彰状・認証状の作成） ・生徒協議会及び各種委員会連絡調整、諸会議の開催 ・HR 役員・生徒会委員名簿の作成 ・諸届け願等各種用紙の管理 ・卒業記念品の決定、発注 ・部活動関係（入退部届受付、部員名簿の作成、成績結果の集約、部活動年間計画、部長主将会議の開催 実施状況調査）

		・慶弔関係 ・行事、部活動の記録写真の保管 ・各行事アンケートの作成・集計 ・公式インスタグラムでの配信 ・その他各係に属さない事項（当番校補助業務等）
会計係	○伊藤(孝) 坂 本	・生徒会会計予算編成方針の策定及び生徒会活動にともなう会計一般 ・生徒会会計（一般・特別）の予算・執行・決算 ・遠征費会計（参加料・登録費・遠征費・災害補償等）の予算・執行・決算 ・学校祭会計の予算・執行・決算 ・次年度予算案作成 ・その他生徒会活動にともなう会計全般
会計委員会係	○坂 本 伊藤(孝)	・会計委員会の指導 ・各種募金活動の計画および運営 ・学校祭のH R 会計の補助
生活安全委員会係	○阿 部 太 田	・生活安全委員会の指導 ・校舎内外の美化管理（行事でのゴミ分別、フラワーポット・イルミネーションの設置） ・ペットボトルキャップの回収、引き渡し ・ボランティア活動の計画・実施
体育委員会係	○山 田 中 山	・体育委員会の指導 ・体育行事の計画実施（体育委員会の開催、L H R 討議資料の作成、実施要項の作成、体育文化大会の企画、諸会議の開催、反省アンケート実施） ・体育文化大会の企画・運営（大会運営全般にかかる業務、委員会・実行委員会・議長会議等の開催 ・応援委員会の指導 ・地区全道全国壮行会の計画・実施 ・部活動各部応援要請の調査・集約・実施 ・全校応援と応援団関連
文化委員会係	○矢 倉 坂 本 米 川	・文化委員会の指導 ・文化行事の計画・実施 ・学校祭の企画・運営（学校祭全般にかかる業務、学校祭関係各種委員会・実行委員会・議長会議等の開催） ・生徒会機関誌（噴火口）の発行（あるある川柳募集、編集方針の検討、原稿依頼、写真、校正、発行）
選挙管理委員会係	○岡 田 阿 部	・選挙管理委員会の指導 ・公示、立会演説会の開催 ・開票作業の指導、結果の掲示
会計監査委員会係	○熊 谷 中 山	・会計監査委員会の指導 ・物品に対する会計監査
放送委員会係	(放送局顧問)	・放送委員会の指導 ・学校行事にともなう放送及び機器設置業務
新聞委員会係	(新聞局顧問)	・新聞委員会の指導 ・生徒会行事の記録写真撮影および整理

※生徒会行事は全員で業務にあたる。

進路指導部

1 重点目標

- (1) 創造性豊かな工業人として自立できるよう、キャリア教育計画を構築し推進する。
- (2) 組織的かつ効果的な進路指導の実践に努め、自己理解の深化と望ましい進路意識の育成を図る。
- (3) 来客対応時の情報交換、企業見学や訪問による情報収集を積極的に行い、社会状況に応じた進路指導を推進する。

2 具体的な目標

- ア 的確な時期に進路行事および活動を行うよう計画し、より効果的に個々の進路意識を高めさせる。
- イ 外部による講演会や懇談会等を計画し、外部と連携しながら職業観の育成および自立心を促す。
- ウ 学級担任を中心とした指導を組織的に行えるよう、各学年・学科と連携し情報共有に努める。
- エ 企業見学会や応募前見学へ積極的に参加するよう促し、生徒が主体的に進路活動に取り組めるように意識を向上させる。
- オ 企業訪問や企業来校時に収集した企業ニーズなどの情報を、広く学級・学年・学科・家庭に提供し、生徒の適性に応じた進路の実現に努めるとともに、SPI模試・作文模試・模擬面接などを通して、一般常識や表現力等を身に付けさせる。

3 年間実践計画

学期	月	事項
1	4	・入学式（保護者向け進路説明） 8（火） ・進路希望調査①（3学年） 10（木） ・キャリア・パスポート（1・2学年） 10（木） ・進路オリエンテーション（1学年） 11（金） ・進路指導委員会 23（水） ・課題作文（3学年） 25（金） ・進路のてびき（3学年）の発注 下旬
	5	・第1回公務員模擬試験（2・3学年） 上旬 ・第2回公務員模擬試験（2・3学年） 下旬 ・胆振管内職業指導連絡会議 下旬
	6	・進路オリエンテーション（3学年） 6（金） ・進路のてびき配付（3学年） 6（金） ・進路希望調査②（3学年） 6（金） ・履歴書の作成指導①（3学年） 6（金） ・進路説明会（3学年保護者） 下旬 ・第3回公務員模擬試験（2・3学年） 下旬 ・3学年担任会 下旬
	7	・求人受理開始 1（火） ・求人関係書類の閲覧開始（予定） 3（木） ・第4回公務員模擬試験（2・3学年） 上旬 ・ジュニアマイスター資格調査（前期）

学期	月	事項
2	8	・就職出願書類発送準備開始 25(月)
	9	・就職出願書類発送開始 1(月)
		・就職選考試験開始 16(火)
		・就職選考試験報告書の提出依頼
		・進路希望先一覧表の提出(3学年) 16(火)
		・新卒紹介状況報告(ハローワーク 苫小牧)
10	10	・就職状況調査報告(胆振教育局)
		・専修・各種学校推薦開始 1(水)
		・進路希望先一覧表の提出(3学年) 20(月)
		・就職未内定者、進学希望者に対する指導
		・新卒紹介状況報告(ハローワーク 苫小牧)
		・就職状況調査報告(胆振教育局)
11	11	・進路説明会(2学年保護者) 中旬
		・大学推薦開始 1(土)
		・社会人としてのマナー(3学年) 7(金)
		・進路希望先一覧表の提出(3学年) 20(木)
		・新卒紹介状況報告(ハローワーク 苫小牧)
		・就職未内定者、進学希望者に対する指導
12	12	・北海道高等学校進路指導協議会 下旬
		・進路オリエンテーション(2学年) 5(金)
		・進路希望先一覧表の提出(3学年) 20(金)
		・新卒紹介状況報告(ハローワーク 苫小牧)
		・就職状況調査報告(胆振教育局)
		・第1回基礎力判定試験(1・2学年) 中旬

学期	月	事項
3	1	・進路体験発表(1・2学年) 20(火)
		・卒業時の意識調査(3学年) 20(火)
		・ジュニアマイスター資格調査(後期)
		・第2回基礎力判定試験(1・2学年) 下旬
	2	・進路オリエンテーション(1学年) 6(金)
	3	・SPI対策試験(2学年) 上旬
		・卒業生講話(2学年) 13(金)

4 分掌内容

係名	担当者	業務内容
全般	北 村 北 村 北 村 北 村	・基本方針、重点目標、年間計画、運営調整 ・就職・進学の業務全般 ・関係機関との渉外、連絡、調整 ・各分掌との調整
進路オリエンテーション	北 村 佐藤宏 全 員	・1・2・3学年 就職オリエンテーション講話 ・1・2・3学年 進学オリエンテーション講話 ・講話に関する機器の準備
進路指導計画	北 村 北 村	・進路指導計画表の作成 ・LHR指導計画
卒業生講話 外部講師講話 経営者懇談会	坂 野 坂 野 北 村 佐藤宏	・2学年卒業生講話の依頼文章・発送 ・2学年卒業生講話の御礼文章・発送・謝礼 ・講師の選定等に係わる各学科との連絡調整 ・外部講師による進学講話
就職・進学試験 対策	佐藤章 佐藤章	・3学年 課題作文、SPI試験(5・6月)の要項作成、教務との連携、発注 ・2学年 SPI試験(3月)の要項作成、教務との連

	佐藤章	携、発注 ・各試験監督に関わる連絡・調整
保護者対象進路説明相談会	北村 佐藤宏 全員	・保護者対象 就職オリエンテーション講話 ・保護者対象 進学オリエンテーション講話 ・保護者説明会に関する機器等の準備
ジュニアマイスター	伊藤 伊藤 全員	・担任及び学科への資格調査および申請全般 ・ジュニアマイスター掲示用(拡大機による)の作成 ・申請入力に関する補助業務(各学科担当手で手分け)
進路のてびき キャリアパスポート	坂野 北村	・3年 進路のてびきの編集・発注・配布等 ・1～2年 キャリアパスポートに関する研究、立案
文書	北村 北村 北村 北村	・校内文書(各種届出/願い/許可)書式の変更・編集 ・応募前見学通知の管理および担任への配布 ・選考試験通知の管理および担任への配布 ・就職内定通知の管理および担任への配布
胆振教育局報告 職業安定所報告 工業校長会報告	北村 原田 原田 原田	・就職内定者報告に関する各月まとめ ・9月～3月の局報告の作成 ・9月～3月の職安報告の作成 ・9月～3月の校長会報告の作成
データベース	齋藤 北村	・データベースソフトの運用・管理・編集 ・データベースの内容精査 ・校内推薦で使用する資料の作成・編集 ・履歴書発送業務に使用する書類等とデータベースの連動 ・校内推薦書類の入力シュミレーション(3学年担任)
求人票の受付	全員 全員 全員 齋藤浩	・求人票のデータベースソフトへの入力 ・求人一覧票の印刷(各HR各学科用) ・求人票のPDF化 ・新システム(求人票のDX化)についての検討と運用
就職 発送業務 書類点検 鑑	坂野 佐伯 原田 伊藤 佐藤章 齋藤浩 北村	・土木科の応募書類確認、履歴書点検、調査書点検等 ・建築科の応募書類確認、履歴書点検、調査書点検等 ・電子機械科の応募書類確認、履歴書点検、調査書点検等 ・電気科の応募書類確認、履歴書点検、調査書点検等 ・環境化学科の応募書類確認、履歴書点検、調査書点検等 ・情報技術科の応募書類確認、履歴書点検、調査書点検等 ・発送鑑の書式・文言の点検
進学	佐藤宏 佐藤宏 佐藤宏	・出願必要書類確認、発送 ・資料の収集・提供・保管 ・応募書類確認、点検等
公務員模擬試験	佐藤宏 遠藤 坂口 和泉	・模擬試験(計6回)の計画・実施・発送・試験監督 ・模擬試験監督 ・模擬試験監督 ・模擬試験監督
進路指導委員会 校内推薦	北村 北村 佐藤宏	・進路指導委員会、校内推薦の原案 ・就職に関する校内推薦データ入出力 ・進学の指定校推薦
支援システム 入力	全員	・局報告に関する生徒基本情報の入力
会計	原田	・会計全般
PC関連	齋藤浩	・履歴書新フォーマットの準備など

教育相談部

1 重点目標

- (1) 心理教育を円滑かつ効果的に推進する。
- (2) 心理や環境に関する問題の早期発見と対処を図る。
- (3) 生徒の心理的、社会福祉的な相談に対応する。
- (4) 生徒が学校での活動においてエンパワーメント（自己実現）できる機能の回復、維持を図る。
- (5) 校外の専門機関や専門家と連携し、対処できる体制の構築を図る。

2 具体的な目標

- (1) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び、情報の提供を行う。
- (2) スクリーニング(問題発生の予兆の有無の調査)を行い、一次予防に努める。
- (3) スクールカウンセリング、スクールソーシャルワーク等を活用し、問題への早期対処を行う。
- (4) 居場所提供としての「ほっとルーム」運営を行う。
- (5) 北海道社会福祉士会、北海道臨床心理士会などの外部機関と連携を図り、情報等の収集とその活用に努める。

3 年間実践計画

学期	月	事項
1	4	・スクリーニング（随時） ・ほっとルーム開設
	5	・パートナーティーチャー派遣事業（随時） ・スクールカウンセラー来校 ・教育相談便り発行
	6	・ライフスキル教育（1年） ・スクールカウンセラー来校
	7	・スクールカウンセラー来校 ・道高相研室蘭支部総会

学期	月	事項
2	8	・スクールカウンセラー来校 ・教育相談だより発行
	9	・スクールカウンセラー来校
	10	・スクールカウンセラー来校
	11	・スクールカウンセラー来校 ・職員研修会 ・教育相談だより発行
	12	・スクールカウンセラー来校
学期	月	事項
3	1	・道高相研室蘭支部研修会 ・スクールカウンセラー来校 ・教育相談だより発行
	2	・スクールカウンセラー来校

	3	・スクールカウンセラー来校 ・次年度の準備
--	---	--------------------------

4 分掌内容

係名	担当者	業務内容
総務	○中島(太) 石橋	・業務実践計画の策定 ・教育相談部の予算 ・各部、各係との連絡調整 ・校務運営委員会、特別支援委員会に關すること ・公文書の収受・保管 ・教育相談便りに關すること ・その他各係に属さない事項
スクリーニング	○畠山 ○加藤 ○森河 ○石橋 中島(太)	・第一学年のスクリーニングに關する情報収集、HR担任との連絡調整 ・第二学年のスクリーニングに關する情報収集、HR担任との連絡調整 ・第三学年のスクリーニングに關する情報収集、HR担任との連絡調整 ・ケース検討の実施
外部連携	○中島(太) ○中島(太) ○中島(太) ○中島(太) ○中島(太)	・スクールカウンセラーに關すること ・スクールソーシャルワーカーに關すること ・パートナーティーチャー派遣事業に關すること ・道高相研に關すること ・その他外部専門機関等との連絡調整
研修	○中島(太)	・職員研修
相談室	○中島(太) 石橋	・相談に關すること ・ほっとルームに關すること

事務

1 重点目標

- (1) 事務の執行体制の確立
- (2) 施設・設備の適正な管理
- (3) 予算の適正執行
- (4) 職務能力の向上のための日常的な研鑽

2 事務分掌

- ・事務長 市川聡
- ・事務主任 浦新絵利子
- ・専門主任主事 竹中悠介
- ・主任主事 木村優太
- ・事務職員 曾我明日香・林りりか

区分	主担当	副担当	事務内容
総括	市川 市川 市川 市川 木村 市川 市川	浦新 浦新 浦新 浦新 市川 浦新 浦新	・事務の総括に関する事 ・公印の管守に関する事 ・渉外に関する事 ・事務引継に関する事 ・監査・検査に関する事 ・情報公開に関する事 ・他の分掌に属さない事務に関する事
人事 服務	市川 市川 市川 浦新 市川 市川 市川 市川 市川 全:竹中 定:林 市川	浦新 浦新 浦新 市川 浦新 浦新 浦新 浦新 浦新 浦新 浦新	・職員の定数管理に関する事 ・職員の任命・発令に関する事 ・職員の勤務・服務に関する事 ・非常勤職員・会計年度任用職員の任免に関する事 ・部内任（解）命に関する事 ・人事記録に関する事 ・教員免許事務に関する事 ・叙位叙勲・表彰に関する事 ・公務災害に関する事 ・旅行命令の発令・復命書等の整理に関する事 ・その他人事・服務に関する事
収入	全:曾我 定:林 全:曾我 定:林 全:曾我 定:林 全:曾我 定:林 全:曾我 定:林 曾我 曾我	浦新 浦新 浦新 浦新 浦新 林 林 林	・入学料・授業料に関する事 ・生徒異動に関する事 ・就学支援金に関する事（奨学給付金に関する事を含む） ・日本スポーツ振興センター掛金に関する事 ・収納金の払込事務に関する事 ・委託公衆電話料・売払収入等歳入金の収納に関する事 ・収入証紙に関する事 ・その他収入事務に関する事

支出	木 村 全:竹中 定:林 木 村 木 村 木 村	林 浦 新 竹 中 竹 中 竹 中	・ 予算執行計画及び実習費の配分・経理に関すること ・ 旅費の支出に関すること ・ 会計年度任用職員の社会保険及び支出（電算処理対象外）に関すること ・ 旅費・会計年度任用職員以外の支出に関すること ・ その他支出事務に関すること
契約	全:木村 定:林 全:木村 定:林 木 村 曾 我 竹 中 林 全:木村 定:林 曾 我 竹 中	曾 我 曾 我 曾 我 林 木 村 木 村 竹 中 木 村 木 村	・ 胆振教育局契約に係る物品購入依頼書の作成・提出に関すること ・ 学校購入に係る物品の購入・修繕契約に関すること ・ 本庁・胆振教育局契約に係る物品（リース含む）に関すること ・ 物品の売払契約に関すること ・ 単価契約（胆振教育局契約を含む）に関すること ・ 委託契約（胆振教育局契約を含む）に関すること ・ 別途決議に係る契約（胆振教育局契約を含む）に関すること ・ 工事契約（校舎・公宅）に関すること ・ その他契約事務に関すること
物品	木 村 木 村 木 村 曾 我 木 村 木 村 木 村 木 村	曾 我 曾 我 曾 我 木 村 曾 我 曾 我 曾 我 曾 我	・ 物品の管理・報告・取得・処分にに関すること ・ 備品・図書の記録管理に関すること ・ 薬品の記録管理に関すること ・ 郵便切手等の受払に関すること ・ 国庫補助物品の管理・台帳整備に関すること ・ 被服貸与に関すること ・ パソコン・ソフトウェアの資産管理に関すること ・ その他物品事務に関すること
財産	曾 我 曾 我 曾 我 曾 我 曾 我 曾 我 曾 我 曾 我	浦 新 浦 新 浦 新 浦 新 浦 新 浦 新 浦 新 浦 新	・ 財産の取得・管理・処分・異動報告に関すること ・ 財産台帳・付属図面の整理に関すること ・ 教育財産の使用許可・使用承認に関すること ・ 施設台帳・建物実態調査に関すること ・ ファシリティマネジメントに関すること ・ 防火・防災に関すること ・ 公宅貸与・管理に関すること ・ その他財産事務に関すること

給与	竹 中 竹 中 竹 中 竹 中 竹 中	林 林 林 林 林	・給与の支払・報告に関すること ・給与決定（訂正）・昇給・昇格に関すること ・諸手当の認定・報告に関すること ・年末調整に関すること ・その他給与事務に関すること
定時制	林 林 林	竹 中 竹 中 竹 中	・定時制給食事務に関すること ・給食施設・設備台帳の整備に関すること ・その他定時制事務に関すること
庶務	浦 新 浦 新 浦 新 竹 中 浦 新 浦 新 浦 新 浦 新	曾 我 林 林 林 林 林 林 木 村	・文書等の收受・回付並びに発送に関すること ・諸証明の発行に関すること ・出勤簿・休暇処理簿等諸届の整理に関すること ・共済組合・教職員互助会に関すること ・外来者の応対・来客の接遇に関すること ・奨学金に関すること ・学資金に関すること ・指定・統計に関すること

3 団体会計等の事務分掌

団体会計	浦 新 浦 新 市 川 浦 新 木 村 林 林 林	市 川 市 川 浦 新 市 川 竹 中 竹 中 竹 中 竹 中	・PTA一般会計・環境衛生費会計 ・文化体育後援会会計（基金会計を含む） ・当番校会計・ ・各学年会計（入学諸納金を含む） ・生徒会会計 ・定時制後援会会計 ・定時制給食費会計 ・定時制各種会計
------	--	--	--

(4) 学年業務実践計画

第1学年

1 重点目標

- (1) 学習習慣を定着し、基礎学力の向上を図る。
 - ア 日々の授業を大切にし、意欲的に授業に取り組ませる。
 - イ 家庭学習を定着させ、基礎学力を向上させる。
- (2) 生徒一人ひとりが相互理解を深め、他者を尊重する意識を醸成する。
 - ア 日々の諸活動を通して相互理解が深められるように働きかける。
 - イ 高校生としての自覚を持ち他者とのコミュニケーションを図ることができるように働きかける。
- (3) 生徒一人ひとりが適正に応じた目標を持ち、意欲的な高校生活を送る。
 - ア 将来の目標を実現するために必要な計画を立案させる。
 - イ 自己の能力や適性に応じた目標を持たせ、意欲的な高校生活を送らせる。
 - ウ 資格取得や技能の向上を図り自己の可能性を広げさせる。
- (4) 規則を大切にし、自ら考え自主的に行動する能力を身につける。
 - ア 整った身だしなみや挨拶など、自立していく上で必要な力を大切にさせる。
 - イ 校内の美化に努めさせる。
 - ウ 規則正しく健康的な生活を定着させる。
 - エ 交通安全に努め、交通ルールを厳守させる。

2 年間実践計画 ※確認中

学期	月	事項	学期	月	事項
1	4	・見学旅行仕様書作成 ・学年目標と年間実践計画の策定 ・LHR 年間計画の策定 ・ホームルーム組織の構成 ・生活、学習の基本的習慣の指導 ・交通安全指導（交通安全週間） ・身だしなみ確認指導 ・図書オリエンテーション ・部活動への参加指導 ・集団行動指導 ・健康安全指導（身体測定、心電図、胸部X線、尿検査） ・自転車点検指導 ・ゴールデンウィークの指導	1	5	・生徒会活動への参加指導（生徒総会、地区壮行会） ・保護者懇談会 ・朝学習
			1	6	・夏季略装指導、身だしなみ確認指導 ・交通安全指導（交通安全週間） ・朝学習 ・災害安全指導（防災学校） ・健康安全指導（歯科検診） ・期末考査指導
1	5	・生活全般にわたる指導 ・宿泊研修業者決定 ・見学旅行業者決定 ・下宿生指導 ・交通安全指導（交通安全週間） ・健康安全指導（内科検診） ・生徒理解調査	1	7	・生活指導（防犯講話） ・1学期の学業指導 ・学校祭の準備と参加指導 ・1学期の反省 ・夏季休業中の生活指導

学期	月	事項	学期	月	事項
2	8	・ 2 学期の心構え指導 ・ 身だしなみ確認指導 ・ 体育行事への参加指導（夏季体育文化大会）	2	12	・ 2 学期の学業指導 ・ 身だしなみ確認指導 ・ 2 学期の反省 ・ 宿泊研修事前指導 ・ 冬季休業中の生活指導
	9	・ 生徒会活動への参加指導（生徒会役員選挙） ・ HR 組織の構成（後期） ・ 生活全般指導（身だしなみ確認週間） ・ 体育行事への参加指導（夏季体育文化大会） ・ 中間考査指導 ・ 朝学習 ・ 秋季避難訓練	3	1	・ 3 学期の心構え指導 ・ 身だしなみ確認指導 ・ 朝学習 ・ 宿泊研修事前指導 ・ 宿泊研修の指導 ・ 交通安全講話
	10	・ 生活指導（SNS の利用について） ・ 生活全般指導（身だしなみ確認週間） ・ 体育行事への参加指導（夏季体育文化大会） ・ 災害安全指導（避難訓練） ・ 学力テスト ・ 職業適性診断 ・ 朝学習 ・ 宿泊研修事前指導		2	・ 期末考査の指導
	11	・ 自転車通学終了 ・ 列車・バス通学生指導 ・ 朝学習 ・ 期末考査の指導 ・ 宿泊研修事前指導 ・ 保護者との懇談（学年別懇談会）		3	・ 学力テスト ・ 学年末の学業指導 ・ スポーツへの参加と健康指導（冬季体育文化大会） ・ 1 年間の反省 ・ 学年末・始休業の生活指導

3 業務分担

係名	担当者	係名	担当者
生活	佐 藤	宿泊研修 見学旅行	太 田
学習	板 谷	会計	畠 山
進路	遠 藤	連絡調整	高橋史

全体：澤 田

第2学年

1 重点目標

- (1) 主体的に学習に取り組む態度の習慣化を図る。
 - ア 意欲的に授業に参加し、放課後の時間も有効に活用する。
 - イ 家庭学習を習慣化し、基礎学力の向上に努める。
- (2) 将来像を描きながら、生活全般において凡事徹底を図る。
 - ア 社会の即戦力として必要な礼儀や挨拶、マナーを身に付ける。
 - イ 身だしなみ・言葉づかい・適切な態度を心がけ、責任のある言動をとる。
 - ウ 規則正しい健康的な生活を定着することで、遅刻・欠席・早退をしない。
- (3) 集団としてのルールや社会性を身に付ける。
 - ア 互いの個性を尊重し合う姿勢を養い、健全で安全な生活を送る態度を身に付ける。
 - イ 公共心を育むとともに、公共物を大切に扱い、快適で過ごしやすい生活環境を維持する。
 - ウ 命の尊さを意識し、自他とともに社会を支える存在であることを認識する。
 - エ 交通安全に努め、交通ルールの遵守を図る。
- (4) 進路意識を高める。
 - ア 自己を理解するとともに、長所を伸ばし短所を改善する意識を高める。
 - イ 職業に関する知識を広げるとともに社会に対する関心を持ち、将来の目標を考える。
 - ウ 資格取得に挑戦しながら自己の可能性を高め、広い視野を養い技能を高める。

2 年間実践計画

学期	月	事項	学期	月	事項
1	4	・HR組織の構成 ・生活・学習の基本的習慣の指導 ・1学期の心構えの指導 ・進路希望調査 ・集会指導 ・資格取得計画の指導 ・交通安全指導（交通安全週間） ・身だしなみ確認指導 ・見学旅行の計画立案開始 ・自転車点検 ・ゴールデンウィークの指導 ・キャリアパスポートの指導 ・到達度テスト	1	6	・夏季服装指導、服装頭髪指導 ・朝学習③④ ・各種資格取得の指導 ・交通安全指導（交通安全週間） ・身だしなみ確認週間、確認指導 ・全道大会壮行会 ・災害安全指導（避難訓練） ・健康安全指導（歯科検診） ・期末考査指導
	5	・朝学習①② ・教務オリエンテーション ・下宿生指導 ・交通安全指導（交通安全週間） ・前期生徒総会 ・地区大会壮行会 ・保護者懇談会 ・見学旅行の計画 ・到達度テスト振返り		7	・朝学習⑤ ・身だしなみ確認指導 ・各種資格取得の指導 ・1学期の学業指導 ・学校祭の準備と参加指導 ・1学期の反省 ・夏季休業中の生活指導

学期	月	事項
2	8	・ 2 学期の心構えの指導 ・ 身だしなみ確認指導 ・ 見学旅行の計画、準備
	9	・ 朝学習⑥⑦ ・ 各種資格取得の指導 ・ 生徒会役員選挙 ・ 後期生徒総会 ・ 交通安全指導（交通安全週間） ・ 生活全般指導（生活改善週間） ・ 中間考査指導 ・ 見学旅行の準備 ・ H R 組織の構成(後期) ・ 災害安全指導（避難訓練）
	10	・ 朝学習⑧⑨ ・ 夏季体育文化大会 ・ 身だしなみ確認週間、確認指導 ・ 交通安全指導（交通安全週間） ・ 各種資格取得の指導 ・ 2 学期中間の学業指導 ・ 見学旅行事前指導と準備 ・ 保護者説明会（見学旅行）
	11	・ 見学旅行の実施 ・ 見学旅行の反省 ・ 交通安全指導（交通安全週間、自転車通学終了、列車・バス通学生指導） ・ 身だしなみ確認指導 ・ 朝学習⑩⑪ ・ 薬物乱用防止教室 ・ P T A 学年別懇談会、進路説明会 ・ 期末考査の指導

学期	月	事項
2	12	・ 全道全国大会壮行会 ・ 身だしなみ確認週間、確認指導 ・ 基礎学力テスト事後指導 ・ 2 学期の学業指導 ・ 2 学期の反省 ・ 冬季休業中の生活指導
	3	・ 朝学習⑫ ・ 到達度テスト ・ 3 学期の心構え指導 ・ 身だしなみ確認指導 ・ 進路指導（進路体験発表）
	2	・ 到達度テスト振返り ・ 工業基礎学力テスト ・ 期末考査の指導 ・ 賞状授与式
3	1	・ 朝学習⑬ ・ 到達度テスト ・ 3 学期の心構え指導 ・ 身だしなみ確認指導 ・ 進路指導（進路体験発表）
	2	・ 到達度テスト振返り ・ 工業基礎学力テスト ・ 期末考査の指導 ・ 賞状授与式
	3	・ 進路ガイダンス ・ S P I 就職対策テスト ・ 冬季体育文化大会 ・ 学年末の学業指導 ・ 1 年間の反省 ・ 学年末、始休業の生活指導 ・ 学年目標と年間実践計画の策定 ・ L H R 年間計画の策定

3 業務分担

係名	担当者	係名	担当者
生活	◎北島 ○友成	見学旅行	◎加藤 ○坂口
学習	◎田中航 ○加藤	生徒会	◎熊谷 ○北島
進路	◎坂口 ○田中航	連絡調整	◎友成 ○熊谷

全体：藤 田

第3学年

1 重点目標

- (1) 将来の目標に向かって、主体的な学習態度を確立する。
 - ア 日常の授業を大切にし、意欲的に授業に取り組む。
 - イ 目標を設定し、計画的・継続的な学習を実践する。
 - ウ 目的意識を持ち、家庭学習の定着を図る。
- (2) 生活全般において凡事徹底を図る。
 - ア 規則正しく健康的な生活を実行し、遅刻・欠席・早退をしない。
 - イ 品位(身だしなみ・言葉遣い・ふるまい)を保ち、社会に出るために必要な資質を身に付ける。
 - ウ 最上級学年としての自覚を持ち、責任ある行動をとる。
- (3) 集団や社会の一員としての自覚を持つ。
 - ア 互いの個性や立場を理解し、目標に向けてともに協力しあう。
 - イ 社会の形成に主体的に参画するための判断力・行動力を高める。
 - ウ 「四ない運動」を遵守し、交通安全を心がける。
- (4) 正しい職業観を持ち、希望する進路の実現を図る。
 - ア 自己の適性や能力を理解し、適確に進路を決定する。
 - イ 進路の決定に備え、意欲的に進路情報の把握に努める。
 - ウ 保護者・担任等と自主的に相談し、自ら進路目標実現に向けて行動する。

2 年間実践計画

学期	月	事項	学期	月	事項
1	4	・学年目標、年間実践計画の策定 ・HR組織の構成 ・生活、学習の基本的習慣の指導 ・学力テスト ・集会指導 ・身だしなみ確認指導 ・交通安全週間 ・駅頭指導 ・自転車点検 ・進路希望調査	1	6	・朝学習 ・進路ガイダンス ・夏季略装指導 ・春季避難訓練 ・進路個人面談指導 ・就職用写真撮影 ・交通安全週間 ・履歴書指導① ・進路希望調査 ・学習週間 ・1学期期末考査 ・身だしなみ確認週間
	5	・朝学習 ・教務オリエンテーション ・進路オリエンテーション ・交通安全週間 ・前期生徒総会 ・地区大会壮行会 ・進路個人面談指導 ・下宿生指導 ・作文指導 ・保護者懇談会		7	・身だしなみ確認指導 ・学力テスト ・履歴書指導 ・学校祭の準備と参加指導 ・進路個人面接指導 ・生徒会行事への参加指導(学校祭) ・学業不振者への指導 ・1学期の反省 ・夏季休業中の生活指導

学期	月	事項	学期	月	事項
2	8	・ 2 学期の心構え指導 ・ 身だしなみ確認指導 ・ 交通安全週間 ・ 夏季体育文化大会 ・ 進路相談 ・ 履歴書指導 ・ 就職推薦申し込み ・ 就職希望先一覧提出 ・ 就職出願書類発送準備 ・ 三者懇談	2	11	・ 推薦入学出願書類発送（四年制大学・短期大学推薦開始） ・ 交通安全週間 ・ 学習週間 ・ 2 学期期末考査 ・ 進路希望一覧表提出 ・ 身だしなみ確認週間、確認指導 ・ 進路内定後の生活指導
	9	・ 朝学習 ・ 就職試験直前指導 ・ 就職出願書類発送 ・ 就職受験報告書提出 ・ 進学者指導 ・ 生徒会役員選挙 ・ 交通安全週間 ・ 生活改善週間 ・ 学習週間 ・ 2 学期中間考査 ・ 秋季避難訓練		12	・ 全道全国大会壮行会 ・ 学業不振者指導 ・ 進路希望一覧表提出 ・ 進学者の受験指導 ・ 2 学期の反省 ・ 冬季休業中の生活指導
	10	・ 身だしなみ確認週間、確認指導 ・ 進路希望一覧表提出 ・ 就職未定者の指導 ・ 進学者指導（推薦入学希望者）（専修各種学校推薦開始） ・ 交通安全週間 ・ 運転免許取得希望者の指導 ・ 推薦入学（四年制大学・短期大学）出願書類作成 ・ 進路内定後の生活 ・ 自動車学校通学説明会	3	1	・ 身だしなみ確認指導 ・ 朝学習 ・ 3 学期の心構え指導 ・ 進路体験発表 ・ 卒業時の意識調査 ・ 学習週間 ・ 3 学期期末考査 ・ 交通安全講話 ・ 家庭学習期間中の生活指導
				2	・ 進路希望一覧表提出 ・ 1 年間の反省 ・ 卒業後の指導（就職内定者赴任指導） ・ 賞状授与式 ・ 卒業証書授与式事前指導
				3	・ 卒業証書授与式 ・ 進路先一覧表提出

3 業務分担

係名	担当者	係名	担当者
生活	○及 川 武 田	卒業アルバム	○井 上 森 河
学習	○武 田 井 上	生徒会	○岡 田 森 河
進路	○和 泉 岡 田	連絡調整	○及 川 和 泉

9 学科

土木科

1 教育目標

土木に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、建設にかかわる工事計画・設計・施工・管理などの諸課題を解決する技術者として、必要な能力や実践的な態度を育成する。

2 重点目標

- (1) 基礎的・基本的な問題の反復練習等により基礎学力の定着を図る。
- (2) 実習や課題研究の充実を図り、問題解決能力や積極的に学ぶ力を育成する。
- (3) 各種資格試験の受験指導をすすめ、学習意欲の向上を図る。
- (4) 個々に応じた進路指導の充実に努める。

建築科

1 教育目標

建築の意義や役割を理解し、基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する能力と実践的な態度を育成する。

2 重点目標

- (1) 職業人としての使命を自覚し、主体的かつ協働的に取り組む態度を育成する。
- (2) 多様な分野に適応できる創造性豊かな建築技術者の育成に努める。
- (3) 関連する資格試験の取得指導を通して、学習意欲と目的意識の向上を図る。
- (4) 個々に応じた進路指導の充実に努める。

電子機械科

1 教育目標

電子機械に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、環境に配慮しながらものづくりができる技術者を育成する。

2 重点目標

- (1) 工業人としての使命を自覚させ、創造性豊かな技術者の育成に努める。
- (2) 機械技術に関する「基礎・基本」を重視し、メカトロニクス技術の進歩発展に対応できる環境作りに努める。
- (3) 資格取得の推進と、効果的な指導方法の改善を図る。
- (4) 生徒個々に応じた進路指導の充実に努める。

電気科

1 教育目標

電気に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、電気の各分野の業務に従事する技術者と電気技術の諸問題を主体的、合理的に解決できる能力と態度を育成する。

2 重点目標

- (1) 座学と実習の教育内容を一体化して精選し、基礎的・基本的事項の定着を図る。
- (2) 各種資格試験を積極的にすすめ、学習意欲の推進を図るとともに、問題解決力や社会性を育成する。
- (3) 情報技術教育の積極的な増進を図る。
- (4) 生徒自ら能力や適性を見極め、主体的に進路選択ができるように指導する。

環境化学科

1 教育目標

化学に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、身近な環境から地球環境まで正しく理解し、これからの環境問題に主体的に取り組む態度を育成するとともに、自ら行動し日々進歩する技術に対応できる自己解決能力を持った技術者を育てる。

2 重点目標

- (1) 化学の基礎・基本を確実に習得させ、環境、資源・エネルギーに関する教育内容を充実させる。
- (2) 各種資格、検定の取得を推進し、積極的に個に応じた指導を行う。
- (3) 課題研究などを通じ、自ら学ぶ力を育成する。
- (4) 個々に応じた進路指導と生活指導の充実に努める。

情報技術科

1 教育目標

電子及び情報技術に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、電子・制御・通信・情報及びこれに関連する分野において、時代の変化と技術の発展に主体的に対応できる技術者を育成する。

2 重点目標

- (1) 座学と実習の教育内容を精選し、基礎的・基本的事項の定着を図る。
- (2) 各種資格取得を積極的に推進するとともに、効果的な指導方法を研究する。
- (3) 生徒個々に応じた進路指導の充実に努める。

ア 令和5年度入学生

共通教科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
国語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2		2		2
	文学国語	4			4	4
地理 歴史	地理総合	2			2	2
	歴史総合	2		2		2
公民	公共	2	2			2
数学	数学Ⅰ	3	4			4
	数学Ⅱ	4		3	2	5
理科	科学と人間生活	2	2			2
	物理基礎	2			2	2
	化学基礎	2			*2	0~2
保健 体育	体育	7~8	3	2	2	7
	保健	2	1	1		2
芸術	美術Ⅰ	2	2			2
外国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		4
	論理・表現Ⅰ	2			2	2
家庭	家庭基礎	2		2		2
情報	情報Ⅰ	工業情報数理で代替				
共通教科・科目小計			19	16	14~16	49~51
備考 選択 化学基礎（2単位） 第3学年で7時間目に実施						

建築科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	建築実習	6~12		3	3	6
	建築製図	2~8	3	3	3	9
	工業情報数理	2~4	2			2
	建築構造	2~6	2	2		4
	建築計画	2~8		2	2	4
	建築構造設計	2~8		1	2	3
	建築施工	2~6			2	2
	建築法規	2~4		2		2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

土木科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	土木実習	6~12		4	3	7
	土木製図	2~8		2	2	4
	工業情報数理	2~4	2			2
	測量	2~6	3	2		5
	土木基盤力学	2~6			3	3
	土木構造設計	2~8		2	2	4
	土木施工	2~6	2	3		5
	社会基盤工学	2~4			2	2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

電子機械科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	電子機械実習	6~12		4	4	8
	電子機械製図	2~8		2	2	4
	工業情報数理	2~4	2			2
	工業管理技術	2~8	1	1		2
	機械工作	2~8	2	2		4
	機械設計	2~8		2	2	4
	原動機	2~4			2	2
	電子機械	2~8		2	2	4
	生産技術	2~6	2			2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

電 気 科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	3			3
	課 題 研 究	2～4			3	3
	電 気 実 習	6～12		4	2	6
	電 気 製 図	2～8			2	2
	工 業 情 報 数 理	2～4	2			2
	電 気 回 路	2～6	5	3		8
	電 気 機 器	2～6		2	2	4
	電 力 技 術	2～6		2	4	6
	電 子 技 術	2～6		2	2	4
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考						

情報技術科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	3			3
	課 題 研 究	2～4			3	3
	情 報 技 術 実 習	6～12		3	3	6
	工 業 情 報 数 理	2～4	2			2
	電 気 回 路	2～6	3	3		6
	電 子 回 路	2～6		2	2	4
	電 子 計 測 制 御	2～6		3	2	5
	通 信 技 術	2～6			3	3
	プログラミング技術	2～8		2		2
	ハードウェア技術	2～8	2			2
業	ソフトウェア技術	2～8			2	0～2
	コンピュータシステム技術	2～8			2	0～2
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考 選択 ソフトウェア（2単位）、コンピュータシステム（2単位）						

環境化学科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	2			2
	課 題 研 究	2～4			3	3
	環 境 化 学 実 習	6～12	2	6	3	11
	環 境 化 学 製 図	2～8			2	2
	工 業 情 報 数 理	2～4		2	2	4
	工 業 化 学	6～8	2	3	3	8
	化 学 工 学	2～6	2	2	2	6
	地 球 環 境 化 学	2～6	2			2
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考						

イ 令和6年度入学生

共通教科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
国語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2		2		2
	文学国語	4			4	4
地理 歴史	地理総合	2			2	2
	歴史総合	2		2		2
公民	公共	2	2			2
数学	数学Ⅰ	3	4			4
	数学Ⅱ	4		3	2	5
理科	科学と人間生活	2	2			2
	物理基礎	2			2	2
	化学基礎	2			*2	0~2
保健 体育	体育	7~8	3	2	2	7
	保健	2	1	1		2
芸術	美術Ⅰ	2	2			2
外国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		4
	論理・表現Ⅰ	2			2	2
家庭	家庭基礎	2		2		2
情報	情報Ⅰ	工業情報数理で代替				
共通教科・科目小計			19	16	14~16	49~51
備考 選択 化学基礎（2単位） 第3学年で7時間目に実施						

建築科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	建築実習	6~12		3	3	6
	建築製図	2~8	3	3	3	9
	工業情報数理	2~4	2			2
	建築構造	2~6	2	2		4
	建築計画	2~8		2	2	4
	建築構造設計	2~8		1	2	3
	建築施工	2~6			2	2
	建築法規	2~4		2		2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

土木科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	土木実習	6~12		4	3	7
	土木製図	2~8		2	2	4
	工業情報数理	2~4	2			2
	測量	2~6	3	2		5
	土木基盤力学	2~6			3	3
	土木構造設計	2~8		2	2	4
	土木施工	2~6	2	3		5
	社会基盤工学	2~4			2	2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

電子機械科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	電子機械実習	6~12		4	4	8
	電子機械製図	2~8		2	2	4
	工業情報数理	2~4	2			2
	工業管理技術	2~8	1	1		2
	機械工作	2~8	2	2		4
	機械設計	2~8		2	2	4
	原動機	2~4			2	2
	電子機械	2~8		2	2	4
	生産技術	2~6	2			2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

電 気 科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	3			3
	課 題 研 究	2～4			3	3
	電 気 実 習	6～12		4	2	6
	電 気 製 図	2～8			2	2
	工 業 情 報 数 理	2～4	2			2
	電 気 回 路	2～6	5	3		8
	電 気 機 器	2～6		2	2	4
	電 力 技 術	2～6		2	4	6
	電 子 技 術	2～6		2	2	4
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考						

情報技術科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	3			3
	課 題 研 究	2～4			3	3
	情 報 技 術 実 習	6～12		3	3	6
	工 業 情 報 数 理	2～4	2			2
	電 気 回 路	2～6	3	3		6
	電 子 回 路	2～6		2	2	4
	電 子 計 測 制 御	2～6		3	2	5
	通 信 技 術	2～6			3	3
	プログラミング技術	2～8		2		2
	ハードウェア技術	2～8	2			2
業	ソフトウェア技術	2～8			2	0～2
	コンピュータシステム技術	2～8			2	0～2
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考 選択 ソフトウェア（2単位）、コンピュータシステム（2単位）						

環境化学科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	2			2
	課 題 研 究	2～4			3	3
	環 境 化 学 実 習	6～12	2	6	3	11
	環 境 化 学 製 図	2～8			2	2
	工 業 情 報 数 理	2～4		2	2	4
	工 業 化 学	6～8	2	3	3	8
	化 学 工 学	2～6	2	2	2	6
	地 球 環 境 化 学	2～6	2			2
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考						

ウ 令和7年度入学生

共通教科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
国語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2		2		2
	文学国語	4			4	4
地理 歴史	地理総合	2			2	2
	歴史総合	2		2		2
公民	公共	2	2			2
数学	数学Ⅰ	3	4			4
	数学Ⅱ	4		3	2	5
理科	科学と人間生活	2	2			2
	物理基礎	2			2	2
	化学基礎	2			*2	0~2
保健 体育	体育	7~8	3	2	2	7
	保健	2	1	1		2
芸術	美術Ⅰ	2	2			2
外国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		4
	論理・表現Ⅰ	2			2	2
家庭	家庭基礎	2		2		2
情報	情報Ⅰ	工業情報数理で代替				
共通教科・科目小計			19	16	14~16	49~51
備考 選択 化学基礎（2単位） 第3学年で7時間目に実施						

建築科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	建築実習	6~12		3	3	6
	建築製図	2~8	3	3	3	9
	工業情報数理	2~4	2			2
	建築構造	2~6	2	2		4
	建築計画	2~8		2	2	4
	建築構造設計	2~8		1	2	3
	建築施工	2~6			2	2
	建築法規	2~4		2		2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

土木科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	土木実習	6~12		4	3	7
	土木製図	2~8		2	2	4
	工業情報数理	2~4	2			2
	測量	2~6	3	2		5
	土木基盤力学	2~6			3	3
	土木構造設計	2~8		2	2	4
	土木施工	2~6	2	3		5
	社会基盤工学	2~4			2	2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

電子機械科・科目						
教科	科目	標準 単位数	1年	2年	3年	計
工 業	工業技術基礎	2~4	3			3
	課題研究	2~4			3	3
	電子機械実習	6~12		4	4	8
	電子機械製図	2~8		2	2	4
	工業情報数理	2~4	2			2
	工業管理技術	2~8	1	1		2
	機械工作	2~8	2	2		4
	機械設計	2~8		2	2	4
	原動機	2~4			2	2
	電子機械	2~8		2	2	4
	生産技術	2~6	2			2
	小計		10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29~31	87~89
特 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30~32	90~92
備考						

電 気 科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	3			3
	課 題 研 究	2～4			3	3
	電 気 実 習	6～12		4	2	6
	電 気 製 図	2～8			2	2
	工 業 情 報 数 理	2～4	2			2
	電 気 回 路	2～6	5	3		8
	電 気 機 器	2～6		2	2	4
	電 力 技 術	2～6		2	4	6
	電 子 技 術	2～6		2	2	4
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考						

情報技術科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	3			3
	課 題 研 究	2～4			3	3
	情 報 技 術 実 習	6～12		3	3	6
	工 業 情 報 数 理	2～4	2			2
	電 気 回 路	2～6	3	3		6
	電 子 回 路	2～6		2	2	4
	電 子 計 測 制 御	2～6		3	2	5
	通 信 技 術	2～6			3	3
	プログラミング技術	2～8		2		2
	ハードウェア技術	2～8	2			2
業	ソフトウェア技術	2～8			2	0～2
	コンピュタシステム技術	2～8			2	0～2
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考 選択 ソフトウェア（2単位）、コンピュータシステム（2単位）						

環境化学科 ・ 科 目						
教科	科 目	標 準 単位数	1 年	2 年	3 年	計
工 業	工 業 技 術 基 礎	2～4	2			2
	課 題 研 究	2～4			3	3
	環 境 化 学 実 習	6～12	2	6	3	11
	環 境 化 学 製 図	2～8			2	2
	工 業 情 報 数 理	2～4	2	2		4
	工 業 化 学	6～8	2	3	3	8
	化 学 工 学	2～6	2	2	2	6
	地 球 環 境 化 学	2～6			2	2
小 計			10	13	15	38
総合的な探究の時間					課題研究 で代替	
教科・科目合計			29	29	29～31	87～89
特 別 活 動	ホームルーム		1	1	1	3
単位合計			30	30	30～32	90～92
備 考						

令和7年度(2025年度) 年間行事計画表

日付	4月	5月	6月	日付	7月	8月	9月
1 火	年度始め休業～4/7	木 尿検査②	日	1 火	朝学習⑤(C表)	金	月 避難訓練
2 水		金 生徒総会・前期壮行会(B表6h～行事) 内科検診(1年)	月 夏季略装開始 身だしなみ確認週間 朝学習③(C表)	2 水	2年情報インターンシップ	土	火 朝学習⑥(C表)
3 木		土 憲法記念日	火	3 木		日	水
4 金		日 みどりの日	水	4 金	機械製図検定(二次)	月	木
5 土		月 こどもの日	木	5 土	第一種電気工事士試験(技能)	火	金 生徒会役員選挙(6h)
6 日		火 休日(みどりの日)	金 身だしなみ確認指導(B表行事)	6 日		水	土
7 月		水 交通安全週間	土 レタリング技能検定	7 月		木	日
8 火	始業式・入学式	木 教科担任懇談会(B表) 下宿生指導(昼休み)	日 2級建築施工管理技術検定(前期) 2級電気工事施工管理技術検定	8 火	教科担任懇談会(B表)	金	月 朝学習⑥(C表)
9 水	学力テスト①(1年) 身だしなみ確認指導(2・3年) 交通安全週間	金 教務科エンタメ①(3年) 生徒理解調査(1年)	月 朝学習③(C表) 交通安全週間	9 水		土	火 2年土木・建築インターンシップ
10 木	身体測定(B表6h+行事) 身だしなみ確認指導(1年)	土 授業参観・PTA総会 保護者懇談会	火 朝学習④(C表)	10 木		日	水 2年電子機械科インターンシップ
11 金	新入生歓迎会(B表5～行事)	日	水 産業教育意見・体験発表大会(当番校)	11 金	学校祭準備(5～6h) 防犯講話 学力テスト②(3年)	月 山の日	木
12 土		月 振替休日(PTA総会)	木 交通安全教室(B表) 歯科検診	12 土		火	金 朝学習⑦(C表)
13 日		火 教科担任懇談会(B表)	金 機械製図検定(一次) 朝学習④(C表)	13 日		水 学校閉庁日	土
14 月		水	土 定体連全道(卓球)当番校	14 月	学校祭準備(5～6h) 樽前神社祭	木 学校閉庁日	日
15 火	前期委員会① 学力テスト①(2・3年)	木 ものづくりコンテスト電子回路組立(会場校) 諸納金振替日	日	15 火	学校祭準備(5～6h) 樽前神社祭 諸納金振替日	金 学校閉庁日 諸納金振替日	月 敬老の日
16 水	前期委員会② 尿検査① 自転車点検(B表行事)	金	月 朝学習④(C表) 諸納金振替日	16 水	学校祭準備(終日) 樽前神社祭	土	火 朝学習⑦(C表) 諸納金振替日 進路希望一覧表提出(3年)
17 木	内科検診(2・3年)	土	火	17 木	学校祭準備(終日)	日	水
18 金	集会指導(B表行事)	日 測量士補試験	水 1学期期末考査 下宿訪問	18 金	学校祭(校内)	月	木
19 土		月 朝学習①(C表)	木	19 土	学校祭(一般)	火	金 認証式(B表行事)
20 日		火	金 PTA学年別懇談会(3学年) 計算技術検定	20 日	第二種電気工事士試験(技能)	水	土
21 月		水	土	21 月	海の日	木	日
22 火		木	日	22 火	振替休日(学校祭)	金	月 朝学習⑦(C表)
23 水	X線・心電図検査(1年) 女子生活指導(昼休み)	金 教務科エンタメ①(1年)	月 追考査	23 水	学校祭後片付け 終業式	土	火 秋分の日
24 木	開校記念日	土	火	24 木		日	水 2学期中間考査
25 金	教務科エンタメ①(2年) 諸納金振替日	日 第二種電気工事士試験(学科)	水	25 金		月 身だしなみ確認一斉指導 始業式 生徒会選挙告示	木
26 土		月 朝学習②(C表) 教育実習(理科)(6/13まで)	木 1日防災学校	26 土		火	金
27 日		火	金 情報技術検定	27 日		水	土
28 月		水	土	28 月		木	日
29 火	昭和の日	木	日	29 火		金	月 身だしなみ確認週間 追考査
30 水	教科担任懇談会(B表) PTA常任委員会・文体育理事会	金	月 朝学習⑤(C表)	30 水		土	火
31		土		31 木		日 第三種電気主任技術者試験(上期)	
			2級土木施工技能検定(前期)		部活動開放	部活動開放	部活動開放 PTA研修会

日付	10月	11月	12月	日付	1月	2月	3月
1 水	後期委員会①	土	月 身だしなみ確認週間 追考査	1 木	元旦 学校閉庁日	日	日 卒業証書授与式
2 木	後期委員会②	日	火	2 金	学校閉庁日	月	月 振替休日 (卒業証書授与式)
3 金	自動車学校説明会 (3年) 身だしなみ確認指導 (B表行事)	月 文化の日	水	3 土	学校閉庁日	火	火 入選会場設営 (B表6h+行事)
4 土		火 見学旅行	木	4 日		水	水 学力検査
5 日	第一種電気工事士試験 (学科)	水	金 身だしなみ確認指導 (B表行事)	5 月		木	木 面接
6 月		木	土	6 火		金 工業基礎学力テスト	金 採点
7 火	夏季体育文化大会①	金 教務リエンテーション② (1年)	日	7 水		土	土
8 水	夏季体育文化大会②	土	月	8 木		日	日
9 木	夏季体育文化大会予備日	日 2級建築施工管理技術検定 (後期) 2級電気工事施工管理技術検定	火 後期壮行会	9 金		月 入選会場設営 (B表6h+行事)	月
10 金	中学生体験入学	月 見学旅行解団式 朝学習⑩ (C表)	水	10 土		火 推薦入学面接	火
11 土		火	木	11 日		水 建国記念の日	水 学力検査 (追検査)
12 日		水	金	12 月	成人の日	木	木
13 月	スポーツの日	木	土	13 火		金	金 CBA学力テスト (1年) 卒業生講話 (2年)
14 火	朝学習⑧ (C表)	金 薬物乱用防止講話 (2年)	日 第二種電気工事士試験 (技能)	14 水		土	土
15 水		土	月	15 木		日	日
16 木		日	火 教科担任懇談会 (B表)	16 金	身だしなみ確認一斉指導 始業式 情報技術検定	月	月
17 金	自動車交通安全講習会 (3年) PTA学年別懇談会 (2学年) 高文連 (放送) 会場校	月 朝学習⑪ (C表)	水	17 土		火	火 合格発表
18 土		火	木	18 日		水 3学期期末考査	水
19 日	トレース技能検定	水	金 進路希望一覧表提出 (3年)	19 月		木	木 冬期体育文化大会①
20 月	朝学習⑧ (C表) 進路希望一覧表提出 (3年)	木 進路希望一覧表提出 (3年) 列車・バス通学指導 (B表行事) 計算技術検定 教務リエンテーション② (2年)	土	20 火		金	金 春分の日
21 火		金	日	21 水	宿泊研修	土	土
22 水		土 第一種電気工事士試験 (技能)	月 終業式	22 木		日	日 第三種電気主任技術者試験 (下期)
23 木		日 勤労感謝の日	火	23 金		月 天皇誕生日	月 冬期体育文化大会②
24 金	学力テスト② (1・2年)	月 休日 (勤労感謝の日)	水	24 土		火 追考査	火 終業式
25 土		火 朝学習⑪ (C表) 木曜授業	木	25 日		水	水 年度末休業～3/31
26 日	第二種電気工事士試験 (学科)	水 2学期期末考査	金	26 月	朝学習⑫ (C表)	木	木
27 月	朝学習⑨ (C表)	木 自転車通学終了	土	27 火		金 賞状授与式 同窓会入会式	金
28 火		金	日	28 水	3学期期末考査 (3学年)	土	土
29 水		土	月 学校閉庁日	29 木	追考査 (3学年)		日
30 木		日	火 学校閉庁日	30 金	ロータリークラブ主催交通安全講話		月 新入生物品販売
31 金	見学旅行結団式		水 学校閉庁日	31 土			火
	2級土木施工技能検定 (後期) 性教育講演会	PTA学年別懇談会 (1学年)					

令和7年度 LHR年間計画

月	日	曜	1 学年		2 学年		3 学年	
4	8	火	1	【入学式】〔担任裁量〕	1	【1学期始業式】〔担任裁量〕	1	【1学期始業式】〔担任裁量〕
	9	水	2	1年間のHR活動他	2	1年間のHR活動他	2	1年間のHR活動他
			3	諸調査他	3	生徒会役員・前期HR役員選出・諸調査他	3	生徒会役員・前期HR役員選出・諸調査他
			4	全体オリエンテーション(生徒指導・生徒会)				
	10	木	5	生徒会役員・前期HR役員選出・キャリアパスポート①他	4	個人写真撮影・キャリアパスポート①他	4	個人写真撮影・進路希望調査他
	11	金	6					
			7	クラス・個人写真撮影、図書利用エンターテインメント他				
			8					
			9	全体オリエンテーション(教務・進路)				
5	18	金	10	生徒総会議案書審議	5	生徒総会議案書審議	5	生徒総会議案書審議
	25	金			6	教務オリエンテーション①	6	作文指導
	2	金	11	学校祭①	7	学校祭①	7	学校祭①
	9	金	12	生徒理解調査	8	〔担任裁量〕	8	教務オリエンテーション
	16	金	13	学校祭②	9	学校祭②	9	学校祭②
	23	金	14	教務オリエンテーション①			10	〔担任裁量〕
	30	金	15	学校祭③	10	学校祭③	11	学校祭③
					11	職業適正診断		
6	6	金	16	ライフスキル教育			12	進路オリエンテーション
							13	履歴書指導・進路希望調査
	13	金	17	学校祭④	12	学校祭④	14	学校祭④
	27	金	18	学校祭⑤	13	学校祭⑤	15	学校祭⑤
7	4	金	19	学校祭⑥	14	学校祭⑥	16	学校祭⑥
	11	金	20	防犯講話	15	防犯講話	17	防犯講話
	23	水	21	【1学期終業式】〔体育文化大会種目決定〕	16	【1学期終業式】〔体育文化大会種目決定〕	18	【1学期終業式】〔体育文化大会種目決定〕
8	25	月	22	【2学期始業式】〔担任裁量〕	17	【2学期始業式】〔担任裁量〕	19	【2学期始業式】〔担任裁量〕
	29	金					20	〔担任裁量〕
9	5	金	23	夏季体育文化大会選手決定	18	夏季体育文化大会選手決定/見学旅行事前指導①	21	夏季体育文化大会選手決定
	12	金			19	見学旅行事前指導②	22	〔担任裁量〕
	19	金	24	後期HR役員選出	20	後期HR役員選出	23	後期HR役員選出
10	3	金	25	職業適性診断①	21	見学旅行事前指導③	24	自動車学校通学説明会
	17	金			22	見学旅行事前指導④	25	自動車交通安全講習会
	24	金			23	見学旅行事前指導⑤	26	〔担任裁量〕
	31	金			24	見学旅行結団式		
11	7	金	26	教務オリエンテーション②			27	社会人としてのマナー
	10	月			25	見学旅行解団式		
	14	金			26	薬物乱用防止講話		
	21	金	27	職業適性診断②	27	教務オリエンテーション②		
12	5	金			28	進路オリエンテーション		
	12	金	28	〔担任裁量〕				
	19	金	29	冬季体育文化大会選手決定	29	冬季体育文化大会選手決定	28	〔担任裁量〕
	22	月	30	【2学期終業式】〔担任裁量〕	30	【2学期終業式】〔担任裁量〕	29	【2学期終業式】〔担任裁量〕
1	16	金	31	【3学期始業式】〔担任裁量〕	31	【3学期始業式】〔担任裁量〕	30	【3学期始業式】〔担任裁量〕
	20	火	32	進路体験発表会	32	進路体験発表会	31	進路体験発表会、卒業時の意識調査
			33	宿泊研修結団式				
	23	金					32	〔担任裁量〕
	30	金					33	ロータリークラブ主催交通安全講話
2	6	金	34	進路オリエンテーション				
	13	金						
	27	金					34	〔担任裁量〕
3	1	日					35	【卒業証書授与式】〔担任裁量〕
	13	金			33	卒業生講話		
					34			
	24	火	35	【3学期終業式】〔担任裁量〕	35	【3学期終業式】〔担任裁量〕		

(4) 特別活動の全体計画



(5) 道徳教育の全体計画



(6) 学校保健計画

項 目			4	5	6	7	8	9
			健康状態の把握	体力の向上	虫歯の予防	夏の健康管理	目の健康	心の健康
学校保健 関係行事			●定期健康診断 (1)身体測定 聴力検査 視力検査 (2)心電図検査 (3)胸部X線検査 (4)尿検査(1次) (5)内科検診(2、3年) ●大掃除	●定期健康診断 (1)尿検査(2次) (2)内科検診(1年)	●定期健康診断 (1)歯科検診	●苦工祭 ●大掃除		
保健 管理	対人管理		●定期健康診断の 計画と実施 ●健康調査 ●健康状態の把握 ●保健調査票整理 ●救急体制計画 ●健康相談	●定期健康診断の 実施と治療勧告 ●健康相談	●定期健康診断の 実施と治療勧告 ●定期健康診断の 結果集約	●健康診断票整理 ●未治療者への指導	●治療状況調査 ●食生活の指導 ●健康相談	●健康相談 ●保健室利用状況 の集約
	対物管理		●年度始大掃除 ●防災点検	●防災点検	●環境衛生検査 (1)照度測定 (2)水質検査 (3)施設設備安全 点検 ●防災点検	●1学期末大掃除 ●防災点検	●防災点検	●環境衛生検査 (1)照度測定 (2)騒音測定 (3)教室の換気状況 調査 ●防災点検
保健 教育	保健 学習	科目 保健	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康
		保健 指導	H R 活動	●新入生保健指導 ●定期健康診断事前 指導 ●保健だより配布	●保健だより配布	●定期健康診断事後 指導 ●歯の健康指導 ●保健だより配布	●食中毒の予防指導 ●夏季休業中の健康 指導 ●保健だより配布	●体育文化大会の 安全指導 ●保健だより配布
	生徒 会		●生徒保健委員会 ●諸検査の補助	●諸検査の補助 ●敷地内清掃	●諸検査の補助 ●敷地内清掃	●敷地内清掃	●敷地内清掃	●敷地内清掃
組織活動			●総務部会 ●保健だより作成	●総務部会 ●保健だより作成	●総務部会 ●保健だより作成	●総務部会 ●保健だより作成	●総務部会 ●保健だより作成	●総務部会 ●保健だより作成

項 目			10	11	12	1	2	3
			ケガの予防	風邪・インフルエンザの予防	冬の健康管理	心の健康	規則正しい生活	健康生活の反省
学校保健 関係行事			●夏季体育文化大会 ●性教育講演会 ●大掃除	●見学旅行	●大掃除	●宿泊研修	●大掃除	●冬季体育文化大会 ●大掃除
保健 管理	対人管理		●健康相談	●感冒調査 ●見学旅行事前健康 調査・健康管理	●感冒調査 ●未治療者への指導 ●宿泊研修事前健康 調査・健康管理	●感冒調査 ●健康相談	●感冒調査 ●健康相談 ●1年間のまとめ と反省	●健康相談 ●次年度の計画
	対物管理		●防災点検 ●秋季大掃除	●防災点検	●2学期末大掃除 ●防災点検	●防災点検	●環境衛生検査 (1)騒音測定 (2)薬品点検 (3)教室の換気状況 調査 ●入選前大掃除 ●卒業式前大掃除 ●防災点検	●年度末大掃除 ●モップ交換 ●防災点検 ●教室の整備 ●清掃用具等の点検 と整備
保健 教育	保健 学習	科目 保健	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康
		保健 指導	H R 活動	●保健だより配布 ●見学旅行事前健康 指導	●感冒予防の指導 ●保健だより配布 ●薬物乱用防止講話	●冬季休業中の健康 指導 ●宿泊研修事前健康 指導 ●保健だより配布	●保健だより配布	●規則正しい生活 の指導 ●保健だより配布
	生徒 会		●生徒保健委員会 ●敷地内清掃				●生徒保健委員会	
組織活動			●総務部会	●総務部会 ●保健だより作成	●総務部会 ●保健だより作成	●総務部会 ●保健だより作成	●総務部会 ●保健だより作成 ●年度末反省・評価	●総務部会 ●保健だより作成

(7) 学校安全計画

項 目			4	5	6	7	8	9
			安全意識の高揚	環境の美化と安全の点検	防災と安全	事故のない夏休み	防災と安全	交通道德の理解
安全 教育	安全指導	保健体育	安全についての指導 体育施設・用具の安全点検 既往症の把握	体育施設・用具の安全点検	(保)交通安全 (保)応急手当	(保)現代社会と健康	(保)熱中症の予防	(保)熱中症の予防 (保)交通安全
	安全指導	1年HR活動	高校に入学して 通学時の安全 防災体制について	自転車の安全な利用	防災と安全(火災) 防災日より配布	夏休みの生活と安全 苦工祭の安全	防災日より配布	通学路の安全 自転車交通安全講習会 防災と安全(地震)
		2年HR活動	2年生になって 通学時の安全 防災体制について	自転車の安全な利用	防災と安全(火災) 防災日より配布	夏休みの生活と安全 苦工祭の安全	防災日より配布	通学路の安全 防災と安全(地震)
		3年HR活動	3年生になって 通学時の安全 防災体制について	自転車の安全な利用	防災と安全(火災) 防災日より配布	夏休みの生活と安全 苦工祭の安全	防災日より配布	防災と安全(地震)
		主な学校行事	始業式 入学式 交通安全週間 新入生歓迎会 身体測定 自転車点検 交通安全教室 内科検診(2,3年)	交通安全週間 生徒総会 地区壮行会 保護者懇談会 内科検診(1年)	交通安全週間 学習週間 1日防災学校 歯科検診 期末考査 学年別懇談会(3年)	交通安全週間 防犯講話(1年) 苦工祭 終業式	始業式 交通安全週間 夏季体育文化大会	秋季避難訓練 生活改善週間 生徒会役員選挙 学習週間 交通安全週間 中間考査 学年別懇談会(2年)
		個別指導	玄関指導 校内巡回指導 交通安全街頭指導 自転車点検 通学指導 駐輪場指導 駅頭指導	交通安全街頭指導 下宿生指導 生徒理解調査	交通安全街頭指導	交通安全街頭指導 苦工祭警備 夏季休業指導	交通安全街頭指導 夏季体育文化大会 警備	交通安全街頭指導 自転車交通安全講習会
		部活動	部長主将会議 活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整理	部長主将会議 活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整理	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整理	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整理	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整理	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整理
安全 管理	対人管理	学校生活の安全管理	通学状況調査 自転車通学指導 通学指導 防災計画と組織編成 授業時の安全確認		防災教育	夏季休業中の交通安全指導 苦工祭の安全対策	通学状況の指導 夏季体育文化大会の安全対策	避難訓練の徹底 通学路の安全と交通道德の理解
	対物管理	学校環境の安全点検	校内安全点検活動 防災点検	体育施設用具の安全点検 防災点検	校内安全点検活動 保健室薬品の安全管理・化学等実験 用薬品の安全管理 消防設備点検 防災点検	体育施設用具の安全点検 防災点検	校内安全点検活動 防災点検	体育施設用具の安全点検 環境衛生検査 防災点検
	学校安全に関する組織活動		交通安全指導 交通安全街頭指導 自転車点検	交通安全指導 交通安全街頭指導	交通安全指導 交通安全街頭指導 1日防災学校	交通安全指導 交通安全街頭指導	交通安全指導 交通安全街頭指導	交通安全指導 交通安全街頭指導 避難訓練

項 目			10	11	12	1	2	3
			スポーツ行事 の安全	安全な通学	事故のない冬休み	安全な生活	冬のスポーツ と安全	安全生活の反省
安全 教育	安全 指導	保健体育	体育文化大会の 準備と安全 体育施設・用具の 安全点検 (保)応急手当	(保)交通安全	(保)現代社会と健康	体育施設・用具の 安全点検	(保)応急手当	体育文化大会の 準備と安全 体育施設・用具の 安全点検 安全に関する評価
	安全 指導	1年 HR活動	体育文化大会の安全 SNSの利用について	列車・バス通学指導	冬休みの生活と安全	身の回りの整理整頓	休業日の交通事故 防止 規則正しい生活	体育文化大会の安全 春休みの生活と安全
		2年 HR活動	体育文化大会の安全 見学旅行の安全	列車・バス通学指導 薬物乱用防止講話	冬休みの生活と安全	身の回りの整理整頓	休業日の交通事故 防止 規則正しい生活	体育文化大会の安全 春休みの生活と安全
		3年 HR活動	体育文化大会の安全 自動車交通安全講習会	列車・バス通学指導	冬休みの生活と安全	身の回りの整理整頓	家庭学習について 交通安全講話	
		主な 学校行事	体験入学 交通安全週間	交通安全週間 学習週間 期末考査 学年別懇談会(1年) 自転車通学終了 見学旅行	全道・全国壮行会 終業式	始業式 学習週間(3年) 学年末考査(3年) 宿泊研修	入試選抜(推薦) 交通安全講話(3年) 学習週間 学年末考査 賞状授与式	卒業証書授与式 入試選抜(一般) 冬季体育文化大会 終業式
		個別指導	自動車学校通学説 明会 交通安全街頭指導 SNSの利用について	交通安全街頭指導	冬季休業指導			
		部活動	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整備	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整備	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整備	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整備	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整備	活動場所の安全点検 部室の安全点検 用具の点検・整備
安全 管理	対人 管理	学校生活 の 安全管理		自転車通学終了	冬季休業中の交通 安全指導	冬の通学状況指導		学年末休業中の交 通安全指導 冬季体育文化大会 の安全対策
	対物 管理	学校環境 の 安全点検	校内安全点検活動 防災点検	体育施設用具の安 全点検 防災点検	校内安全点検活動 保健室薬品の安全 管理・化学等実験 用薬品の安全管理 消防設備点検 防災点検	体育施設用具の安 全点検 環境衛生検査 防災点検	校内安全点検活動 環境衛生検査 防災点検	体育施設用具の安 全点検 防災点検
	学校安全に 関する 組織活動		交通安全指導 交通安全街頭指導	交通安全指導 交通安全街頭指導				

(8) 令和7年度各種資格取得に関する資料

番号	資格の名称	対象 学科	試 験 日	試験場	取りまと め学科	受 付 期 間	試験方法
(1)	計 算 技 術 検 定 (1級～3級)	全科	第1回 6月20日 第2回 11月21日	本校	子機	4月1日～5月9日 9月1日～10月3日	計算技術試験
(2)	情 報 技 術 検 定 (1級～3級)	子機 情報	6月27日 1月16日	本校	情報	4月1日～5月9日 9月1日～10月31日	筆記試験
(3)	情報処理技能検定 (表計算) (初段～4級)	土木 建築 電気 環境	第1回 7月13日 第2回 10月12日 第3回 12月14日 第4回 2月22日	本校	電気 環境	5月30日～6月12日 9月5日～9月18日 10月31日～11月13日 1月9日～1月22日	実技試験
(4)	機 械 製 図 検 定	子機	第1次 6月13日 第2次 7月4日	本校	子機	4月1日～5月9日	筆記試験 実技試験
(5)	レタリング技能検定試験 (2級～4級)	全科	6月7日	本校	建築	3月3日～4月16日	実技試験 及び 知識試験
(6)	トレース技能検定試験 (1級～4級)	全科	10月19日	本校	建築	7月1日～9月13日	実技試験 および 理論試験
(7)	危険物取扱者試験 (丙種、乙種第1～6類、甲種)	全科	第2回 6月15日 第4回 9月7日 第6回 11月16日 第8回 2月8日	苫小牧	環境	4月23日～4月30日 7月28日～8月4日 9月29日～10月6日 12月4日～12月11日	筆記試験 (択一式)
(8)	ガス溶接技能講習	子機	2年次実習で実施	本校	子機		学科講習・実技講習の後に修了試験
(9)	二級ボイラー技士試験	全科	1月上旬	恵庭	子機	11月初旬～	筆記試験
(10)	測 量 士 補 試 験	全科	5月18日	札幌	土木	1月6日～1月30日	筆記試験
(11)	土 木 施 工 管 理 技 術 検 定 試 験	土木	前期 6月1日 後期 10月26日	札幌	土木	3月5日～3月19日 7月2日～7月16日	筆記試験
(12)	建 築 施 工 管 理 技 術 検 定	建築	前期 6月8日 後期 11月9日	札幌	建築	2月7日～2月28日 6月25日～7月23日	筆記試験 (択一式)
(13)	電 気 工 事 施 工 管 理 技 術 検 定	電気	前期 6月8日 後期 11月9日	札幌	電気	2月7日～2月28日 6月25日～7月23日	筆記試験
(14)	Q C 検 定 (4級)	全科	前期 6月23日～9月28日 後期 3月	札幌等	電気	5月8日～8月24日 12月	CBT

受験料金(円)		試験科目と内容	使用テキスト参考書
1級	1,150	方程式とその応用、ベクトルと面積・体積、統計処理	3・4級計算技術検定問題集 (工業校長会編)
2級	800	関数計算、方程式と不等式、応用計算	
3級	700	四則計算、関数計算、実務計算	
1級	900	情報処理用語、ソフトウェアの知識、ハードウェアの知識 プログラム作成能力	情報技術検定試験 標準問題集 (工業校長会編)
2級	700	情報処理用語、ソフトウェアの知識、ハードウェアの知識 プログラム作成能力	
3級	700	電子計算機の構成、作業の手順と流れ図の基本、数の表現と論理 プログラム言語	既出試験問題プリント
準1級	2,500	文字・数字の入力、合計・平均関数、罫線処理、判断文、絶対参照 最大値・最小値の検索、端数処理関数、順位付け、通貨表示 日付表示、並べ替え、表示形式	情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集 (日本情報処理検定協会)
2級	2,300		
準2級	2,100		
3級	1,900		
	1,050	機械製図の基礎知識(第1次) 機械部品の製作図をかく(第2次)	製図教科書、製図検定問題集
2級	4,900	書体を選択し創作し表現する能力を持っている。 基本の書体を理解しその表現技術を持っている。 漢字とかなの基本書体を理解し整った文字を書くことができる。	書体サンプル集
3級	3,800		
4級	2,400		
1級	5,500	印刷用原図として使用できる高度な技術・能力を持ち、該当専門分野の技術指導ができる。	既出試験問題集 ガイドブック トレースの実技 標準製図法
2級	4,500	かなり複雑な工業用図面を正しく美しく速くトレースができ、図面作成上の基本的知識をもっている。	
3級	3,500	やや複雑な工業用図面を正しく美しくトレースができ、工業規格の基本的事項が理解できる	
4級	2,500	簡単な図および工業に関する図面をトレースでき、図面作成上の初歩的な知識をもっている。	
丙種 乙種 甲種	4,200 5,300 7,200	危険物に関する法令、基礎的な物理学及び基礎的な化学、危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	危険物取扱者受験教科書
	なし	可燃性ガスおよび酸素の知識、設備の構造およびその取扱い、関係法令	新版ガス溶接技能者教本 (労働省認定教科書)
	8,800	ボイラー構造、ボイラー取扱、燃料および燃焼、関係法令	二級ボイラー技士受験教科書セット
	2,850	三角測量作業、多角測量作業、地形測量作業、写真測量作業 地図編集、応用測量作業	指定なし
2級	6,000	1. 土木一式工事の施工に必要な土木工学に関する概略の知識を有すること。 2. 設計図面を正確に読みとるための知識を有すること。 3. 土木一式工事の施工計画作成方法及び工程管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する基礎的な知識を有すること。 4. 建設工事の施工に必要な法令に関する概略知識を有すること。	2級土木施工管理技士 受験対策テキスト1 受験対策テキスト2 受験対策問題集 (㈱建築資料研究社・日建学院)
2級 (第一次)	6,150	1. 建築一式工事の施工に必要な建築学、土木工学、電気工学、電気通信工学及び機械工学に関する概略の知識を有すること。 2. 設計図書を正確に読みとるための知識を有すること。 3. 建築一式工事の施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する概略の知識を有すること。 4. 建設工事の施工に必要な法令に関する概略の知識を有すること。	2級建築施工管理技士 学科問題解説集 (㈱建築資料研究社・日建学院)
2級	7,900	1. 電気工事の施工に必要な電気工学、電気通信工学、土木工学、機械工学および建築学に関する概略の知識を有すること。 2. 電気設備に関する概略の知識を有すること。 3. 設計図書を正確に読みとるための知識を有すること。 4. 電気工事の施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する概略の知識を有すること。 5. 建設工事の施工に必要な法令に関する概略の知識を有すること。	2級電気工事施工合格問題集 (オーム社)
4級	4,400	品質管理、管理、改善、工程、検査、標準・標準化、QC七つ道具、企業活動の基本など、企業活動の基本常識に関する理解度の確認	品質管理検定4級用テキスト (日本規格協会)

番号	資格の名称	対象 学科	試 験 日		試験場	取ま とめ学科	受 付 期 間	試験方法
(15)	第 二 種 電 気 工 事 士 試 験	電気 情報	C B T 上期 4月21日 ～5月8日 下期 9月19日 ～10月6日		札幌等	電気	3月17日～4月7日 8月18日～9月4日	C B T方式
			筆記試験 上期 5月25日 下期 10月26日				3月17日～4月7日 8月18日～9月4日	筆記試験
			技能試験 上期 7月20日 下期 12月14日				学科試験合格者	技能試験
(16)	第 一 種 電 気 工 事 士 試 験	電気	C B T 上期 4月1日 ～5月8日 下期 9月1日 ～9月18日		札幌等	電気	2月14日～3月3日 7月28日～8月14日	C B T方式
			筆記試験 上期 — 下期 10月5日				7月28日～8月14日	筆記試験
			技能試験 上期 7月5日 下期 11月22日				学科試験合格者	技能試験
(17)	第 三 種 電 気 主 任 技 術 者 試 験	電気	CBT 7月17日～8月10日 上期 8月31日 CBT 2月5日～3月1日 下期 3月22日		札幌等	電気	5月19日～6月5日 11月10日～11月27日	筆記試験 C B T方式
(18)	I T パ ス ポ ー ト	情報等	毎月数回程度 (要確認)		札幌等	情報	受験日の5日前まで	C B T方式
(19)	基 本 情 報 技 術 者	情報等	毎月数回程度 (要確認)		札幌等	情報	受験日の1週間前まで	C B T方式
(20)	第二級デジタル通信 工 事 担 任 者	情報等	毎月数回程度 (要確認)		札幌等	情報	受験日の3日前まで	C B T方式
(21)	3 級 電 子 機 器 組 立 て 技 能 検 定	情報等	前期 学科7月中旬 実技8月上旬 後期 学科2月上旬 実技1月下旬		苫小牧又は 札幌 (実技は本 校の場合あ り)	情報	前期 4月上旬～中旬 後期 10月上旬～中旬	学科試験 実技試験
(22)	3 級 情 報 配 線 施 工 技 能 検 定	情報等	1回目 6月上旬 2回目 9月下旬 3回目 1月下旬 (いずれも土曜日)		札幌 又は 本校	情報	1回目4月上旬～5月中旬 2回目7月中旬～8月中旬 3回目11月中旬～12月中旬	学科試験 実技試験
(23)	特殊無線技士 (航空・一級陸上・二 級海上)	情報等	1回目6月上旬 2回目10月下旬 3回目2月上旬 ※二級海上はCBT方式のため日程は随時		札幌	情報	1回目4月上旬～中旬 2回目8月上旬～中旬 3回目12月上旬～中旬	筆記試験(空・1陸) 実地試験(空) C B T方式(2海)
(24)	2 級 電 気 通 信 工 事 施 工 管 理 技 士 補	情報等	前期 後期	6月2日 11月17日	札幌	情報	3月6日～3月21日 7月9日～7月23日	筆記試験 (択一式)
(25)	日 本 語 ワ ー プ ロ 検 定 試 験 (1 級 ～ 4 級)	全科	第 1 回 第 2 回 第 3 回	7月6日 10月12日 12月7日	本校	ワープロ 同好会	5月30日～6月12日 9月5日～9月18日 11月5日～11月17日	実技試験
(26)	実 用 英 語 技 能 検 定	全科	第 1 回 第 2 回 第 3 回	6月1日 10月5日 1月25日	苫小牧 市内他	英語	3月24日～5月4日 7月1日～9月5日 10月31日～12月12日	筆記試験 リスニング ライティング スピーキング

受験料金(円)	試験科目と内容	使用テキスト参考書
9,300	電気に関する基礎理論、配電理論及び配線設計、電気機器配線器具並びに電気工事用の材料及び工具、電気工事の施工方法、一般用電気工作物の検査方法、配線図、一般用電気工作物の保安に関する法令 電気の接続、配線工事、電気機器及び配線器具の設置、電気機器・配線器具並びに電気工事用材料及び工具の使用方法、コード及びキャブタイヤケーブルの取付け、接地工事、電流・電圧・電力及び電気抵抗の測定、一般用電気工作物の検査、一般電気工作物の故障箇所の修理	第2種電気工事士筆記試験 すい〜っと合格 (オーム社) 第二種電気工事士筆記試験模範解答集 (電気書院)
10,900	電気に関する基礎理論、配電理論及び配線設計、電気応用、電気機器・蓄電池・配線器具・電気工事用の材料及び工具並びに受電設備、電気工事の施工方法、自家用電気工作物の検査方法、配線図、発電施設、送電施設及び発電施設の基礎的な構造及び特性、一般電気工作物及び自家用電気工作物の保安に関する法令 電線の接続、配線工事、電気機器、蓄電池及び配線器具の設置、電気機器・蓄電池・配線器具並びに電気工事用材料及び工具の使用方法、コード及びキャブタイヤケーブルの取付け、接地工事、電流・電圧・電力及び電気抵抗の測定、一般用電気工作物の検査、一般用電気工作物の故障箇所の修理	第1種電気工事士筆記試験 すい〜っと合格 (オーム社)
7,700	電気理論及び電気計測に関するもの、発電所及び変電所の設計及び運転に関するもの、送電線路及び配電線路の設計及び運用並びに屋内配線の設計に関するもの、電気機器及び電気材料に関するもの、照明・電熱・電動機応用・電気化学及び自動制御に関するもの、電気法規(保安に関するものに限る)及び電気施設管理に関するもの	みんなが欲しかった！電験三種教科書&問題集 (TAC出版)
7,500	財務、法務、経営戦略など経営全般に関する基本的な考え方特徴など。システム開発、プロジェクトマネジメントなどIT管理に関する基本的な考え方、特徴など。ネットワーク、セキュリティ、データベースなどIT技術に関する基本的な考え方、特徴など。	栢木先生のITパスポート試験 (技術評論社)
7,500	ハードウェアの基礎知識、ソフトウェアの基礎知識、プログラムの作成能力、関連知識	
8,700	電気通信技術の基礎、端末設備の接続のための技術、端末設備の接続に関する法規	工事担任者第2級デジタル通信実戦問題 (リックテレコム)
学科試験 3,100 実技試験 12,200	学科試験 電子機器・電気及び電子・組立て法・材料・製図・安全衛生 実技試験 シャーシ、専用プリント配線板、IC、トランジスタ等の部品を用いた光検出器の組み立て	学科：既出問題プリント 実技：試験前10日程度の講習
学科試験 6,500 実技試験 6,500	学科試験 情報ネットワーク概論、配線施工機材及び工具、情報配線システム、メタルケーブルの配線施工、光ケーブルの配線施工、測定試験、安全衛生 実技試験 光ケーブル・メタルケーブルの配線施工に関するペーパー及び作業試験	学科及びペーパー実技：既出問題プリント 作業：試験前7日程度の講習
二級海上 5,600 航空 6,400 一級陸上 6,300	筆記試験 無線工学及び法規(2級海上CBT方式も同じ) 実地試験 電気通信術(1分間50字の速度の欧文による約2分間の送話及び受話)(練習用CD貸出)	筆記：既出問題プリント 1級陸上：一陸特合格ガイド (翔泳社)
6,500	ア 電気通信工事の施工に必要な電気通信工事、電気学、土木工事等の概略の知識 イ 有線電気通信設備、無線電気通信設備、放送機械設備等に関する概略の知識 ウ 設計図書を正確に読みとるための知識 エ 施工計画の作成方法や工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する概略の知識 オ 建設工事の施工に必要な法令に関する概略の知識	電気通信工事施工管理技士突破攻略2級第1次検定 (技術評論社)
初 段4,300 1 級2,700 準2級2,100 準1級2,500 3 級1,900 2 級2,300 4 級1,500	実技試験 (入力速度、手書き原稿からビジネス文書作成)	
2 級 9,100 準2級 8,500 3 級 6,900 4 級 4,700	2 級 高校卒業程度 準2級 高校中級程度 3 級 中学卒業程度 4 級 中学中級程度	幹旋：7日間完成予想問題ドリル[5訂版] (旺文社)

11 各教科・各科課題と具体策、研究テーマ

	教科指導上の課題	解決への具体策
国語	・ 様々な文章に触れ、的確に理解し、効果的に表現する力を養う ・ 伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす ・ 漢字の読み書き等、語彙力を豊かにする	1 課題等の補助教材を効果的に活用する 2 漢字学習テキストを活用する 3 ICT 機器を効果的に活用する
公民	・ 社会と人間に関する基本的な問題について解決を深め、自ら人間としてのあり方生き方について考える力を養う	1 教材の精選をはかる 2 地図、グラフ、視聴覚機器、ICT 機器などを積極的に活用する
地歴	・ 世界の地理及び歴史についての基本的事項を理解させ、それに必要な思考力を養う	3 授業内容の工夫を図る 4 生徒の実態や進路に即した学習内容を考える
数学	・ 基礎的、基本的内容の理解を深め、基礎学力の充実を図る ・ 多様な進路に対応するために、発展的学習内容の精選とその指導を行う	1 教材を精選し、基本的事項を深化する 2 問題集を活用して、定着を図る 3 進学生徒の補講、学力不振者の補習に力を入れる
理科	・ 知的好奇心や探究心を喚起し、自ら学ぶ意識を高め、自然を主体的に学習しようとする態度を育てる ・ 実験、観察を通して科学的に自然を調べる方法を身につけさせる	1 基礎学力の充実 2 教材の精選 3 手作り実験 4 ICT 機器の活用
保健体育	・ 「自ら学ぶ力・健康安全」、「豊かな心・公正な判断力」、「旺盛な責任感」を育成する	1 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解させ、技能を身につけさせる 2 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養わせる 3 観点別評価に伴い定期考査の実施の有無を見直す
芸術 (美術)	・ 創造性をはぐくむ造形体験の充実を図りながら、形や色などによるコミュニケーションを通して、生活や社会と豊かに関わる態度を育てる	1 多様な表現方法や美術文化についての理解を深める 2 作品発表の機会を増やし、言語活動の活発化や鑑賞教育の充実を図る
外国語 (英語)	・ 英語に対して苦手意識を持つ生徒達への指導法について ・ 英語への興味・関心を喚起し、基礎学力の定着を図る ・ 身近な日常生活の場面で相手の意向を聞き取り、自分の考えを英語で話す能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う ・ 個々のレベルに応じた個別指導を行う	1 授業規律を整え「やれば出来る・学ぶことは楽しい」と実感出来る授業を行う 2 基礎力確認テスト、動詞活用テスト等を活用して粘り強く指導する 3 各自の持ち味を生かした指導を行い、小さな成功体験場면을繰り返し与える 4 定期考査等で Listening Test を実施し、概要を聞き取る力の定着を図る 5 英語会話は T. T. で暗唱・会話・創作・発表形式を段階的に活用し指導する 6 ALT から学ぶ機会を有効活用する 7 補習、講習、添削を必要に応じて行う
家庭	・ 全章にわたって一人ひとりが新しい生活を創る主体者となるための力を養う ・ 家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる	1 基礎学力を活用し、生活事象を総合的・多面的にとらえる学習内容を考える 2 実習、視聴覚教材を取り入れて、家庭科に興味を持たせる

	研究		
	教科部会等の研究テーマ	研究授業	
		実施	指導者
国語	1 新しい科目の指導計画及び指導方法の研究 2 評価についての研究 3 ICT 機器の効果的活用方法の研究 4 作文指導の具体的指導方法の研究	通年	国語科全員
公民 地歴	1 わかる授業をめざして、生徒が積極的に参加できる授業内容の工夫 2 地図、グラフなど資料の読解について 3 ICT 機器・視聴覚教材・情報機器の活用について 4 年間指導計画・シラバスについて	通年	地歴公民科全員
数学	1 観点別評価について 2 低学力生徒の指導について 3 進学指導について 4 ICT 機器の活用方法について	随時	数学科全員
理科	1 実験内容の補充・改訂 2 危険薬品の管理と実験の際の危険防止対策 3 ICT 教材の活用方法	通年	理科全員
保健体育	1 観点別評価について 2 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を持つ生徒の育成方法の工夫について	通年	保健体育科全員
芸術 (美術)	1 効果的教材と指導法、評価の工夫 2 美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美しさなどを味わう鑑賞能力を育てる指導法について 3 思考力、判断力、表現力を高めるための授業改善	通年	北島 真吾
外国語 (英語)	1 English Communication II の連携指導と評価について 2 論理・表現 I の指導計画・効果的指導方法について	随時	英語科全員
家庭	1 観点別評価について 2 視聴覚教材・ICT 機器の活用について	通年	家庭科全員

	教科指導上の課題	解決への具体策
土木	・学習意欲を高めるための指導方法について ・実習、課題研究の効果的な授業展開の研究 ・ICT 機器を活用した授業展開について	1 わかる授業展開の工夫 2 提出物の徹底指導を通した学習の習慣化 3 教材・教具の工夫と活用 4 ICT 機器の積極的活用
建築	・自ら学習に臨むための指導方法について ・ICT 機器を活用した効果的な授業展開の研究 ・地域や関係機関と連携した教育活動の実践	1 提出物等の指導による意識の向上 2 効果的な学習指導方法の実践 3 様々な活動をととした課題解決能力の育成
電子機械	・学習意欲を高めるための指導方法について ・メカトロニクス技術教育の効果的指導について	1 課題及び提出物の指導 2 資格取得に関する啓発及び受験指導の推進 3 情報機器等の効果的な活用の推進 4 学習内容を精査し、体系的な指導方法の確立を図る
電気	・学習意欲を向上させるための指導について ・分かる授業の方策について ・情報技術教育の積極的な導入について	1 学習の習慣化を図る 2 身近な目標(資格取得など)をもたせる 3 教育指導内容を精選する 4 教育用機器を活用する 5 工業情報数理と他科目の関連を図る
環境化学	・個々の能力を生かし、自ら学ぶ能力を高める指導方法の研究 ・資格取得について、指導内容の精選と指導方法の研究 ・地域とのつながりを重視した教育内容の実践 ・ものづくりにおける環境教育の研究	1 問題を持ち自ら解決する方法を学ぶ 2 レポート等の提出により学習の習慣化を図る 3 新しい教材を有効に活用し興味、関心、意欲の向上を図る 4 資格取得を勧め、進路意識を高める
情報技術	・個々の能力を生かし、学習意欲を高める指導方法の研究 ・最新の情報通信システムについて、指導内容の構造化と精選 ・コンピュータを活用した最新の制御技術への対応 ・資格取得について、指導内容の精選と指導方法の研究	1 実習と座学の有機的関連を図り、実習内容を最新技術に対応させる 2 効果的な教材を開発し、学習意欲を高める 3 学習段階に応じた課題を与え、自ら学ぶ態度を身に付けさせる 4 資格取得を勧め、進路意識を高める

教科部会等の研究テーマ		研究授業	
		実施	指導者
土木	1 専門科目における内容の精選と授業展開の工夫 2 工業技術基礎・実習の授業内容の見直し 3 課題研究の評価と指導方法の改善 4 学習の基盤としての言語活動についての研究及び実践 5 ICT 機器を活用した学習活動の研究	通年	土木科全員
建築	1 建築技術教育及び資格指導の充実と内容の精選について 2 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業展開について 3 ICT 機器の効果的な活用と授業展開の工夫について 4 工業技術基礎や実習及び製図における学習評価の充実について	通年	建築科全員
電子機械	1 効果的な設備の使用に関する研修及び実施 2 電子機械に関する教科指導内容の研修及び実習テーマと指導書の検討 3 実習及び課題研究の観点別評価の工夫・改善と指導方法の改善 4 アクティブラーニングを活用した実習及び課題研究の研究及び実践	通年	電子機械科全員
電気	1 工業新科目の指導内容の効果的な研究 2 情報技術教育の積極的推進 3 資格取得のための方策 4 ICT を活用した学習活動の研究	通年	電気科全員
環境化学	1 工業技術基礎、実習の体系化 2 各種資格取得の精選と対策 3 課題研究の内容を発展させる方策 4 環境・エネルギー教育に関する内容の導入	通年	環境化学科全員
情報技術	1 科目の指導内容の整理と、効果的な指導方法の研究 2 情報通信ネットワークの運用に関する研修 3 電子・制御技術教育に関する教材開発 4 資格取得に関する指導方法の検討	通年	情報技術科全員

12 教職員構成一覧

○は、部長、科長、主任

職名	氏名	教科	校務分掌・担任	着年月日
校長	小 山 彰 博			R 6 . 4
教頭	長 田 淳			R 6 . 4
主幹教諭	黒 木 允 晴	電子機械		H31. 4
教諭(再任用)	山 本 一 幸	○ 国語	教務	R 4 . 4
〃	澤 田 卓 也	〃	生徒指導 ○ 1年主任	R 2 . 4
教諭	中 島 太 郎	〃	○ 教育相談	H29. 4
〃	宮 下 賢	〃	総務	R 2 . 4
教諭(再任用)	山 本 興 哉	地歴公民	生徒指導	H 5 . 4
教諭	田 村 聖 人	〃	生徒指導	R 7 . 4
〃	田 中 航 也	○ 〃	教務 機 2 担任	R 5 . 4
教諭(再任用)	鈴 木 貴 博	数学	総務	R 3 . 4
〃	小 川 薫	〃	教務	R 7 . 4
教諭	熊 谷 光 洋	○ 〃	生徒会指導 電 2 担任	R 5 . 4
〃	佐 藤 宏 行	〃	進路指導	H22. 4
教諭(再任用)	高 橋 哲 也	理科	教務	R 6 . 4
教諭	板 谷 奈 美	○ 〃	教務 機 1 担任	R 6 . 4
指導実習助手	白 岩 愛	〃	教務	R 3 . 4
教諭(再任用)	成 田 浩	体育	総務	H29. 4
教諭	小野崎 優	○ 〃	総務	H31. 4
〃	佐 藤 友 貴	〃	生徒指導 土 1 担任	R 7 . 4
〃	山 田 裕 美	〃	生徒会指導	R 6 . 4
〃	武 田 侑 也	〃	教務 機 3 担任	R 4 . 4
〃	北 島 真 吾	○ 美術	生徒指導 建 2 担任	H31. 4
〃	及 川 一 茂	外国語	生徒指導 情 3 担任・3年主任	R 4 . 4
〃	安 楽 賢 二	〃	教務	R 7 . 4
〃	高 橋 哲 史	○ 〃	総務 情 1 担任	R 6 . 4
〃	佐々木 恵 美	〃	○ 教務	R 2 . 4
〃	米 川 美 雪	○ 家庭	○ 生徒会指導	H29. 4
実習助手	工 藤 みさき	〃	総務	R 7 . 4
教諭	友 成 克 宏	土木	総務 土 2 担任	R 5 . 4
〃	井 上 聖 一	〃	総務 土 3 担任	R 3 . 4
〃	坂 野 弘 幸	○ 〃	進路指導	H26. 4
〃	藤 田 寛 人	〃	総務 ○ 2年主任	H22. 4
〃	中 島 健 太	〃	生徒指導	R 5 . 4
実習担任教諭	中 辻 雅 博	〃	教務	R 2 . 4
実習助手	中 山 滉 貴	〃	生徒会指導	H31. 4
教諭	佐 伯 健 一	建築	進路指導	R 7 . 4
〃	伊 藤 孝 浩	〃	生徒会指導	R 6 . 4
〃	太 田 里 枝	〃	生徒会指導 建 1 担任	H30. 4
〃	斉 藤 圭 祐	○ 〃	教務	R 5 . 4
〃	森 河 旦 陽	〃	教育相談 建 3 担任	R 4 . 4
実習担任教諭	後 藤 義 広	〃	教務	H28. 4
〃	小 川 真 輝	〃	生徒指導	H30. 4

職名	氏名	教科	校務分掌・担任	着年月日
教諭	石 橋 真 治	電子機械	教育相談	H29. 4
〃	三 澤 正 徳	○ 〃	教務	H31. 4
〃	土 橋 拓 真	〃	○ 総務	R 4. 4
〃	寺 谷 淳 希	〃	総務	R 7. 4
指導実習助手	原 田 芳 典	〃	進路指導	H28. 4
実習担任教諭	前 田 幸 宏	〃	生徒指導	R 6. 4
〃	菊 地 聖	〃	総務	H29. 4
教諭	岡 田 範 之	電気	生徒会指導 電 3 担任	R 4. 4
〃	伊 藤 浩 治	○ 〃	進路指導	H31. 4
〃	遠 藤 航 介	〃	進路指導 電 1 担任	R 6. 4
〃	北 村 繁 典	〃	○ 進路指導	H30. 4
〃	佛 具 和 哉	〃	生徒指導	R 7. 4
指導実習助手	坂 本 肇	〃	生徒会指導	R 5. 4
実習助手	水 谷 克 彦	〃	教務	H31. 4
教諭	和 泉 彰 洋	環境化学	進路指導 環 3 担任	H28. 4
〃	阿 部 寛 和	〃	生徒会指導	R 5. 4
〃	北 川 工	○ 〃	生徒指導	R 2. 4
〃	加 藤 隆 英	〃	教育相談 環 2 担任	H25. 4
〃	畠 山 いずみ	〃	教育相談	R 6. 4
実習担任教諭	佐 藤 章太郎	〃	進路指導	R 5. 4
実習助手	伊 藤 央 訓	〃	総務	R 6. 11
教諭(再任用)	北 川 圭 介	情報技術	教務	R 7. 4
教諭	坂 口 学 治	〃	進路指導 情 2 担任	R 5. 4
〃	齋 藤 浩太郎	〃	進路指導	R 7. 4
〃	松 本 諒	○ 〃	生徒指導	R 6. 4
〃	田 中 俊 正	〃	○ 生徒指導	R 2. 4
実習担任教諭	矢 倉 賢 二	〃	生徒会指導	H28. 4
実習助手	渡 口 聖 斗	〃	教務	R 4. 4
養護教諭	仲 島 佳菜子		総務	R 2. 4
事務長	市 川 聡			R 7. 4
事務主任	浦 新 絵利子			R 6. 4
専門主任主事	竹 中 悠 介			R 6. 4
主任主事	木 村 優 太			R 7. 4
事務職員	曾 我 明日香			R 7. 4
〃 (定時制)	林 かりか			R 7. 4
学校医	岩 井 和 浩			H25. 4
歯科医	関 俊 也			R 2. 4
薬剤師	菅 原 淳			R 6. 4

13 自主防衛組織

本部	消防隊長 小 山 彰 博 副隊長 長 田・黒 木・市 川・土 橋			
本部付	校長・教頭・事務長・総務部・事務室 職員を中心として、本部を設置する		鈴 木・宮 下・藤 田・寺 谷	
通報連絡班	班長	浦 新	通報係 連絡係	木 村・竹 中・蘇 我
初期消火班	班長	米 川	消火係・破壊係	阿 部・伊藤孝・山 田・矢 倉・ 坂 本・中 山
避難誘導班	班長	田中俊	誘導係	山本興・田 村・澤 田・北川工・ 松 本・中島健・佛 具・前 田・ 小川真・中島太・石 橋
搬出班	班長	佐々木	搬出係	山本一・高橋也・小川薫・北川圭・ 安 楽・三 澤・斉藤圭・白 岩・ 後 藤・中 辻・水 谷・渡 口
救護班	班長	仲 島	人命救助係 救護係	成 田・小野崎・菊 地・工 藤・ 伊藤央
警戒班	班長	北 村	飛火警戒係	佐藤宏・伊藤浩・佐 伯・齋藤浩・ 坂 野・原 田・佐藤章

自衛消防組織

(1) 自衛消防組織表

自衛消防隊長：校長

副隊長：教頭・主幹教諭・事務長・総務部長

本部	隊長、副隊長、総務部、事務室職員を中心として構成する	
連絡通報班	(班長) 事務主任	(係) 事務室職員
初期消火班	(班長) 生徒会指導部長	(係) 生徒会指導部
避難誘導班	(班長) 生徒指導部長	(係) 生徒指導部・教育相談部
搬 出 班	(班長) 教務部長	(係) 教務部
救 護 班	(班長) 養護教諭	(係) 総務部
警 戒 班	(班長) 進路指導部長	(係) 進路指導部

(2) 業務内容

	火災発生時の任務
本部	・ 指揮命令及び連絡に便利な場所に本部を設置する ・ 出火状況を把握し、自衛消防活動の指揮統制を行う ・ その他必要な業務にあたる
通報連絡班	・ 119番に通報する ・ 全校に、出火場所、避難方法、避難場所を放送する ・ 規定の非常サイレンを断続して何回も鳴らす ・ 到着した消防隊への情報提供
初期消火班	・ 消火器・屋内消火栓等を使用して初期消火を行う ・ 天井に燃え移ったら初期消火は中止して避難する
避難誘導班	・ 非常口を開放し避難誘導にあたる ・ 避難誘導は、大声で簡潔に行い、パニック防止に全力をあげる ・ 逃げ遅れがないか確認した後、防火戸を閉める
搬出班	・ 非常時持出品の搬出
救護班	・ 本部内に救護場所を設置する ・ 負傷者の応急処置を行う ・ 救急隊と連携を密にして、負傷者を速やかに運ぶことができるようにする
警戒班	・ 搬出品の水損、盗難、延焼を防止する

(3) 自衛消防活動の行動基準（授業中の場合）

ア 火災発見者

- (ア) 直ちに大声で「火事だ」と連呼し、出火場所・状況を事務室へ伝達する。
- (イ) 初期消火作業を開始する。なお、状況に応じて直ちに避難する。

イ 本部

- (ア) 本部を構成する人員により、指揮命令及び連絡に便利な場所に本部を設置し、その所在場所を明確にする。
- (イ) 出火状況を把握し、自衛消防活動の指揮統制を行う。
- (ウ) 避難状況を把握し、必要に応じて二次誘導等の指示をする。
- (エ) その他、必要な事項の業務にあたる。

ウ 通報連絡班

- (ア) 火災発見者からの連絡を受け、事務職員（通報連絡班）は、119番通報をする。
- (イ) 全校に出火場所、避難方法、避難場所を放送する。電源切断のときは手分けして口頭（ハンドマイク等）で行う。次いで規定の非常サイレンを断続して何回も鳴らす。
- (ウ) 消防車到着時には、人命救助の要・不要及び消火栓、出火場所等を知らせ案内する。

エ 初期消火班

- (ア) 日頃から消火栓や消火器の設置場所を熟知しておく。
- (イ) 状況に応じて出火場所に急行し、近くにある消火器、屋内消火栓設備を用いて初期消火活動を行う。なお、天井に燃え移ったら初期消火は中止して避難する。

オ 避難誘導班

- (ア) 授業者は次の処置をして生徒を誘導する。

- a 放送等をよく聞くこと。
- b ガス器具の元栓を閉める。
- c 電気器具の電源を切る。
- d 窓を閉めさせる。
- e 避難通路及び避難場所を指示する。

(イ) 避難要領と事後の処置

- a 非常口を開放し避難誘導にあたる。避難誘導は大声で簡潔に行い、パニック防止に全力をあげる。
- b 避難は避難命令後とし、校舎内は押し合わず速歩で、校舎外は走って避難場所に移動する。
- c 生徒は学習用具を持たずに、上靴のまま避難する。
- d 授業者は必ず出席簿を持って避難する。
- e ハンカチを口にあて、煙に出会ったときは背を低くし、煙を避けて避難する。
- f 逃げ遅れがないか確認をした後、防火戸を閉める。
- g 避難場所に整列し、人員を確認して本部に連絡する。生徒は次の指示があるまで、勝手に位置をはなれない。

(ウ) 避難誘導班は、風向き・火勢等を判断して避難場所を決定し、標旗・標灯等で場所を示す。

(エ) 行事等における避難要領及び処置は、オの(ア)、(イ)、(ウ)に準ずる。

カ 救護班

(ア) 救護場所を本部内に設置する。

(イ) 負傷者の応急手当を行い、救急隊と連絡を密にして、負傷者を速やかに運ぶことができるようにする。

(ウ) 負傷者の氏名、負傷程度等、必要事項を記録する。

(エ) 必要に応じて人命救助の手助けをする。

キ 警戒班

(ア) 飛び火の警戒にあたる。

(イ) 搬出品の水損、盗難、延焼を防止する。

(ウ) 避難人員の整理にあたる。

(4) 自衛消防活動の行動基準（放課後及び休業日の場合の火災発見・通報連絡等）

ア 生徒・職員在校中の時は、別表2の3を準用する。

イ 夜間及び休業日等で生徒・職員不在の時は、在校職員は次の処置を行う。

(ア) 119番へ通報し、火勢及び周囲の状況を連絡する。

(イ) 校内非常サイレンを鳴らす。

(ウ) 直ちに大声で「火事だ」と連呼する（ハンドマイク等）

(エ) 状況に応じて初期消火をし、防火戸を閉める。

(オ) 校長に連絡する。

ウ 教頭は緊急連絡網により全職員に連絡する。

エ 本校の近隣に火災が発生した場合は、校長に連絡する。

14 室別管理者一覧

階	室名	管理者		階	室名	管理者	
		全日制	定時制			全日制	定時制
管理棟（事務関係）				1 1	格技場職員室 トイレ・シャワー室	井 上 武 田	
1 1							

階	室名	管理者		階	室名	管理者	
		全日制	定時制			全日制	定時制
家庭科棟				電子機械科（実習C棟）			
1	調理教室	米 川	川 口	1	機械加工実習室	菊 地	田 中
1	〃 準備室	〃	〃	1	〃 準備室	原 田	〃
2	被服教室	〃	〃	1	〃 第1工具室	〃	〃
2	〃 準備室	〃	〃	1	〃 第2工具室	一	田 中
土木科（実習A棟）				1	F Aシステム実習室	原 田	〃
				1	〃 物品庫	〃	〃
2	製図実習室	中山滉		1	原動機実習室	前 田	清 水
2	〃 準備室	〃		1	〃 第1準備室	〃	〃
土木科（実習B棟）				1	〃 第2準備室	一	〃
				1	〃 油庫	一	〃
1	土木測量実習室	中山滉		1	材料試験実習室	土 橋	清 水
1	〃 準備室	〃		1	制御実習室	原 田	白 坂
1	土質試験室	中島健		1	〃 N C旋盤室	〃	〃
1	〃 計量室	〃		1	〃 暗室	〃	〃
1	土木施工実習室	中 辻		1	〃 準備室	〃	〃
1	〃 資材庫	〃		1	MC実習室	菊 地	白 坂
1	〃 格納庫	〃		1	〃 工具室	〃	〃
1	〃 器具室	〃		1	溶接実習室	三 澤	〃
1	設計実習室	井 上		1	〃 石炭庫	〃	〃
1	水理実習室	〃		1	鑄造実習室	前 田	〃
2	職員室	坂 野		1	〃 準備室	〃	〃
2	応用力学実習室	友 成		1	〃 試験室	〃	〃
2	設計実習室	〃		1	〃 材料庫	〃	〃
2	土木計画実習室	坂 野		2	C A Mシステム実習室	石 橋	清 水
2	土木材料加工実習室	〃		2	〃 準備	〃	〃
2	土木第2製図室	藤 田		2	試験計測実習室	黒木	〃
2	〃 準備室	〃		2	〃 準備室	〃	〃
建築科（実習A棟）				2	〃 恒温室	〃	〃
				2	製図室	菊 地	田 中
2	造形実習室	佐 伯	臼 井	2	職員室	三 澤	〃
2	〃 準備室	〃	〃	電気科（実習B棟）			
2	〃 教具室	〃	〃				
3	第1製図室	加 藤	田 中	1	電気工作工事实習室	坂 元	
3	第2製図室	斉藤圭		1	〃 準備室	〃	
3	〃 準備室	〃		1	電気施工実習室	〃	
3	〃 教具室	〃		2	職員室	伊藤浩	
建築科（実習B棟）				2	電気機器実習室	〃	
				2	〃 準備室	〃	
1	計画設備実習室	森 河		2	電気自動制御実習室	北 村	
1	〃 準備室	〃		2	電気応用実習室	〃	
1	施工実習室	小川真	臼 井	2	〃 準備室	〃	
1	第1資材庫	〃		2	電気磁気実習室	佛 具	
1	第2資材庫	一	臼 井	2	〃 第1準備室	〃	
1	測量器具庫	小川真		2	〃 第2準備室	〃	
1	作品保管庫	一	臼 井	2	電子機器実習室	岡 田	
1	木造実習室	後 藤	〃	2	〃 暗室	〃	
1	〃 準備室	〃	〃	2	計測実習室	遠 藤	
1	木工実習場	〃	〃	2	〃 準備室	〃	
1	構造実験実習室	伊藤孝	〃	3	電気製図実習室 〃 準備室	水 谷 〃	
1	〃 準備室	〃	〃				
1	材料試験実習室	森 河	〃				
1	〃 準備室	〃	〃				
1	空気調和実習室	太 田					
1	〃 器具庫	〃					
1	建築加工実習室	斉藤圭					
2	職員室	〃					
3	音響実習室	〃					

階	室名	管理者		階	室名	管理者	
		全日制	定時制			全日制	定時制
環境化学科（実習B棟）				その他			
1	材料化学実習室	加 藤		実習A棟			
3	試験計測実習室	畠 山		1	多目的ホール	土 橋	
3	〃 器具室	〃		1	教材室	〃	
3	試験計測準備室	北川工		1	生徒便所	浦 新	
環境化学科（実習C棟）				実習B棟			
2	製図室	加 藤		1	電気サブステーション	浦 新	
2	工業計測実習室	〃		1	空調機械室	〃	
2	単位操作実習室	阿 部		1	生徒便所	〃	
2	〃 準備室	〃		2	職員・生徒便所	〃	
2	化学工業管理実習室	北川工		3	生徒便所	〃	
3	化学反応実習室	〃		実習C棟			
3	〃 準備室	〃		1	暖房サブステーション	浦 新	
3	物理計測実習室	畠 山		実習A・B・C棟			
3	〃 準備室	〃			屋上	浦 新	
3	薬品器材室(薬品庫)	北川工		屋外施設			
3	薬品器材室(器具庫)	〃			苦工記念館	市 川	
3	天秤実習室	〃			プロパン庫	浦 新	
3	化学計測実習室	和 泉			受水槽	〃	
3	〃 準備室	〃			物置A	〃	
3	プラント実習室	佐藤章			〃 B	小 川	
3	〃 準備室	〃			屋外便所	成 田	
3	職員室	北川工			自転車置場	青 木	
情報技術科（実習B棟）					駐車場	浦 新	
3	プログラミング実習室	渡 口			部室 体育	成 田	
3	情報通信・制御実習室	齋藤浩			〃 硬式野球部Ⅰ	小 川	
3	〃 準備	〃			〃 硬式野球部Ⅱ	〃	
3	コンピュータ実習室	田中俊			〃 陸上部	中島健	
3	空調機械室	〃			〃 硬式テニス	佐藤章	
3	データ処理実習室	〃			〃 ソフトテニス部	和 泉	
3	ソフトウェア実習室	渡 口			〃 アイスホッケー部Ⅰ	小野崎	
3	職員室	松 本			〃 アイスホッケー部Ⅱ	〃	
3	ハードウェア実習室	〃			多目的練習	小 川	
3	情報技術応用実習室	坂 口					
3	電子応用実習室	北川圭					
3	情報技術工作実習室	矢 倉					
3	〃 準備室	〃					
3	〃 暗室	〃					
3	オンライン実習室	坂 口					
3	計測制御実習室	田中俊					
3	電子回路実習室	齋藤浩					
3	〃 準備室	〃					
3	〃 暗室	及 川					

定 時 制 課 程

1 スクール・ミッション（目指す学校像）

- ・豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人・職業人となる生徒の育成
- ・ものづくりの意義を理解し、工業技術者としての倫理観をもつことができる生徒の育成
- ・テクノロジーで未来を創る人づくり

2 スクール・ポリシー（教育活動の実施・改善の方針）

(1) アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

次のいずれかに該当する生徒

- ・本校志望の目的が明確であり、意欲的に勉学に励むことができる生徒
- ・ものづくりに興味・関心を持ち、意欲的に学校生活を送ることができる生徒

(2) カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・ものづくりを重視し、設計・加工するための技術・技能を身につけ、つくることの楽しさを実感するための学習活動を実施する。
- ・基礎・基本を重視したわかることのよこびと基礎学力の定着を図るための学習活動を実施する。
- ・働きながら学ぶ生徒の実態に即した、効果的な学習活動を実施する。

(3) グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- ・コミュニケーション能力を高め、自他を尊重する力を育成する。
- ・主体性を持って思考する力を培い、臨機応変に対応する力を育成する。
- ・知識や技能を習得させるとともに、継続的に物事にあたる力を育成する。

3 学校教育目標（目指す生徒像）

創造性豊かな工業人をめざし

豊かな心と健康な体を育成する

自ら学ぶ力と公正な判断力を育成する

働く意欲と旺盛な責任感を育成する

4 令和7年度学校経営方針

- (1) 学校で行うこと全てが本校の教育活動です。教職員の生徒への関わり方も生徒の豊かな人間性や社会性を培うことに繋がっています。このことを意識した教育活動を推進しましょう。
- (2) 多くの生徒たちを職業人として社会へ送り出します。生徒たちが進路先で恥ずかしくない知識や技術・技能はもちろんのこと、立ち居振る舞いを身に付けさせましょう。
- (3) 高校での学びをとおして、どの様に社会へ貢献していくのかを考えさせましょう。

5 重点目標

- (1) 学習環境の整備と毎日の学習を習慣化しよう
- (2) お互いの人格の尊重と健全な生活習慣を身に付けよう
- (3) 自己理解の深化と適切な進路を実現する力を身に付けよう
- (4) 部活動や仕事を通して心身を鍛え、礼儀や忍耐力を身に付けよう

6 指導上の重点事項

学習指導	1 学習目標の具体化により、予習・復習など学習習慣の定着化を図る。 2 個々の到達目標を明確にさせ、自ら学ぶ態度や学習の仕方を修得させるとともに、思考力・判断力・表現力などの育成を図る。 3 教科の特性や内容に応じた指導方法を創意工夫し、課題などの解決に応用できる実践的な知識・技術の定着を図る。 4 教科・科目の目標に即した観点別学習状況を行い、学習意欲の喚起と学習を継続する態度を育成する。
生徒指導	1 お互いの人格を尊重する態度と思いやりの心を育て、集団生活を営むためのルールや個々の役割を自覚させる。 2 あらゆる教育活動の場を活用した継続的な指導の工夫と実践により、基本的な生活習慣や社会性を体得させる。 3 生徒会活動や部活動などの特別活動への積極的な参加を奨励し、心身ともに健康で調和のとれた人間形成を目指す。 4 家庭及び地域社会との連携を密にし、社会の規則や交通マナーなどのルールを遵守する態度を育成する。
進路指導	1 生徒の自己理解の深化や自己実現を促すため、各学年に応じた進路指導の充実と実践に努める。 2 進路に関する資料や情報を整備し、生徒の多様な進路希望に適切に対応するとともにその効果的な活用方法の工夫に努める。 3 進路相談や意識調査などをもとに一人ひとりの情報を収集整理し、個々の生徒の希望や能力・適性に対応できる個別指導を充実させる。 4 進路意識に具体性や現実性を与える啓発的な体験を通し、望ましい勤労観や職業観の育成とともに、希望する進路に進むために必要な能力や社会生活に必要な態度の育成に努める。
健康・安全指導	1 体育的行事や部活動などへの積極的な参加を促し、体力の増進とともに、健康で快適な生活を送るために必要な態度を育成する。 2 健康や安全に関する行事等を通し、自他の生命を尊重する心と、自ら健康な生活を送る態度を育成する。 3 あらゆる教育活動の場を通し、生涯にわたり健康で安全な生活を送るために必要な基礎的な資質の向上に努める。 4 生徒の参加する体験的な活動を工夫し、安全意識の高揚と疾病を予防し自らの健康を保持増進する習慣を育成する。

北海道苫小牧工業高等学校 定時制課程 グランドデザイン

スクール・ミッション(本校の役割)

- ・豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人・職業人となる生徒の育成
- ・ものづくりの意義を理解し、工業技術者としての倫理観をもつことができる生徒の育成
- ・テクノロジーで未来を創る人づくり

学 校 教 育 目 標

- 創造性豊かな工業人をめざし
- 豊かな心と健康な身体を育成する
- 自ら学ぶ力と公正な判断力を育成する
- 働く意欲と旺盛な責任感を育成する

校 訓

質 実 剛 健

グラデュエーション・ポリシー 育成を目指す資質・能力に関する方針

- ・コミュニケーション能力を高め、自他を尊重する力を育成する。
- ・主体性を持って思考する力を培い、臨機応変に対応する力を育成する。
- ・知識や技能を習得させるとともに、継続的に物事にあたる力を育成する。

身に付けるべき9つの資質・能力

学びに向かう力・人間性

主 体 性

- ・さまざまな物事に興味・関心を持つことができる。
- ・自ら考え行動することができる。

継 続 力

- ・与えられたことを全うすることができる。
- ・あきらめずに取り組む姿勢を持つことができる。

自他尊重力

- ・自分を肯定し物事をプラス思考で考えることができる。
- ・相手を尊重し、思いやりの姿勢を持つことができる。

コミュニケーション能力

- ・相手の気持ちや立場を考えて行動することができる。
- ・仲間と助け合い良好な関係を築くことができる。

知識・技能

基礎的な知識・技能

- ・基礎的・基本的な学力や技術を身に付けている。
- ・社会生活を送る上で必要な常識を身に付けている。

専門的な知識・技能

- ・工業技術の基礎・基本を理解することができる。
- ・ものづくりの意義を理解し、工業技術者としての倫理観を持つことができる。

思考力・判断力・表現力等

思 考 力

- ・理性的・論理的に物事を考えて行動することができる。
- ・現状を適切に判断し、広い視野を持つことができる。

判 断 力

- ・物事を正しく判断することができる。
- ・将来の進路に向けた意思決定ができる。

対 応 力

- ・状況に応じて冷静に対応することができる。
- ・自身の能力を社会において適切に発揮することができる。

カリキュラム・ポリシー 教育課程の編成及び実施に関する方針

- ・ものづくりを重視し、設計・加工するための技術・技能を身に付け、つくることの楽しさを実感するための学習活動を実施する。
- ・基礎・基本を重視したわかることによるこびと基礎学力の定着を図るための学習活動を実施する。
- ・働きながら学ぶ生徒の実態に即した、効果的な学習活動を実施する。

アドミッション・ポリシー 入学者受入れに関する方針

- 次のいずれかに該当する生徒
- ・本校志望の目的が明確であり、意欲的に励むことができる生徒
 - ・ものづくりに興味・関心を持ち、意欲的に学校生活を送ることができる生徒

本校の教育活動

学習活動

- ・学科(工業技術科)、教科(国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、外国語、家庭、芸術)における学習活動

特別活動等

- ・HR活動
- ・進路指導(進路講話等)
- ・生徒会活動(学校祭、体育祭等)
- ・学校行事(入学式、見学旅行等)
- ・部活動

保護者・地域連携

- ・保護者説明会
- ・キャリア教育(企業説明会や就職促進会への参加、進路相談員の活用)
- ・生徒就業先、就職先との連携

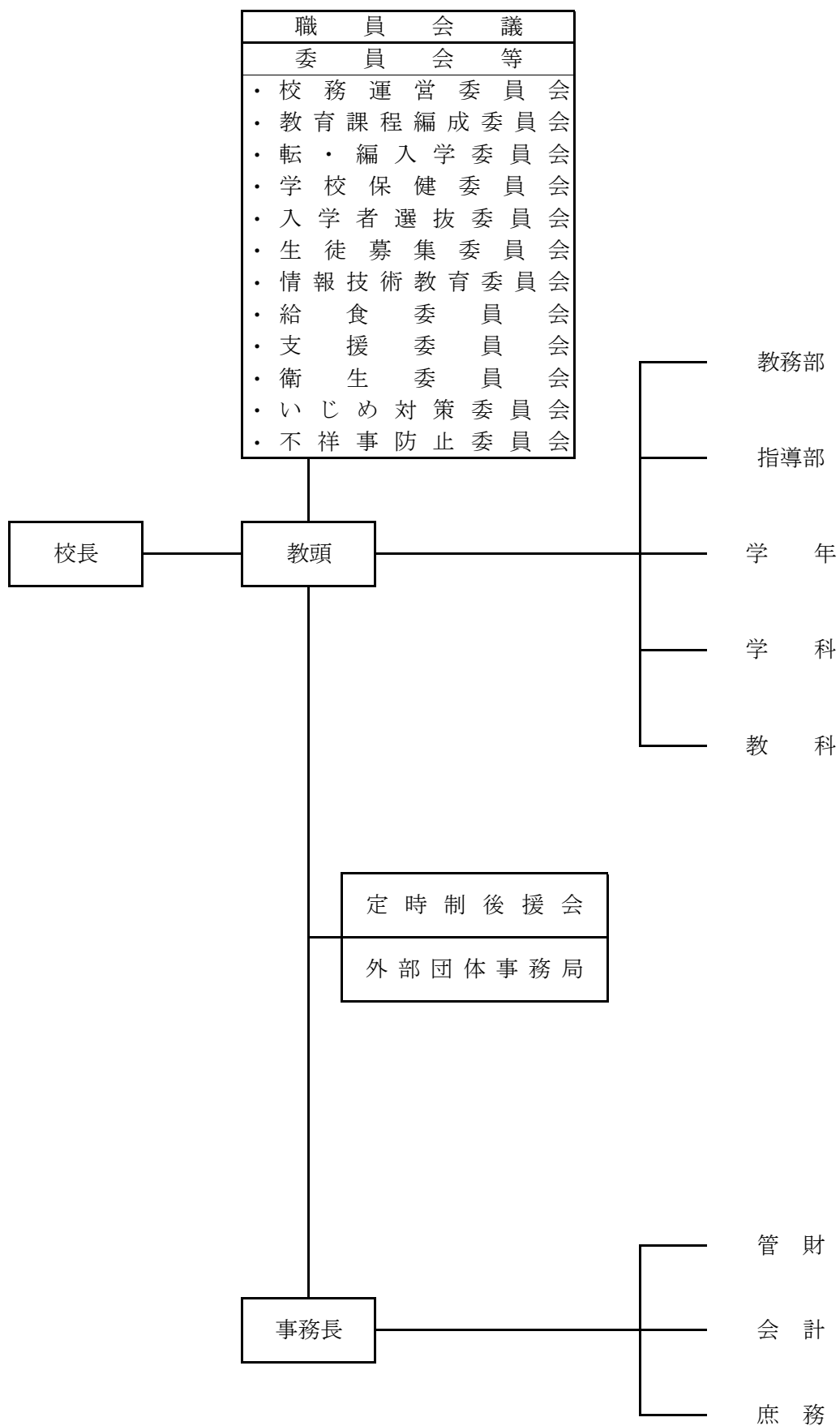
評 価

- ・学校の教育活動における評価アンケート
- ・9つの資質・能力に関する評価
- ・学校評価アンケート
- ・公開授業アンケート

改 善

- ・学校の教育活動の見直し(授業改善等)
- ・教育課程の見直し
- ・各分掌の取組体制の見直し

8 校務分掌
(1) 学校運営組織



(2)校務分掌一覧

部 組 織

部（部員数）	部 長	部 員
教 務 部 （ 7 ）	藤 原	清 水、田 中、遠 田、吉 田、白 坂、白 井
指 導 部 （ 4 ）	横 山	佐 藤、川 口、石 山

担 任

		担 任	副担任
1 学年	工業技術	藤 原	遠 田
2 学年	工業技術	田 中	石 山
3 学年	工業技術	清 水	吉 田
4 学年	工業技術	川 口	佐 藤

科 長

工業技術科	清 水
-------	-----

事 務 局

後 援 会	藤原、清水
-------	-------

各種委員会

委 員 会		委 員
校 務 運 営 委 員 会	教 頭	藤 原、佐 藤、横 山、石 山、川 口、清 水
教育課程編成委員会 （教科書選定委員会）	藤 原 （教 頭）	清 水、吉 田、川 口、横 山、遠 田
転・編入学委員会	藤 原	佐 藤、川 口、清 水、当該ホームルーム担任
学 校 保 健 委 員 会	教 頭	石 山、佐 藤、藤 原、吉 田 学校医、学校歯科医、学校薬剤師、後援会長
入 学 者 選 抜 委 員 会	藤 原	佐 藤、川 口、清 水、遠 田
生 徒 募 集 委 員 会	藤 原	佐 藤、川 口、清 水、遠 田
情 報 技 術 教 育 委 員 会	田 中	遠 田
給 食 委 員 会	教 頭	石 山、横 山、事務長、 林 、委託業者
支 援 委 員 会	教 頭 （校 長）	清 水、藤 原、佐 藤、横 山、石 山 当該ホームルーム担任及び副担任
衛 生 委 員 会	全日制教頭	定時制教頭、石 山
い じ め 対 策 委 員 会	教 頭	藤 原、佐 藤、横 山、石 山、田 中、清 水 川 口
不 祥 事 防 止 委 員 会	教 頭	藤 原、佐 藤、横 山、石 山、川 口、清 水

部活動顧問

卓 球	横 山、吉 田、石 山
バドミントン	佐 藤、遠 田、白 坂
スポーツ同好会	藤 原、川 口
工 業 研 究	清 水、田 中、白 井

その他

苦工定時制職員交通安全会	石 山、白 坂
特別支援コーディネーター	清 水
道 徳 教 育 推 進 教 師	藤 原

(3) 分掌業務実践計画

〈教務部〉

ア 重点目標

- (ア) 生徒一人一人を生かした教育活動ができるよう教育環境の整備に努める。
- (イ) 教職員の連携を密にして、生徒の学習意欲を高める指導方法を工夫する。
- (ウ) 各分掌及び関係諸団体との連携を密にし、校務の円滑化を図る。
- (エ) 生徒会活動の充実に努める。
- (オ) 図書・視聴覚教育の充実に図り、豊かな人間性の育成に努める。
- (カ) 諸規程の検討と改善に努める。

イ 具体的な目標

- (ア) 学習習慣の確立と意欲的な学習態度の育成に努める。
- (イ) 適切で効果的な学習指導と学習評価の研究に努める。
- (ウ) 教育相談体制を確立し、いじめ等の早期発見に努める。
- (エ) 教務規程及び教育課程の研究に努める。
- (オ) 生徒会行事や部活動及び同好会活動を通じて、生徒の就学意欲の向上を図る。
- (カ) 図書室の整理及び利用啓発に努める。
- (キ) 各教科・学科・学年及び関係機関との連携を密にする。

ウ 実施計画

月	実施項目
4	年度始業務、重点目標・年間計画・業務分担の作成 始業式・入学式・オリエンテーション・新入生物品販売の計画、対面式・部紹介、生徒会委員会 部集会、前期ホームルーム役員選出、生徒会予算・決算、学校要覧・教育計画の編集、 基本時間割作成、在籍生徒数の確認、生徒氏名票の作成、 出席簿・学級日誌の作成、教務関連諸表簿の準備、教科書の手配、 教育課程実施状況報告の作成、個人写真の撮影計画、シラバスの作成 図書・視聴覚の利用マニュアル等作成、教務支援システムの設定
5	避難訓練、授業参観、後援会総会、定通体連地区大会壮行会、定通体連地区大会
6	教育課程編成委員会の運営、定通体連全道大会壮行会、定通体連全道大会
7	教科書採択、夏季休業前全校集会、学校祭準備、学校祭
8	中学校訪問
9	校内生活体験発表大会、生活体験発表胆振地区大会、生徒会委員会 生徒会役員選挙、後期ホームルーム役員選出、1学期終業式
10	成績会議、中間反省会議、学校説明会
11	避難訓練、1日防災学校、研究授業、公開授業週間
12	体育大会、冬季休業前全校集会
1	冬季休業後全校集会、生徒会委員会
2	年度末反省会議、卒業認定会議、学年末表彰準備、追認会議、卒業式予行 卒業記念品贈呈式
3	生徒会誌「でんとう」発行、入学者選抜、卒業証書授与式、2学期終業式 進級認定会議、指導要録提出、年度末各報告業務、追認会議、諸表簿類整理保管 次年度の準備、シラバスの作成

エ 業務分担

係名	業 務 内 容	担 当
学習指導	・教育課程編成等に関する事 ・教科書に関する事 ・時間割に関する事 ・成績処理に関する事 ・年間授業計画に関する事 ・B Y O Dに関する事 ・教科担任会議に関する事 ・シラバスに関する事 ・S S Tに関する事 ・L H R計画に関する事 ・成績に関わる会議に関する事	藤原 臼井 清水 遠田 藤原 遠田 藤原 藤原 清水 藤原 臼井 藤原 藤原 清水
学籍関係	・生徒異動に関する事 ・生徒指導要録に関する事 ・転入、編入に関する事	藤原 臼井 藤原
学校行事	・学校説明会に関する事 ・全校集会に関する事 ・入学式及び入学者に関する事 ・新入生物品販売に関する事 ・始業式、着任式に関する事 ・終業式、離任式に関する事 ・見学旅行及び修学指導事業に関する事 ・生活体験発表大会に関する事 ・生徒の表彰に関する事 ・卒業式に関する事 ・年間行事計画に関する事	清水 白坂 清水 清水 白坂 白坂 藤原 清水 臼井 清水 藤原
生徒会	・生徒会の年間活動計画に関する事 ・生徒会役員、役員選挙に関する事 ・代議員会に関する事 ・各種委員会に関する事 ・生徒会会計に関する事 ・生徒会の諸集会・行事の企画・記録に関する事 ・生徒会関係の文書、活動記録に関する事 ・L H Rの年間指導計画及び実践記録に関する事 ・部活動の年間活動計画に関する事 ・部の新設、廃部等に関する事 ・定通体連等の大会参加及び遠征に関する事 ・部室及び施設、諸帳簿、備品管理に関する事 ・生徒会誌・新聞局に関する事	田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田 田中 吉田
研修	・公開授業及び研究授業に関する事 ・校内研修会に関する事	臼井 臼井
広報	・学校だよりに関する事 ・生徒募集に関する事 ・ホームページに関する事 ・新聞記事等の保管に関する事 ・その他広報に関する事	白坂 藤原 田中 遠田 白坂 藤原
視聴覚	・校内放送に関する事 ・I C T機器に関する事 ・ネットパトロールに関する事	白坂 吉田 田中 遠田 田中 遠田

係名	業 務 内 容	担 当
庶務	・写真撮影に関すること ・定例職員会議に関すること ・中間及び年度末反省会議に関すること ・各種調査に関すること ・各種届出用紙に関すること ・学校沿革史に関すること ・学事報告に関すること ・学校日誌に関すること ・学校要覧、教育計画に関すること ・後援会総会、授業参観に関すること ・事務との連絡調整に関すること ・諸規程集の更新に関すること ・職員室座席表に関すること ・チャイムに関すること ・年間活動計画に関すること ・教務支援システムに関すること ・苫小牧市定通教育振興会に関すること ・着任者への対応に関すること ・身分証明書に関すること ・学資金に関すること ・物品購入に関すること ・教頭不在時の対応に関すること ・全員で行う業務に関すること ・その他、連絡調整及び分掌に属さない業務に関すること	臼井 白坂 白坂 清水 臼井 白坂 白坂 清水 田中 藤原 清水 藤原 白坂 白坂 臼井 藤原 遠田 臼井 藤原 清水 藤原 白坂 遠田 藤原 藤原 白坂 藤原 藤原 藤原
図書	・図書の整理、点検、閲覧、貸出、購入、会計に関すること	白坂 臼井
入学者 選抜	・入学者選抜に関すること ・入学のしおりに関すること	清水 臼井
報告	・各種報告に関すること	臼井
防災	・防災訓練に関すること ・防災組織の決定及び運用に関すること	白坂 清水

〈指導部〉

ア 重点目標

- (ア) 生徒が「自ら考え、行動できる社会人」として自立できるように援助する。
- (イ) 日常から被害事故と問題行動の防止に向けて個々を尊重する生徒指導に努める。
- (ロ) 生徒理解の深化を図り、より効果的な特別指導に努める。
- (ハ) 交通安全意識の向上と事故防止に努める。
- (ニ) 心身ともに健康的な学校生活を送ることができるよう環境の整備に努める。
- (ホ) 心身のトラブルに際し、個々の生徒に寄り添い対応する体制を整える。
- (ヘ) 自己理解と勤労の意義の理解に基づく職業観の育成を促進し生徒の進路選択を支援する。
- (ヘ) 保護者や雇用主・外部機関との連携を密にし、多面的な進路指導体制の構築に努める。
- (コ) 進路全般に関する情報の収集と、情報の提供及びその効果的な活用に努める。

イ 具体的な目標

- (ア) 登下校時の挨拶奨励や日常の声かけなどを通し生徒との信頼関係を構築し、本校生徒であることの意識やマナーの涵養をはかるとともに被害事故と問題行動の防止に努める。
- (イ) 学年やホームルーム担任との連携を密にし、生徒の現状の把握に努める。外部機関からの情報やその他啓発資料等を「指導部だより」などを通しての提供に努める。
- (ロ) 問題行動発生時には懲罰主義に陥ることなく、担任（家庭）との連携を密にし、問題行動の背景の認識を共有し、生徒のより良い将来像を模索する機会となるよう努める。
- (ハ) 定期的な車両通学指導と外部機関と連携した講話などで交通安全啓発活動の充実を図る。
- (ニ) 健康診断・各種検査などを通じて、自らの健康について考えさせる機会を設ける。
- (ホ) 学習・生活環境の点検整備を行うと共に、疾病の予防、災害防止に努める。
- (ヘ) 給食を通じ、食生活の向上や食事のマナーなどについて考える機会を設ける。
- (ヘ) 各教科・学年及び関係機関（ハローワーク、教育局等）・企業との連携を密にする。
- (コ) 進路相談の充実や進路指導の改善に努め、入学から卒業まで体系的な進路指導を行う。
- (コ) 企業訪問などを実施し、進路先の開拓とよりの確な情報収集に努める。
- (シ) 指導部だより、進路のしおり、進路ファイル等を活用し効果的に進路情報の提供を行う。
- (シ) 各教科の協力を得ながら、就職・進学試験対策を行う。

ウ 実施計画

月	実 施 項 目
4	登下校指導①、車種別交通安全指導、給食指導（第1学年）、健康相談（第1学年）、定期健康診断、給食国庫補助の申請、進路希望調査（全学年）
5	車両点検、巡回指導①、定期健康診断事後指導、進路個人面談（4学年）
6	交通安全校講話、いじめアンケート①、環境衛生検査、生徒保健情報共有、（6月～9月）、進路集会（4学年）、業務連絡会議（ハローワーク）、企業別ガイダンス（全学年）
7	夏季休業中の生活・保健指導、求人票公開
8	登下校指導②、進路相談員による模擬面接（4学年）
9	就職出願書類発送開始、模擬面接・受験指導（4学年随時）、就職選考開始
10	車両点検、巡回指導②、環境衛生検査、保健講話
11	防犯講話、いじめアンケート②
12	冬季休業中の保健指導、就職未内定者の指導（4学年・ハローワークへ）、就職ガイダンス（3学年）
1	感冒罹患状況の把握・指導、進路マナー講座（3学年）、就職未内定者の指導（4学年・ハローワークへ）
2	環境衛生検査就、職未内定者の指導（4学年・ハローワークへ）
3	就職未内定者の指導（4学年・ハローワークへ）、就職ガイダンス（3学年）、企業別ガイダンス（全学年）、進路相談員による進路講話（3学年）、職業レディネステスト（2学年）
備考	指導部だより発行、保健だより発行、生徒指導連絡協議会、給食指導、企業訪問・企業見学、教育局・ハローワークなどへの月例報告

エ 業務分担

係名	業 務 内 容	担 当
庶務	・年間活動計画に関すること ・校外指導機関との連携に関すること ・ハローワーク・企業などとの渉外連絡に関すること ・教育局・ハローワーク等の調査・報告に関すること ・企業訪問に関すること ・生徒心得等の諸規程に関すること ・生徒手帳に関すること ・紛失物、拾得物に関すること ・指導部だより・保健だよりの作成 ・いじめ調査に関すること ・防犯教室 ・進路指導計画等に関すること ・LHR資料作成に関すること ・各種調査・統計・適性検査等に関すること ・進路ファイルに関すること ・進路のしおりに関すること ・在学中の求職相談、就労斡旋に関すること ・校務支援システムの取扱いに関すること ・地元企業（中小企業家同好会）に関すること ・校内研修会に関すること	横山・佐藤・川口・石山 佐藤・石山 横山・川口 横山・川口 横山・川口 佐藤・横山・石山 佐藤・川口 佐藤・川口 横山・佐藤・石山 横山・石山・川口 佐藤・横山 横山・川口 横山・川口 横山・川口 川口・石山 横山・川口 横山・川口 横山・佐藤・川口・石山 横山・川口 横山・佐藤・川口・石山
生徒指導	・校内外の生活指導全般と、特別指導に関すること ・下足ロッカーに関すること ・登下校指導、巡回指導などに関すること ・少年補導センター指導員との連携に関すること ・車両通学全般に関すること ・車種別交通安全指導に関すること ・車両点検・免許取得・自動車通学に関すること ・交通安全講話・宣言	横山・佐藤 石山・佐藤 佐藤・横山・川口 佐藤・横山 佐藤・川口 佐藤・横山 佐藤・川口 佐藤・石山
進路指導	・就職相談、推薦等に関すること ・応募書類及び関係文書などの発送に関すること ・求人票、関係文書の受付や保管等に関すること ・企業情報の整理等に関すること ・進学相談、推薦等に関すること ・応募書類及び関係文書などの発送に関すること ・奨学金の相談、手続き等に関すること ・学校情報、オープンキャンパス等に関すること	横山・川口 川口・横山 横山・佐藤 横山・川口 横山・川口 川口・横山 横山・川口 横山・川口
保健	・学校保健委員会 ・衛生委員会 ・保健日誌及び学校保健の記録 ・学校保健の調査、統計、研究 ・健康管理、健康相談及び保健指導 ・生徒健康診断 ・応急処置 ・学校医、保健所等の関係機関との連携 ・日本スポーツ振興センター申請 ・保健講話 ・環境衛生及び検査 ・感染症関連	石山・佐藤 石山 石山・横山 石山・横山 石山・横山 石山・横山・佐藤 石山・横山 石山・横山 石山・佐藤 佐藤・石山・横山 石山・佐藤 石山・佐藤
給食	・給食委員会 ・学校給食の計画運営、給食指導 ・給食国庫補助に関すること	石山・横山 石山・横山 石山・横山

(4) 学年業務実践計画

<第1学年>

ア 重点目標

- (ア) 自ら学び考え行動することができるよう育成する。
- (イ) 自己有用感を高め、何事にも積極的に取り組むことができるよう育成する。
- (ウ) 他者を尊重し、お互いが高め合えるような人間関係を構築する力を育成する。
- (エ)

イ 実践事項・留意点

(ア) 学習指導

- a 授業に取り組む意欲を高める指導に努める。
- b 生徒及び教科担任と協力し、学びやすい環境づくりに努める。
- c 授業の目標を明確にし、理解が深まるような指導に努める。

(イ) 生徒指導

- a 規範意識を高め、問題行動の未然防止に努める。
- b 個別面談をとおして、教師と生徒の相互理解を深める。
- c 保護者との連携を深め、生徒の状況を踏まえた指導ができるよう努める。

(ウ) 進路指導

- a LHR等を活用して自己と社会への理解が深まるよう指導する。
- b 就労やボランティア等による社会参加を通じて協調性や共感力を育成する。
- c 各種情報提供により、進路意識を高める。

(エ) 特別活動

- a 学校生活充実のため、学校行事等への積極的な参加や協力を促す。
- b 特別活動を通して、他者への思いやりや助け合う気持ちの育成に努める。

ウ 年間計画

学期	月	事 項
1 学 期	4	入学式、オリエンテーション、全員面談、対面式・部紹介、定期健康診断 交通安全集会
	5	定通体連地区大会、避難訓練
	6	定通体連全道大会
	7	学校祭、夏季休業中の心得指導、交通安全講話
	8	
	9	校内生活体験発表大会、生活体験発表大会地区大会、生徒会役員選挙
2 学 期	10	成績に関わる指導、保健講話
	11	避難訓練、防犯教室
	12	体育大会、冬季休業中の心得指導
	1	課題研究発表会
	2	卒業記念贈呈式、年度末反省
	3	成績に関わる指導

<第2学年>

ア 重点目標

- (ア) 学校の活動全般について積極的に参加する態度を育成する。
- (イ) 進路目標を持ち、その実現のため規律のある生活ができるよう指導する。
- (ウ) 互いに思いやり、尊重し合うことのできる心の発育を促す。
- (エ) 豊かで協調性のある人間性と社会性を持てる生徒を育成する。

イ 実践計画

(ア) 学習指導

- a 主体的に授業に取り組ませることで、基礎的学力の向上を目指す。
- b 教科担任との連携により、個々の能力・適性にあった指導に努める。
- c 資格取得や検定試験を通し、工業高校生としての意識を持つ。

(イ) 生活指導

- a 時間や期限を守ることの重要性を理解し、遵守できるよう指導に努める。
- b 与えられた役割に責任を持ち、誠実に実行できる態度を育てる。
- c 教室内外の美化、身の回りの整理整頓を行うよう指導に努める。
- d 規範意識の向上を図り、交通事故や非行事故の防止に努める。

(ウ) 進路指導

- a 自己理解を深め、進路を考える指導に努める。
- b 就労を通して、自己の適性を考えられるよう働きかける。

(エ) 特別活動

- a 学校での活動に関心を持たせ、積極的に取り組む指導に努める。
- b 学校行事を通して、クラスの一員である自覚と仲間意識を育てる。

ウ 年間計画

学期	月	事 項
1 学 期	4	始業式、対面式・部紹介、ホームルーム役員選出、交通安全指導、定期健康診断
	5	教育相談週間、避難訓練、定通体連地区大会、SST
	6	定通体連全道大会、交通安全講話、修学指導事業
	7	学校祭、夏季休業中の心得指導、夏季休業前全校集会
	8	夏季休業後全校集会、SST
	9	成績指導、生活体験発表大会、生徒会役員選挙、終業式
2 学 期	10	中間反省、保健講話、SST
	11	避難訓練
	12	体育大会、冬季休業中の心得指導、冬季休業前全校集会、SST
	1	冬季休業後全校集会
	2	卒業記念品贈呈式、年度末反省、SST
	3	卒業証書授与式、終業式、成績指導

<第3学年>

ア 重点目標

- (ア) 学校の活動全般について積極的に参加する態度を育成する。
- (イ) 進路目標を持ち、その実現のため規律のある生活ができるよう指導する。
- (ウ) 互いに思いやり、尊重し合うことのできる心の発育を促す。
- (エ) 豊かで協調性のある人間性と社会性を持てる生徒を育成する。

イ 実践計画

(ア) 学習指導

- a 主体的に授業に取り組ませることで、基礎的学力の向上を目指す。
- b 教科担任との連携により、個々の能力・適性にあった指導に努める。

(イ) 生活指導

- a 時間や期限を守ることの重要性を理解し、遵守できるよう指導に努める。
- b 与えられた役割に責任を持ち、確実に実行できる態度を育てる。
- c 教室内外の美化、身の回りの整理整頓を自ら行うよう指導に努める。

(ウ) 進路指導

- a 自己理解を深め、進路を考える指導に努める。
- b 就労経験を促し、自己の適性を考えられるよう働きかける。

(エ) 特別活動

- a 学校活動に積極的に取り組む指導に努める。
- b 学校行事を通して、クラスの一員である自覚と仲間意識を育てる。

ウ 年間計画

学期	月	事 項
1 学期	4	始業式、対面式・部紹介、ホームルーム役員選出、交通安全指導、定期健康診断
	5	教育相談週間、避難訓練、定通体連地区大会
	6	定通体連全道大会、交通安全講話
	7	学校祭、夏季休業中の心得指導、夏季休業前全校集会
	8	夏季休業後全校集会
	9	成績指導、生活体験発表大会、生徒会役員選挙、 終業式
2 学期	10	中間反省、保健講話、見学旅行
	11	避難訓練
	12	体育大会、冬季休業中の心得指導、冬季休業前全校集会
	1	冬季休業後全校集会
	2	卒業記念品贈呈式、年度末反省
	3	卒号証書授与式、終業式、成績指導

<第4学年>

ア 重点目標

- (ア) 最上級生としての自覚をもち、秩序ある生活習慣の定着をはかる。
- (イ) 学校での活動全般に関して積極的に参加する態度の育成をはかる。
- (ウ) 進路に関する目標を明確にし、その実現のために努力する態度の育成をはかる。
- (エ) 相手を尊重し、礼儀を重んじる生徒の育成をはかる。

イ 実践計画

(ア) 学習指導

- a 学力向上及び自発的な学習習慣の確立を促す。
- b 教科担任と連携し、生徒個々の能力・適性に合わせた指導に努める。
- c 進路に向けた資格取得や検定試験への意欲向上に努める。

(イ) 生徒指導

- a 挨拶・礼儀を大切にする態度を育成する。
- b 自ら責任を持って役割を果たし、誠実に実行できるよう指導に努める。
- c 社会規範に対する意識向上を図り、法令違反や交通事故の防止に努める。

(ウ) 進路指導

- a LHR等を活用して自己理解を深め、分掌と連携し進路意識を育成する。
- b 各分掌、家庭との連携を密にし、適切な進路選択・進路決定を目指す。
- c 資格取得などを通して、進路実現に向けたキャリアプランの設計を促す。

(エ) 特別活動

- a 最上級生としての役割を理解し、積極的・自主的に取り組む態度を育成する。
- b 学校行事を通じて他人を思いやり、助け合い、認め合う心の育成に努める。
- c ホームルーム活動において、生徒の自主・自発的な行動を促す。

ウ 年間計画

学期	月	事 項
1 学期	4	始業式、対面式、進路希望調査、定期健康診断、生徒会委員会、車種別交通安全指導
	5	面談週間、避難訓練、進路個人面談、企業訪問、企業別ガイダンス、定通体連地区大会
	6	進路集会、進路保護者面談、企業説明会、履歴書指導（随時）、交通安全講話、定通体連全道大会、
	7	面談週間、求人票公開、学校祭、夏季休業前全校集会、就職対策学習
	8	就職対策学習、夏季休業後全校集会、進路集会、模擬面接指導（随時）
	9	面談週間、就職試験開始、生活体験発表大会、生徒会役員選挙、中間反省保健講話、終業式
2 学期	10	成績指導、車輛点検、模擬面接、進学者受験指導、薬物乱用防止教室
	11	面談週間、防犯講話、1日防災学校、
	12	体育大会、冬季休業前全校集会
	1	面談週間、冬季休業後全校集会、生徒会委員会、課題研究発表会、（就職未内定者指導）
	2	年度末反省、卒業式予行同窓会入会式
	3	卒業証書授与式

9 学科・教科のねらいと具体策

項目 教科	教科指導上のねらい	解決への具体策
工業技術	- 金属加工と木材加工の基礎・基本の習得に努め、さらに専門的な知識や技術・技能の習得に広げられるよう意識する。 - 経験したことを次に生かすことができるよう、指導や支援に努める。 - 望ましいコミュニケーションが身につくよう指導する。	- 生徒の理解が深まり、興味関心や探求する心が育成できる授業づくりを意識する。 - 生徒の実態や状況に応じて実習内容を柔軟に精選する。 - 成功経験を積み重ねられるようていねいな指導を意識する。 - 望ましい授業態度が育成できる授業づくりを意識する。
国語	国語を適切に使用する能力を育成する。	- 能動的な発言を促す。 - 教科書精読を通じた読解力の育成。 - くり返し学習による常用漢字の定着。
数学	- 数学に関する基礎的、基本的な内容の理解を深め、基礎学力の充実を図る。 - 数学的活動を通して、思考力や表現力を養う。	- できる、わかるとすることができる授業を実施する。 - 課題等を利用して繰り返し学習することで内容の定着を図る。 - 授業内での言語活動の充実を図る。
理科	- 基本的な自然観・科学観をしっかりと身につけさせる。 - 観察・実験を伴った学習を通して科学的な考え方を学ばせる。	- 自然現象と利用法の関連を意識した授業展開。 - 観察・実験の創意工夫。 - 視聴覚機器の活用。
地歴	世界と日本の地理及び歴史についての基本事項を学び、今を知り、将来を考える力を養う。	- 教材の精選と視聴覚教材の有効活用により、基本的事項の深化をはかる。 - 生徒の実態や進路に即した学習内容とする。
公民	現代社会の特質や政治経済の基礎基本事項を、日常生活の変化を通して学び、将来の自己実現を考える力を養う。	教材の精選と視聴覚教材の有効活用により、基本的事項の深化をはかる。
保健体育	〈保健〉 健康について理解を深め、自ら考え実践できるよう指導する。	- わかりやすい授業の研究。 - 興味をひく資料や話題の提供。 - 授業参加態度の育成。
	〈体育〉 - 生徒の実態に即した指導方法と教材の導入により運動・スポーツに親しむ態度と体力を育成する。 - 男女共習の実施により、協力・協調及び積極的な参加意識を育成する。	- 実施可能な教材の研究。 - 男女の特性を活かし、男女混合可能な特別ルールの研究。 - 体を動かすことの楽しさを体験させる。
外国語	- アルファベットから始まる基礎基本の習得。 - 英語で積極的にコミュニケーションをとろうとする態度の育成	- 学習内容の精選・基礎基本を繰り返すわかりやすい授業。 - 言語活動を通して「できる」を増やす工夫。
家庭	- 家庭生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を取得させる。 - 家庭生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	- 学習内容・教材の精選。 - 実習・実験の工夫。 - 視聴覚教材の活用。
芸術	美術の幅広い創作活動を通して美術文化と関わる資質・能力を育成する。	- 学習内容・教材の精選 - 視聴覚教材の活用

10 学年別教育課程

			令和 7 年度学年別				
学年			1 年	2 年	3 年	4 年	計
教科	科目	標準単位	R 0 7	R 0 6	R 0 5	R 0 4	
国語	現代の国語	2		3			10
	言語文化	2	3				
	国語表現	4			2	2	
地理歴史	地理総合	2		2			9
	歴史総合	2			3		
公民	公共	2	2				
	政治・経済	2				2	
数学	数学Ⅰ	3	2	1			10
	数学Ⅱ	4			3	2	
	数学A	2				2	
理科	科学と人間生活	2	2				4
	物理基礎	2			2		
保体	体育	7～8	2	2	1	2	9
	保健	2	1	1			
芸術	美術Ⅰ	2			2		2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	1			3
家庭	家庭基礎	2		2			2
普通教科・科目合計			14	12	13	10	49
工業技術	工業技術基礎	2～4	3				3
	課題研究	2～4				3	3
	実習	6～12		3	3	3	9
	製図	2～8		2	2	2	6
	工業情報数理	2～4	2	2			4
工業科目合計			5	7	5	8	25
教科・科目合計			19	19	18	18	74
特別活動	L H R		1	1	1	1	4
合計			20	20	19	19	78

11 学校行事年間計画

	4	5	6	7	8	9
1	火 年度始休業（～4/7） 【定時退勤日】	木 尿検査② 【定時退勤日】	日	火 職員会議資料不切 【定時退勤日】	金 【定時退勤日】	月 【定時退勤日】
2	水 校務運営委員会	金	月 校務運営委員会 【定時退勤日】	水	土	火 就職出願書類発送開始
3	木 新入生物品販売 年度始職員会議	土 憲法記念日	火	木 面談週間（～7/9）	日	水
4	金	日 みどりの日	水	金 職員会議	月	木 校内生活体験発表大会
5	土	月 こどもの日	木 職員会議資料不切	土	火	金
6	日	火 振替休日	金	日	水	土
7	月	水 前期個人面接（4学年～5/9）・前期面接（1～5/9） 校務運営委員会	土	月	木	日
8	火 入学式 着任式・1学期始業式	木 車両点検	日	火	金	月
9	水 前期希望者（5/9）・前期面接（5～6/11） 対面式 写真撮影	金	月	水	土	火
10	木	土	火 職員会議	木 学校祭準備スタート集会 学校祭準備①	日	水
11	金 定期健康診断・内科検診 顧問会議 給食委員会	日	水 修学指導事業結団式	金 学校祭準備②	月 山の日	木 生徒会役員選挙
12	土	月 職員会議資料不切	木 修学指導事業①	土	火	金 校務運営委員会
13	日	火 企業訪問（～8月末）	金 修学指導事業②	日	水 【学校閉庁日】	土
14	月	水	土 定通体連全道大会 卓球大会当番校	月 振替休日（学校祭） 【樽前山神社祭典】	木 【学校閉庁日】	日
15	火	木 避難訓練①	日 定通体連全道大会 卓球大会当番校	火 学校祭準備③ 【樽前山神社祭典】	金 【学校閉庁日】	月 敬老の日
16	水 部集会 尿検査① 校務運営委員会	金 職員会議	月	水 学校祭準備④ 【樽前山神社祭典】	土	火 就職選考開始
17	木 生徒会委員会	土	火	木 学校祭準備⑤	日	水
18	金	日	水	金 学校祭前日祭 【定時退勤日】	月	木 生徒会委員会
19	土	月	木	土 学校祭	火	金 職員会議資料不切 【定時退勤日】
20	日	火 尿検査③	金 【定時退勤日】	日	水 夏季休業前全校集会・夏季校務（～5/22） 中学校訪問（～9月上旬）	土
21	月 職員会議資料不切 【定時退勤日】	水 【定時退勤日】	土	月 海の日	木 校務運営委員会 【定時退勤日】	日
22	火 歯科検診	木	日	火 夏季休業前全校集会 【防災点検】	金	月 面談週間（～9/29）
23	水 X線・心電図検査	金	月	水 夏季休業（～8/19）	土	火 秋分の日
24	木 開校記念日	土	火	木 職員健康診断	日	水
25	金 車種別交通安全指導 職員会議	日	水	金	月 職員会議資料不切	木
26	土	月 面談週間（～5/30）	木	土	火	金 職員会議 【防災点検】
27	日	火	金 校務運営委員会	日	水	土
28	月	水	土	月	木 生徒会役員選挙告示	日
29	火 昭和の日	木 いじめアンケート①	日	火 工業教育研究集会①	金 職員会議 【防災点検】	月 1学期終業式 生徒会認証式 成績入力不切
30	水 【防災点検】	金 【防災点検】	月 【防災点検】	水 工業教育研究集会②	土	火 学期間休業
31	土	日	月	木	金	土
備考	新入生オリエンテーション（4/9～4/10） 給食委員会	定通体連地区壮行会・地区大会 企業別ガイダンス（全学年） 後援会総会・授業参観 給食委員会	交通安全講話 進路保護者面談（4年） 給食委員会	給食委員会	模擬面接（4年） 給食委員会	地区生活体験発表大会 給食委員会

10		11		12		1		2		3		
水	【定時退勤日】	土		月	【定時退勤日】	木	元日 【学校閉庁日】	日		日	卒業証書授与式 【定時退勤日】	1
木	車両点検 一覧表完成	日		火		金	【学校閉庁日】	月	【定時退勤日】	月	振替休日（卒業式）	2
金	校務運営委員会	月	文化の日	水		土	【学校閉庁日】	火		火	入学者選抜会場設営 成績入力≠切	3
土		火	【定時退勤日】	木		日		水	校務運営委員会	水	入学者選抜（面接）	4
日		水	校務運営委員会	金		月	【定時退勤日】	木		木	校務運営委員会 一覧表完成	5
月	生徒会委員会 職員会議資料≠切	木		土		火		金		金		6
火	巡回指導②（～10/9）	金		日		水		土		土		7
水		土		月		木		日		日		8
木	職員会議 中間反省会議 成績会議	日		火		金		月	職員会議資料≠切	月	職員会議資料≠切	9
金	見学旅行結団式	月		水	校務運営委員会	土		火		火		10
土		火	職員会議資料≠切	木		日		水	建国記念の日	水	入学者選抜追検査	11
日		水		金		月	成人の日	木		木	進級認定会議 職員会議	12
月	スポーツの日	木		土		火		金	職員会議 年度末反省会議 卒業認定会議	金		13
火	見学旅行①	金		日		水		土		土		14
水	見学旅行②	土		月	職員会議資料≠切	木		日		日		15
木	見学旅行③	日		火		金		月		月		16
金	見学旅行④	月	職員会議	水		土		火		火	入学者選抜合格発表	17
土		火		木		日		水		水		18
日		水		金	職員会議 【定時退勤日】	月		木		木	追認会議① 【定時退勤日】	19
月		木		土		火	冬季休業後全校集会	金	追認会議①（4年） 【定時退勤日】	金	春分の日	20
火	【定時退勤日】	金	【定時退勤日】	日		水	校務運営委員会 【定時退勤日】	土		土		21
水		土		月	体育大会①	木	生徒会委員会	日		日		22
木	いじめアンケート②	日	勤労感謝の日	火	体育大会② 冬季休業前全校集会 【防災点検】	金		月	天皇誕生日	月		23
金		月	振替休日	水	冬季休業（～1/19）	土		火		火	2学期終業式・離任式 【防災点検】	24
土		火	面談週間（～11/28）	木		日		水		水	年度末休業（～3/31） 追認会議②	25
日		水		金		月	職員会議資料≠切 面談週間（～1/30）	木	追認会議②（4年） 【防災点検】	木		26
月		木		土		火		金	卒業式予行 同窓会入会式 卒業記念品贈呈式	金		27
火		金	【防災点検】	日		水		土		土		28
水		土		月	【学校閉庁日】	木				日		29
木		日		火	【学校閉庁日】	金	職員会議 【防災点検】			月		30
金	【防災点検】			水	【学校閉庁日】	土				火		31
薬物乱用防止教室 学校説明会 保健講話 給食委員会		防犯講話 1日防災学校 給食委員会		給食委員会		課題研究発表会 進路マナー講座（3年） 給食委員会		就職ガイダンス（3年） 給食委員会		レディネステスト（2年） 企業別ガイダンス（3年） 進路講話（3年） 給食委員会		備考

12 L H R実施年間計画

月	日	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	担当分掌
4	8	学級開き	学級開き	学級開き	学級開き	
	9	写真撮影 学級役員選出（1 学期） 進路希望調査①	写真撮影 学級役員選出（1 学期） 進路希望調査①	写真撮影 学級役員選出（1 学期） 進路希望調査①	写真撮影 学級役員選出（1 学期） 進路希望調査①	教務部 指導部 指導部
	17	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	
	25	車種別交通安全指導	車種別交通安全指導	車種別交通安全指導	車種別交通安全指導	指導部
5	8	S S T①	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（1 年）
	15	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	教務部
	22	企業別ガイダンス①	企業別ガイダンス①	企業別ガイダンス①	企業別ガイダンス①	指導部
	29	いじめアンケート①	いじめアンケート①	いじめアンケート①	いじめアンケート①	指導部
6	5	S S T②	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（1 年）
	11		修学指導事業結団式			
	12	【担任裁量】		【担任裁量】	【担任裁量】	
	19	【担任裁量】	S S T①	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（2 年）
	26	学校祭について	学校祭について	学校祭について	学校祭について	教務部
7	3	S S T③	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（1 年）
	21	学級役員選出	学級役員選出	学級役員選出	学級役員選出	教務部
	28	S S T④	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（1 年）
9	18	【担任裁量】	S S T②	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（2 年）
	25	S S T⑤	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（1 年）
10	2	【担任裁量】	S S T③	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（2 年）
	9	交通安全講話	交通安全講話	交通安全講話	交通安全講話	指導部
	10			見学旅行結団式		
	16	いじめアンケート②	【担任裁量】		【担任裁量】	指導部（1 年）
	23	保健講話	保健講話	保健講話	保健講話	指導部
	30	S S T⑥	いじめアンケート②	いじめアンケート②	いじめアンケート②	教務部（1 年） 指導部（2 ～ 4 年） 教務部（2 年）
11	6	【担任裁量】	S S T④	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（1 年）
	13	S S T⑦	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（1 年）
	20	防犯・薬物乱用講話	防犯・薬物乱用講話	防犯・薬物乱用講話	防犯・薬物乱用講話	指導部
	27	【担任裁量】	体育大会練習	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（2 年）
12	4	体育大会練習	S S T⑤	【担任裁量】	【担任裁量】	教務部（1 ・ 2 年）
	11	S S T⑧	【担任裁量】	体育大会練習	【担任裁量】	教務部（1 ・ 3 年）
	18	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】	体育大会練習	教務部（4 年）
1	22	進路希望調査②	進路希望調査②	進路希望調査②	【担任裁量】	指導部（1 ～ 3 年）
	29	【担任裁量】	【担任裁量】	進路マナー講座	【担任裁量】	指導部（3 年）
2	5	S S T⑨	【担任裁量】	【担任裁量】		教務部（1 年）
	12	【担任裁量】	S S T⑥	【担任裁量】		教務部（2 年）
	19	S S T⑩	レディネステスト	【担任裁量】		教務部（1 年） 指導部（2 年）
	26	【担任裁量】	【担任裁量】	【担任裁量】		
3	5	企業別ガイダンス②	企業別ガイダンス②	企業別ガイダンス②		指導部

13 道徳教育の全体計画

関 連 法 規 等 ○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領		学 校 教 育 目 標 創造性豊かな工業人をめざし (1) 豊かな心と健康な身体を育成する。 (2) 自ら学ぶ力と公正な判断力を育成する。 (3) 働く意欲と旺盛な責任感を育成する。		北海道教育推進計画 「自立」と「共生」 ○実践的な力の育成 ○豊かな心と健やかな体を育む教育の充実 ○人権教育・男女平等教育の充実
保 護 者 ・ 地 域 の 声 ○心身ともに健やかに育ち、変化の激しい時代にあっても、進路実現に向かって挑戦し、成長していくことができるよう、豊かな心と技術を育てほしい。 ○地域の産業発展に積極的に取り組む、地域に根ざした人材を育成してほしい。		重 点 目 標 (1) 健全な生活習慣を身につけ、自律ある行動ができる生徒を育成する。 (2) 理想の実現に取り組む生徒を育成する。 (3) いのち・人格を尊び、いじめをなくし、人のことを思いやることのできる生徒を育成する。 (4) 広い視野を持ち、社会に貢献できる生徒を育成する。		生 徒 の 実 態 ○勤労意欲を持って、学習との両立を計れる。 ○感情表現の起伏が大きく、コミュニケーションスキルが乏しい生徒が多い。 ○基本的な生活習慣が確立していない生徒が多い。 ○規範意識の育成が十分でない。
各 教 科		各 学 科		進 路 指 導
国語	国語を適切に理解する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばすことにより、豊かな人間性を培う。	工業技術科	・基礎的な学習や実習を通して、モラルや秩序の大切さ、工業技術の社会的意義を理解し、望ましい勤労観を養う。 ・実習等において、協力してものづくりを進め、自他の人格を尊重する心を育成する。	キャリア教育を中心として将来について考え、自己の進路実現に向けた具体的な取組を進める。このことにより、自己の在り方生き方を考えさせ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を育成する。
地歴・公民	文化や社会の歴史・構成を学ぶことを通じて、憲法を守り、自他を尊重する心を育成する。			総合的な探求の時間 各教科・科目及び特別活動で身に付けた知識や技能を関連付け、自己の在り方生き方を考えさせる。
数学	身近な事象を数学的に考察し、処理する論理的思考能力を育成することにより、自己のあり方を自ら追い求めてゆく姿勢を養う。			特 別 活 動 【HR活動】 ・集団の一員としての自覚を持たせ、仲間に対する優しさや思いやりを育成する。 【生徒会活動】 ・本校生徒であることに誇りを持ち、主体的に活動できる生徒会行事の運営に努める。 【学校行事】 ・学校行事を通して、集団への所属感や連帯感を高め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする態度を育成する。
理科	目的意識をもって主体的に対象に問いかける科学的方法を身につけ、それらを人間生活にも活用できる人道主義的態度を育成する。			
外国語	外国語学習を通して、自他を尊重し、積極的にコミュニケーションしようとする態度を養う。			
保健体育	健康・安全・運動についての理解と実践を通して、ルールやマナー、協調性など、集団活動に必要な心と態度を育てる。			
家庭	男女が家族や社会の中で平等な関係を築き、共に生きる社会の一員として役割と責任を果たすことができる生徒を育てる。			

14 学校保健計画

項 目			4	5	6	7	8	9
			健康状態の把握	健康診断の事後措置	虫歯の予防	夏の健康管理	ケガの予防	心の健康
学校保健関係行事			●保健調査 ●定期健康診断 (1)身体計測 (2)心電図検査 (3)胸部X線検査 (4)尿検査 (5)内科（運動器）検診 (6)歯科検診	●定期健康診断結果 (1)定期健康診断結果通知 (2)受診勧告		●苦工祭	●スクールカウンセラー	●スクールカウンセラー
保健管理	対人管理		●定期健康診断の計画と実施 ●健康調査 ●健康状態の把握 ●保健調査票整理 ●救急体制計画	●定期健康診断結果通知・受診勧告	●定期健康診断結果通知・受診勧告 ●定期健康診断の結果集約	●健康診断票整理 ●未治療者への指導	●治療状況調査 ●食生活の指導	●保健室利用状況の集約
	対物管理		●防災点検	●防災点検	●防災点検 ●環境衛生検査 (1)照度測定 (2)飲料水検査 (3)施設設備安全点検 ●学校給食設備等衛生管理検査	●防災点検	●防災点検	●防災点検
保健教育	保健学習	科目保健	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●生涯を通じる健康
	保健指導	HR活動	●新入生保健指導 ●定期健康診断事前指導 ●保健だより配布	●保健だより配布	●定期健康診断事後指導 ●歯の健康指導 ●保健だより配布	●食中毒の予防指導 ●夏季休業中の健康指導 ●保健だより配布	●保健だより配布	●保健だより配布
		生徒会	●生徒保健体育委員会 ●諸検査の補助	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会
組織活動			●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●保健だより作成

項 目			10	11	12	1	2	3
			目の健康	風邪・インフルエンザの予防	冬の健康管理	心の健康	規則正しい生活	健康生活の反省
学校保健関係行事			●保健講話（予定）		●見学旅行 ●体育大会			●大掃除
保健管理	対人管理		●健康相談	●感冒調査 ●健康相談	●感冒調査 ●未治療者への指導	●感冒調査 ●健康相談	●感冒調査 ●健康相談 ●1年間のまとめと反省	●健康相談 ●次年度の計画
	対物管理		●防災点検 ●環境衛生検査 (1)照度測定 (2)CO2濃度測定 (3)騒音測定 ●学校給食設備等衛生管理検査	●防災点検	●防災点検	●防災点検	●防災点検 ●環境衛生検査 (1)CO2濃度測定 (2)薬品点検 ●学校給食設備等衛生管理検査	●年度末大掃除 ●防災点検 ●教室の整備 ●清掃用具等の点検と整備
保健教育	保健学習	科目保健	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●社会生活と健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●社会生活と健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●社会生活と健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●社会生活と健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●社会生活と健康	(1年) ●現代社会と健康 (2年) ●社会生活と健康
	保健指導	HR活動	●保健だより作成	●感冒予防の指導 ●保健だより配布 ●教育ビデオ(薬物乱用) ●見学旅行事前健康指導	●冬季休業中の健康指導 ●保健だより配布	●保健だより配布	●規則正しい生活の指導 ●保健だより配布	●健康の自己評価 ●保健だより配布
		生徒会	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会	●生徒保健体育委員会
組織活動			●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●保健だより作成	●生徒指導部会 ●年度末反省・評価	●生徒指導部会 ●保健だより作成

15 学校安全計画

項 目			4	5	6	7	8	9
			安全意識の高揚	防災と安全	環境の美化と安全の点検	事故のない夏休み	登下校の安全と健康管理	交通道德の理解
安全 教育	安全指導	保健体育	安全についての指導	体育施設・用具の安全点検	(保)交通安全	(保)現代社会と健康	体育施設・用具の安全点検	(保)熱中症の予防
			体育施設・用具の安全点検	健康相談	(保)応急手当	(保)熱中症の予防	(保)熱中症の予防	(保)交通安全
			健康相談		体育施設・用具の安全点検	体育施設・用具の安全点検		体育施設・用具の安全点検
			既往症の把握					
	安全指導	1年 HR活動	高校に入学して	防災と安全(地震)	通学時の交通安全	夏休みの生活と安全	登下校の安全	通学時の交通安全
			通学時の交通安全	バス・電車乗車マナー	喫煙と健康	苦工祭の安全		学期間休業の生活と安全
			防災体制について	車種別乗車マナー				
		2年 HR活動	2年生になって	防災と安全(地震)	通学時の交通安全	夏休みの生活と安全	登下校の安全	通学時の交通安全
			通学時の交通安全	バス・電車乗車マナー	喫煙と健康	苦工祭の安全		学期間休業の生活と安全
			防災体制について	車種別乗車マナー				
		3年 HR活動	3年生になって	防災と安全(地震)	通学時の交通安全	夏休みの生活と安全	登下校の安全	通学時の交通安全
			通学時の交通安全	バス・電車乗車マナー	喫煙と健康	苦工祭の安全		学期間休業の生活と安全
			防災体制について	車種別乗車マナー				
		4年 HR活動	4年生になって	防災と安全(地震)	通学時の交通安全	夏休みの生活と安全	登下校の安全	通学時の交通安全
			通学時の交通安全	バス・電車乗車マナー	喫煙と健康	苦工祭の安全		学期間休業の生活と安全
			防災体制について	車種別乗車マナー				
		主な 学校行事	始業式	避難訓練	修学指導事業	学校祭準備スタート集会	進路集会	校内生活体験発表大会
			入学式	定通体連地区壮行会	定通体連全道壮行会	学校祭		生徒会役員選挙
			対面式	授業参観	交通安全講話	夏季休業前全校集会		地区生活体験発表大会
			部紹介		進路集会			1学期終業式
			部集会					
			歯科検診					
			定期健康診断					
		個別指導	玄関指導	車両点検		学校祭警備	登下校指導	
			登下校指導	巡回指導		夏季休業指導		
			女子生徒指導					
			駐輪場指導					
		部活動	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検
			用具の点検・整理	用具の点検・整理	用具の点検・整理	用具の点検・整理	用具の点検・整理	用具の点検・整理
		安全 管理	対人 管理	学校生活 の 安全管理	通学状況の指導	避難訓練の徹底		夏季休業中の交通安全指導
自転車通学指導						苦工祭の安全対策	熱中症安全対策	交通道德の理解
車種別通学指導						熱中症安全対策		熱中症安全対策
防災計画と組織編成								
授業時の安全確認								
対物 管理	学校環境 の 安全点検		防災点検	防災点検	防災点検	防災点検	防災点検	防災点検
			校内安全点検活動	校内安全点検活動	環境衛生検査	校内安全点検活動	校内安全点検活動	校内安全点検活動
			体育施設用具の安全点検	体育施設用具の安全点検	校内安全点検活動	体育施設用具の安全点検	体育施設用具の安全点検	体育施設用具の安全点検
					体育施設用具の安全点検			
学校安全に 関する 組織活動		登下校指導	避難訓練	交通安全講話		登下校指導		
		車種別交通安全指導	巡回指導					
			車両点検					

項 目			1 0	1 1	1 2	1	2	3
			安全な通学	防災と安全	スポーツ行事の安全と 事故のない冬休み	安全な生活	冬のスポーツ と安全	安全生活の反省
安全 教育	安全 指導	保健体育	(保)応急手当	(保)交通安全	(保)現代社会と健康	体育施設・用具の安全点検	(保)応急手当	体育施設・用具の安全点検
			体育施設・用具の安全点検	体育施設・用具の安全点検	体育大会準備		体育施設・用具の安全点検	安全に関する評価
					体育施設・用具の安全点検			
	安全 指導	1 年 H R 活動	喫煙と健康	防災と安全(火災)	体育大会の安全	身の回りの整理整頓	休業日の交通事故防止	春休みの生活と安全
			登下校の安全	通学時の交通安全	交通ルールと安全	登下校の安全		
					冬休みの生活と安全			
		2 年 H R 活動	喫煙と健康	防災と安全(火災)	体育大会の安全	身の回りの整理整頓	休業日の交通事故防止	春休みの生活と安全
			登下校の安全	通学時の交通安全	交通ルールと安全	登下校の安全		
				冬休みの生活と安全				
		3 年 H R 活動	喫煙と健康	防災と安全(火災)	体育大会の安全	身の回りの整理整頓	休業日の交通事故防止	春休みの生活と安全
			登下校の安全	通学時の交通安全	交通ルールと安全	登下校の安全		
				冬休みの生活と安全				
		4 年 H R 活動	喫煙と健康	防災と安全(火災)	体育大会の安全	身の回りの整理整頓	家庭学習の生活と安全	
			登下校の安全	通学時の交通安全	交通ルールと安全	登下校の安全		
				冬休みの生活と安全				
		主な 学校行事	学校説明会	1 日防災学校	体育大会	冬季休業後全校集会	卒業記念品贈呈式	卒業証書授与式
			保健講話	避難訓練	冬季休業前全校集会	課題研究発表会	同窓会入会式	入学者選抜
			見学旅行	防犯講話		進路マナ講座	就職ガイダンス	進路講話
								2学期終業式
		個別指導	巡回指導		体育大会警備 冬季休業指導 自転車通学終了			
		部活動	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検	活動場所の安全点検
			用具の点検・整理	用具の点検・整理	用具の点検・整理	用具の点検・整理	用具の点検・整理	用具の点検・整理
安全 管理	対人 管理	学校生活 の 安全管理		避難訓練の徹底 防災意識の醸成	冬季休業中の交通安全指導			学年末休業の交通安全指導
	対物 管理	学校環境 の 安全点検	防災点検	防災点検	防災点検	防災点検	防災点検	防災点検
			環境衛生検査	校内安全点検活動	校内安全点検活動	校内安全点検活動	環境衛生検査	校内安全点検活動
			校内安全点検活動	体育施設用具の安全点検	体育施設用具の安全点検	体育施設用具の安全点検	校内安全点検活動	体育施設用具の安全点検
			体育施設用具の安全点検				体育施設用具の安全点検	
学校安全に 関する 組織活動		巡回指導 車両点検	1 日防災学校 避難訓練					

16 特別活動の全体計画

関 連 法 規 等 ○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○学習指導要領	学 校 教 育 目 標 創造性豊かな工業人をめざして (1) 豊かな心と健康な身体を育成する。 (2) 自ら学ぶ力と公正な判断力を育成する。 (3) 働く意欲と旺盛な責任感を育成する。	北海道教育ビジョン ○自立：自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む ○共生：心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りをもつ人を育む
保 護 者 ・ 地 域 の 声 ○心身ともに健やかに育ち、変化の激しい時代にあっても、進路実現に向かって挑戦し、成長していくことができるよう、豊かな心と技術を育んでほしい。 ○地域の産業発展に積極的に取り組む、地域に根ざした人材を育成してほしい。	重 点 目 標 (1) 豊かな心と健康な身体を育て、社会性を身につけさせる。 (2) 楽しさと喜びをもてる活動となるように創意工夫を図る。 (3) 生徒ひとり一人が個性を伸ばし、調和の取れた人間形成をめざす。 (4) 学校に来る楽しさと意欲を持たせる。 (5) いじめをなくし、連帯意識を育み、責任ある言動と自主的に課題解決ができる人間形成をめざす。 (6) 自他の生命を尊重し、交通安全を实践する生活態度の育成をめざす。	生 徒 の 実 態 ○勤労意欲を持って、学習との両立を図れる。 ○感情表現の起伏が大きく、コミュニケーションスキルが乏しい生徒が多い。 ○基本的な生活習慣が確立していない生徒が多い。 ○規範意識の育成が十分でない。
H R 活 動 の 内 容 1. HRや学校の生活づくり ・集団の一員として、役割と責任を果たし、いじめをなくし、互いを尊重する精神を育む。 ・社会的自立に向けて、集団や社会の一員としての在り方や主体的に物事を選択決定できる「健全な生活態度」を育てる。 2. 適応と成長及び健康安全 ・健全な生活態度や、規律ある習慣の形成を図る資質や能力を身につけ、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、社会の中で自己を正しく活かす能力や態度を育てる。 3. 学業と進路 ・自ら進んで学習に取り組む意欲や、自己の個性や学習の成果を生かす進路の選択ができる能力や態度を育てる。	生徒会活動の内容 1. 生徒会の計画や運営 ・生徒会活動を通して、学校生活の充実や向上をめざす実践的な態度を育てる。 2. 異年齢集団による交流 ・ホームルームや学年を越えた生徒相互の交流を図り、集団の一員としての所属感や連帯感を醸成する。 3. 生徒の諸活動の連絡調整 ・ホームルーム活動が活性化されるよう、生徒会の連絡調整機能を援助し、生徒会活動に対する生徒の関心・意欲を高める。 4. 学校行事への協力 ・生徒が学校行事の主旨を理解し、諸行事に参加・協力することにより、生徒会活動における役割について自覚や責任感を培う。 5. ボランティア活動などの社会参画 ・ボランティア活動などに参加・協力することにより、人間性・社会性を育む。	学校行事の内容 1. 儀礼的行事 ・集団の場における規律や気品ある態度を育て、公共の精神を養う。 2. 文化的行事 ・豊かな情操と創造力を養い、文化や芸術に親しむ態度を育てる。 3. 健康安全・体育的行事 ・健康で安全な生活を送る意欲や態度、自他の生命を尊重し、心身の健康や安全を確保するための適正な判断力や対処する能力を育てる。 4. 旅行・集団宿泊的行事 ・集団行動を通して自律心を養い、自主的に集団の規律や秩序を守る態度を育成する。 5. 勤労生産・奉仕的行事 ・勤労の精神を身につけ、社会人として自立していくための態度や能力を育てる。
各教科・科目や総合的な学習の時間との関連		
・各教科・科目や総合的な学習の時間などで育成された能力と特別活動で培われた実践的な態度や能力とを相互に関連させ、それぞれの学習活動を補い合い、学校教育目標の達成を目指す。		
生 徒 指 導 の 機 能 と の 関 連		
・生徒指導の機能が有効に働くように、特別活動において共感的な人間関係を育成し、生徒が自己実現の喜びを味わうことができるよう指導上の配慮を行う。		

17 資格取得に関する資料

資格の名称	取りまとめ 教科・学科	試 験 日	受 検 料
危 険 物 取 扱 者	工業技術科	6 月 15 日 9 月 7 日 11 月 16 日 2 月 8 日	乙 種 : 5,300 円 丙 種 : 4,200 円
ガ ス 溶 接 技 能 講 習	工業技術科	授業にて	不 要
計 算 技 術 検 定	工業技術科	6 月 20 日 11 月 21 日	1 級 : 1,150 円 2 級 : 800 円 3 級 : 700 円 4 級 : 700 円
情報処理技能検定 日本語ワープロ検定	工業技術科	7 月 6 日 10 月 12 日 12 月 14 日 2 月 22 日	1 級 : 3,300 円 準 1 級 : 3,100 円 2 級 : 2,800 円 準 2 級 : 2,600 円 3 級 : 2,300 円 4 級 : 1,800 円
実 用 英 語 技 能 検 定	外国語科	6 月 1 日 10 月 5 日 1 月 25 日	2 級 : 9,100 円 準 2 級 プラス : 8,700 円 準 2 級 : 8,500 円 3 級 : 6,900 円 4 級 : 4,700 円
日 本 漢 字 能 力 検 定	国 語 科	6 月 15 日 10 月 19 日 2 月 15 日	2 級 : 4,500 円 準 2 級 : 3,500 円 3 級 : 3,500 円 4 級 : 3,500 円 5 級 : 3,000 円
日 本 語 検 定	国 語 科	6 月 14 日 11 月 8 日	2 級 : 5,800 円 3 級 : 4,300 円 4 級 : 3,000 円

18 教職員構成一覧

職員数

校長	教頭	教諭	養護教諭	実習担任教諭	指導実習助手	実習助手	事務長	事務職員	合計	学校医	歯科医	薬剤師	
1	1	8	1	1	1	0	1	1	15	1	1	1	

職員一覧表

校長	小山 彰博			R6.4	養護教諭	石山 理絵		指導・保健 工2副	R5.4
教頭	西後 勝美			R5.4	事務長	市川 聡			R7.4
教諭	川口 夕貴	国語	指導・工4担	H25.4	事務職員	林 りりか			R7.4
〃	横山 傑	社会	〇指導・〇進路指導	R2.4	学校医	岩井 和浩			H25.4
〃	藤原 隆	数学	〇教務・工1担	H28.4	歯科医	加藤 清志			H8.4
〃 (再任用)	吉田 光宏	保健体育	教務・工3副	R7.4	薬剤師	菅原 淳			R6.4
教諭	清水 雅明	〇工業技術	教務・工3担	R4.4					
〃	佐藤 清志	工業技術	指導・〇生徒指導 工4副	R7.4					
〃	田中文武	工業技術	教務・工2担	R5.4					
〃	遠田 奨	工業技術	教務・工1副	R7.4					
実習担任 教諭	白坂 浩一	工業技術	教務	H15.4					
指導実習 助手	臼井 稔	工業技術	教務	R6.4					

19 自衛消防組織

消防隊長：小 山 彰 博				
副 隊 長：西 後 勝 美・市 川 聡				
係		任 務	教職員 (○印は班長)	生 徒
本部	教 務	立 案 ・ 指 令	○藤 原・清 水	(生徒総数 39 名) 令和 7 年 4 月現在
通報連絡	通 報	全生徒への通報	○遠 田	H R 議 長 4 名
	連 絡	各係への連絡	○白 坂	
初期消火	消 火 栓	初 期 消 火	○横 山・吉 田	
	消 火 器	人 員 確 保 避難場所明示案内	○吉 田・横 山	
避 難 誘 導		非常持ち出し より搬出 (指導要録など) (警戒係と連絡 を密にする)	○川 口・清 水	H R 副議長 4 名
搬 出	校 長 室		○吉 田	
	事 務 室		○ 林	
	定 時 制 室 職 員 室		○遠 田	
	全 日 制 室 職 員 室		○田 中	
警 戒		警 戒 線 構 成 係 と の 連 絡	○臼 井	
救 護		仮収容所設置 手当・病院連絡	○佐 藤・石 山	

北海道苫小牧工業高等学校 教職員勤務時間の割振表

【全日制課程】

区 分		勤務時間等
教育職員	勤務時間	8:10～16:40
	休憩時間	12:35～13:20
事務職員	勤務時間	8:10～16:40
	休憩時間	12:00～12:45

【定時制課程】

区 分		勤務時間等
教育職員	勤務時間	13:30～22:00
	休憩時間	16:30～17:15
事務職員	勤務時間	11:00～19:30
	休憩時間	16:45～17:30